

向日市
こども・若者の意識と生活に関する調査
調査結果報告書

令和 6 年 9 月

向日市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	小学生・中学生	2
	(1) 状況について	2
	(2) 居場所について	7
	(3) まわりの人について	15
	(4) 相談したいことや相談先について	19
	(5) 将来について	25
	(6) 家族のためにしていることについて	28
	(7) 生活について	31
	(8) こどもの意見表明権について	34
2	若者	37
	(1) 状況について	37
	(2) 居場所について	41
	(3) まわりの人について	42
	(4) 将来や結婚・子育てに対する考え方について	45
	(5) 相談したいことや相談先について	51
	(6) 家族のためにしていることについて	57
	(7) 生活について	60
	(8) 落ち込んだ経験について	61
	(9) こどもの意見表明権について	65
	(10) 自由回答	67

I 調査の概要

1 調査の目的

「第3期向日市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、子育てに関する支援サービスの利用状況や利用意向を把握し、計画策定の基礎資料とするために本調査を実施しました。

2 調査対象

向日市在住の小学校4～6年生

向日市在住の中学校1～3年生

向日市在住の15歳～29歳

3 調査期間

小学生・中学生 令和6年7月9日から令和6年7月19日

若者 令和6年7月18日から令和6年8月10日

4 調査方法

インターネットによる配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
小学生（4～6年生）	1,480通	1,386通	93.6%
中学生（1～3年生）	1,400通	1,031通	73.6%
若 者（15歳～29歳）	1,500通	367通	24.5%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

Ⅱ 調査結果

1 小学生・中学生

(1) 状況について

問1 あなたの性別を教えてください。(1つだけ選択)

	男	女	た　　そ い　　の く　　わ な　　他 い　　か ら ど ち ら で 答 え な い	無 回 答
小学生 (n=1,386)	683	674	24	5
中学生 (n=1,031)	509	501	15	6

※実人数で記載

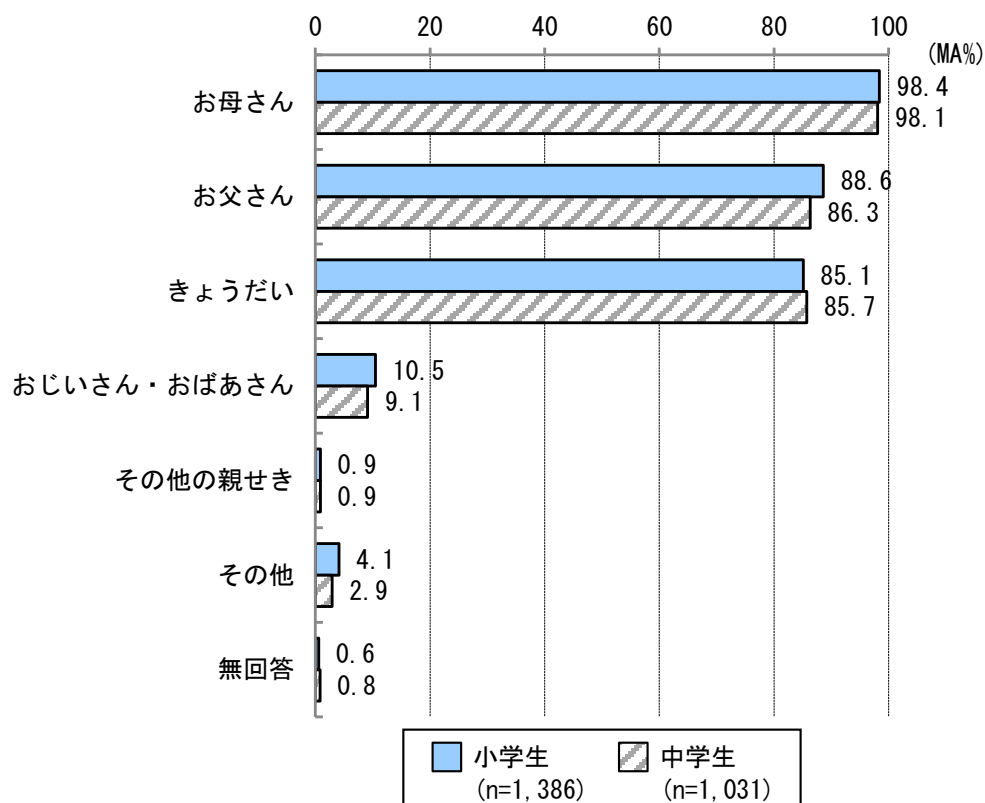
問2 あなたの学年を教えてください。(1つだけ選択)

	4 年 生	5 年 生	6 年 生	無 回 答
小学生 (n=1,386)	481	479	423	3
	1 年 生	2 年 生	3 年 生	無 回 答
中学生 (n=1,031)	387	291	349	4

※実人数で記載

問3 あなたが今いっしょに住んでいる人をすべて選んでください。
(あてはまるものすべて選択)

小学生、中学生ともに「お母さん」が最も高く、それぞれ98.4%・98.1%、次いで「お父さん」が88.6%・86.3%、「きょうだい」が85.1%・85.7%となっています。



問4 あなたが通っている小学校（中学校）を選んでください。（1つだけ選択）

	向陽小学校	第2向陽小学校	第3向陽小学校	第4向陽小学校	第5向陽小学校	第6向陽小学校	無回答
小学生 (n=1,386)	282	253	137	357	219	136	2
	勝山中学校	寺戸中学校	西ノ岡中学校	無回答			
中学生 (n=1,031)	444	295	286	6			

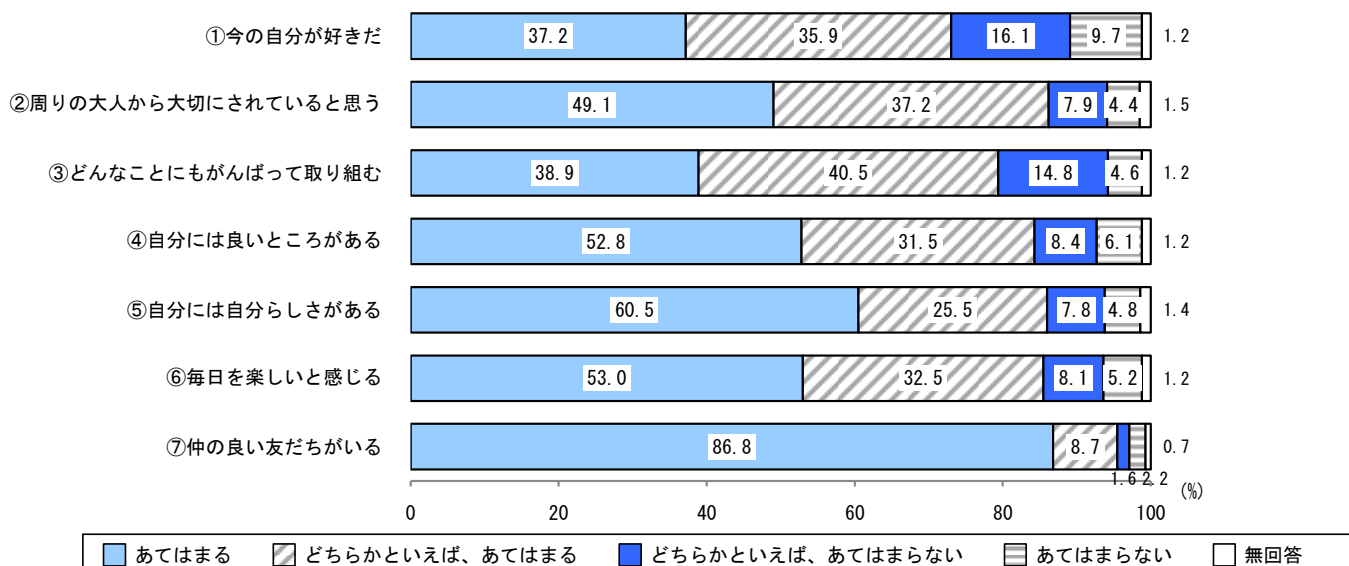
※実人数で記載

問5 あなたは、自分のことについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。（それぞれ1つだけ選択）

小学生、中学生ともに、⑦仲の良い友だちがいるの『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）がそれぞれ95.5%・95.6%と最も高く、一方で①今の自分が好きだの『あてはまる』は、それぞれ73.1%・64.3%と低くなっています。

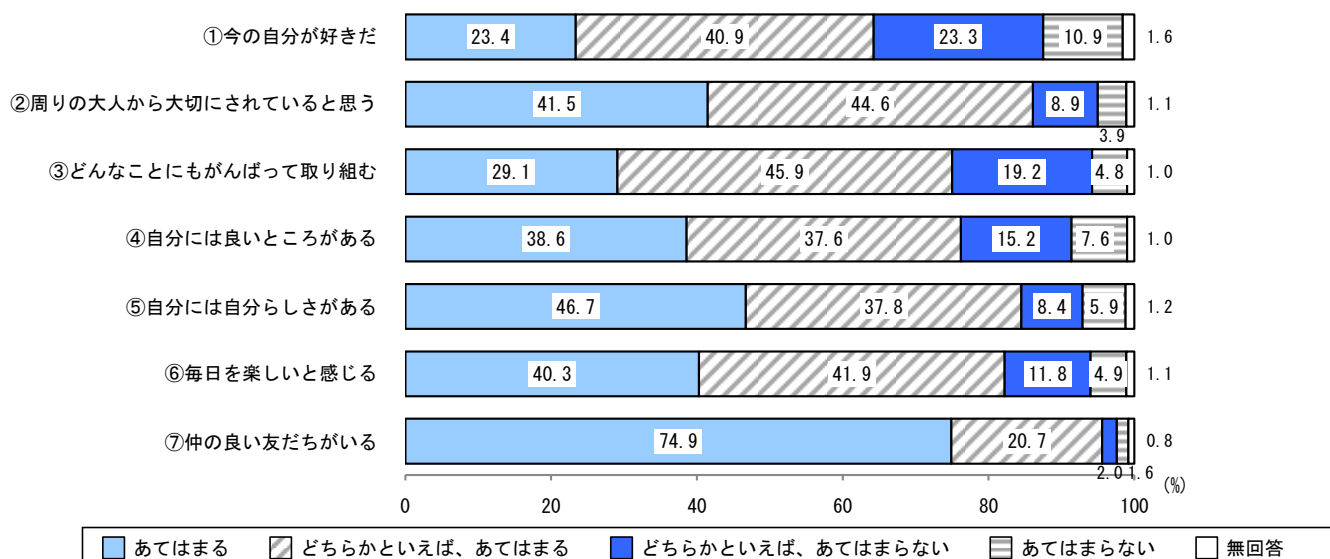
【小学生】

(n=1,386)



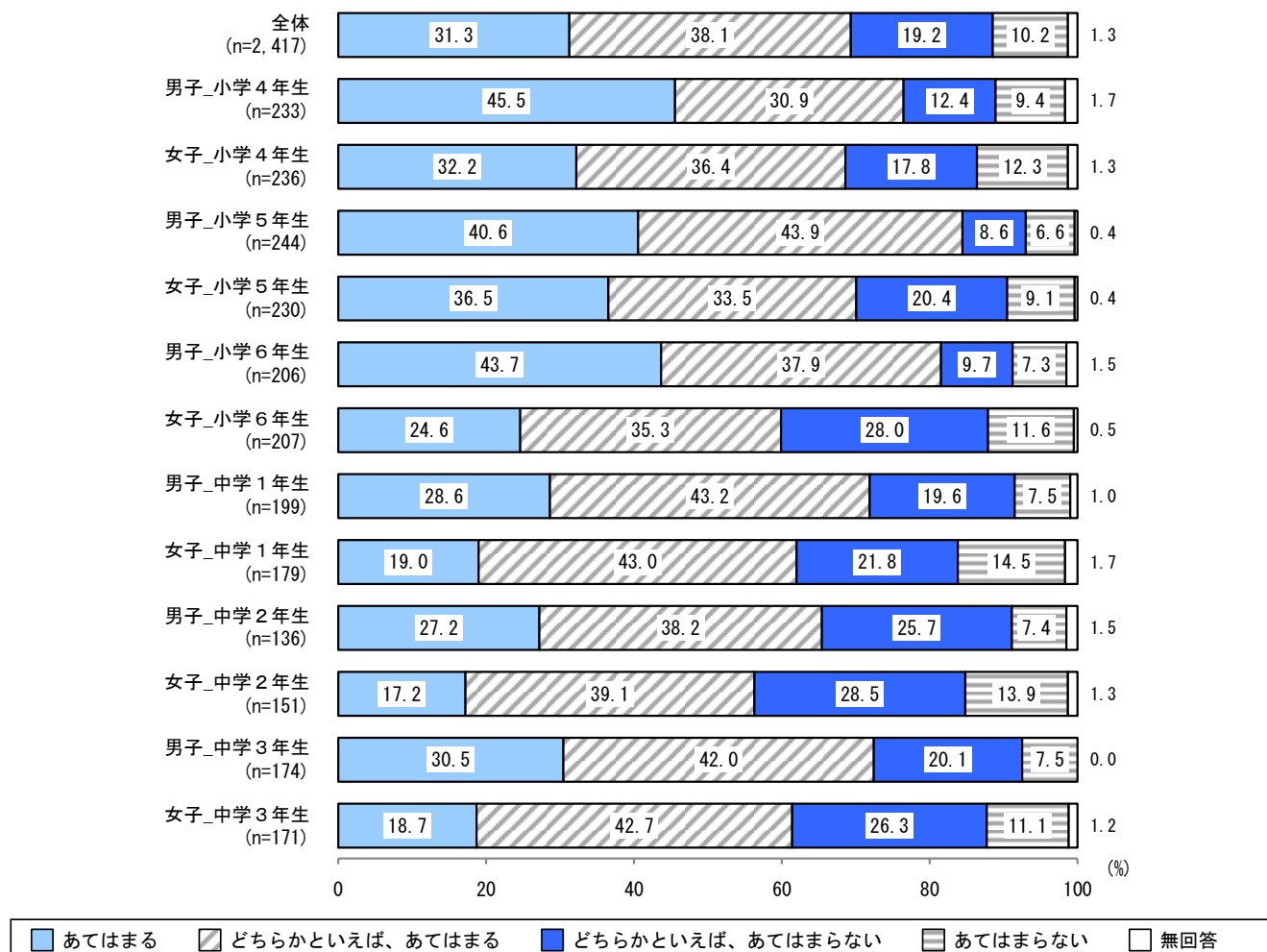
【中学生】

(n=1,031)



性別・学年別に「①今の自分が好きだ」をみると、いずれの学年においても男子の方が女子よりも「あてはまる」が高く、小学5年生を除くとおよそ10.0ポイント高くなっています。また、小学4年生から中学3年生にかけて、男子・女子はそれぞれ15.0ポイント・13.5ポイント減少しています。

【性別・学年別】



(2) 居場所について

問6 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。（それぞれ1つだけ選択）

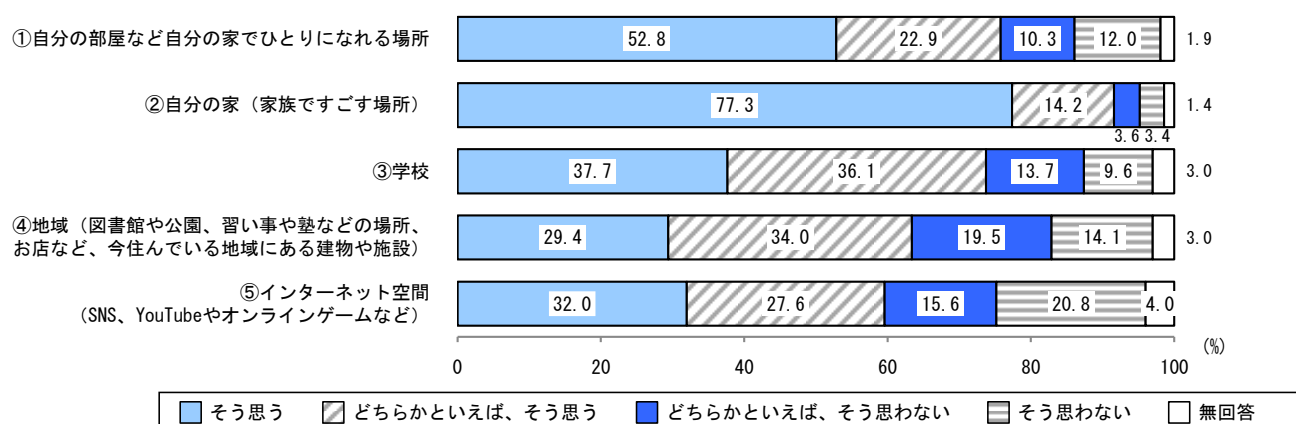
小学生は、②自分の家（家族ですぐす場所）の『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が91.5%と最も高く、一方で⑤インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）の『そう思う』は59.6%と低くなっています。

中学生は、②自分の家（家族ですぐす場所）の『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が87.9%と最も高く、一方で④地域（図書館や公園、習い事や塾などの場所、お店など、今住んでいる地域にある建物や施設）の『そう思う』は59.7%と低くなっています。

また、小学生は①自分の部屋など自分の家でひとりになれる場所よりも、②自分の家（家族ですぐす場所）の「そう思う」が2割以上高く、中学生は②自分の家（家族ですぐす場所）よりも、①自分の部屋など自分の家でひとりになれる場所の方がやや高くなっています。

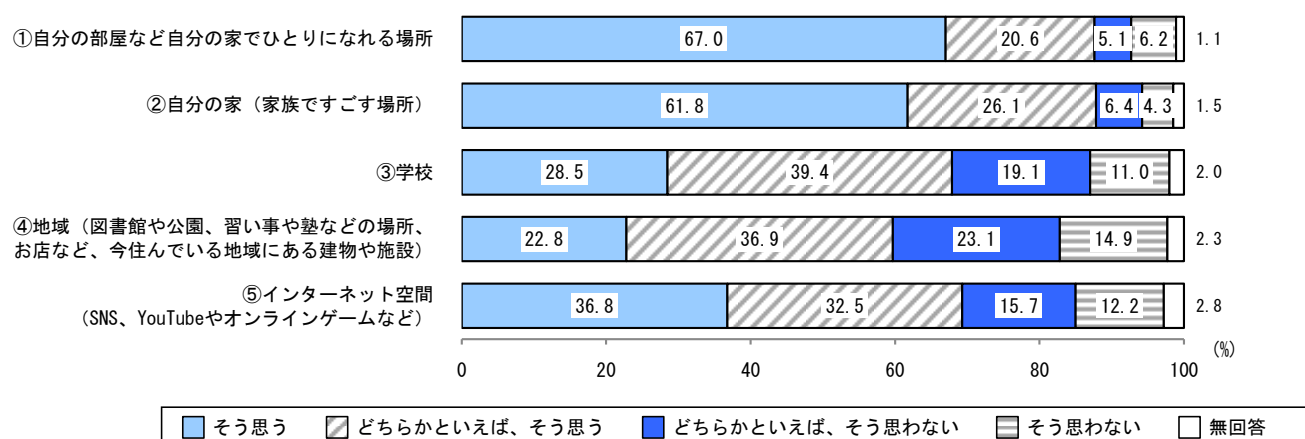
【小学生】

(n=1,386)



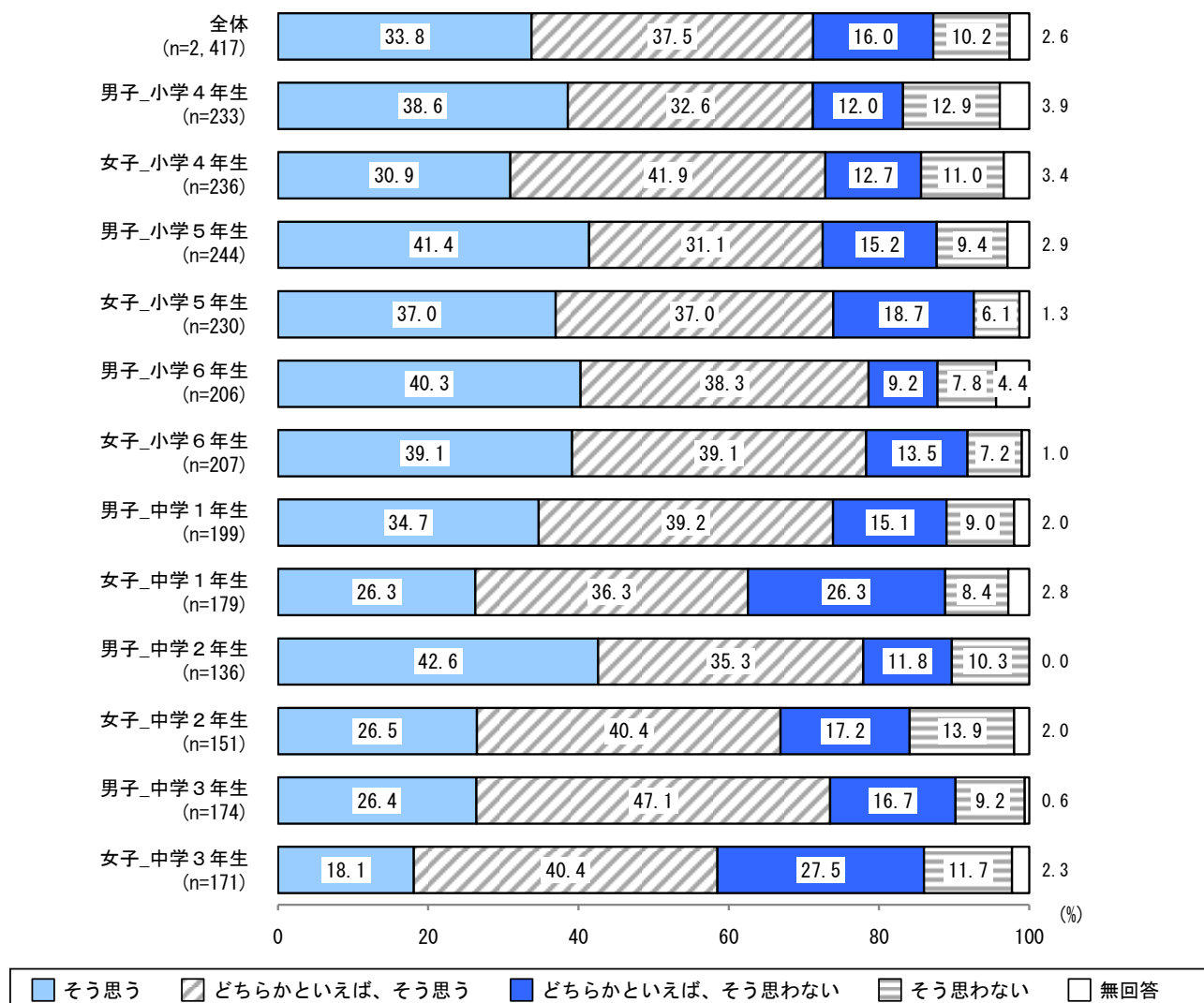
【中学生】

(n=1,031)



性別・学年別に「③学校」をみると、いずれの学年においても男子の方が女子よりも「そう思う」が高く、特に中学2年生は16.1ポイント高くなっています。また、『そう思わない』（「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計）は、『女子_中学1年生』と『女子_中学3年生』がそれぞれ34.7%・39.2%と高くなっています。

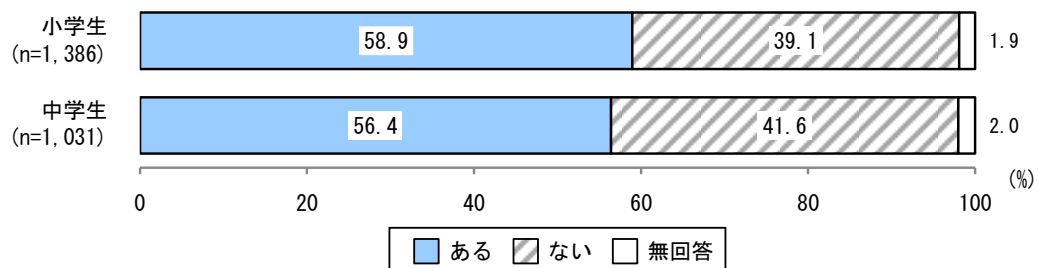
【性別・学年別】



問7 あなたは、家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。
(1つだけ選択)

小学生は、「ある」が58.9%、「ない」が39.1%となっています。

中学生は、「ある」が56.4%、「ない」が41.6%となっています。

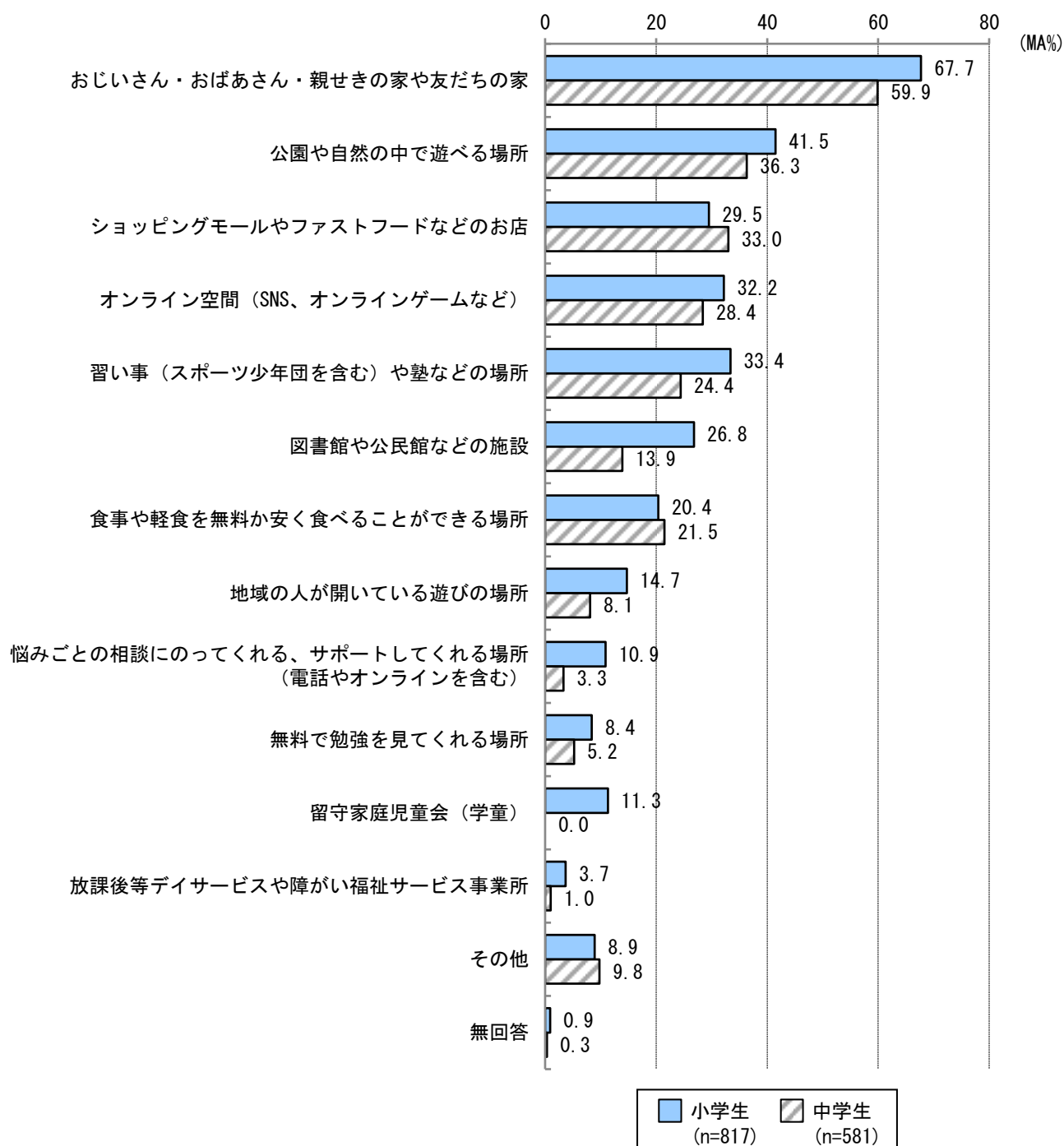


問7で「ある」を選択した方にお聞きします。

問7-1 「ここに居たい」と感じる居場所はどのような場所ですか。
(あてはまるものすべて選択)

※「留守家庭児童会（学童）」は小学生のみ

小学生、中学生ともに、「おじいさん・おばあさん・親せきの家や友だちの家」が最も高く、それぞれ67.7%・59.9%、次いで「公園や自然の中で遊べる場所」が41.5%・36.3%、小学生は「習い事（スポーツ少年団を含む）や塾などの場所」が33.4%、中学生は「ショッピングモールやファストフードなどのお店」が33.0%となっています。



・その他内訳

小学生

内容	件数
自分や友だち、親せきの家	34 件
家族やペット、自分だけがいる場所、静かな場所	11 件
ゲームセンターや地下街、ショッピングセンターなど近場で遊べる場所	9 件
北海道、東京などの他府県、旅館や温泉など旅行	7 件
学校	7 件
自分の部屋	7 件
水族館、遊園地などのテーマパーク	5 件
その他	9 件

中学生

内容	件数
自分や友だち、親せきの家	9 件
山、海など自然にふれられる場所	9 件
水族館、遊園地などのテーマパーク	9 件
趣味に打ち込める場所（スポーツ観戦、ゲームなど）	8 件
ゲームセンターや地下街、ショッピングセンターなど近場で遊べる場所	7 件
家族やペット、自分だけがいる場所、静かな場所	6 件
北海道、東京などの他府県、旅館や温泉など旅行	5 件
学校、母校	2 件
自分の部屋	1 件
その他	6 件

性別・学年別にみると、上位3項目は小学6年生以降に性別による差が目立ち、「公園や自然の中で遊べる場所」は中学1年生を除くと男子の方が女子よりも10.0ポイント以上高くなっています。「ショッピングモールやファストフードなどのお店」は女子の方が男子よりも高く、概ね学年が高くなるにつれて差が大きくなっています。

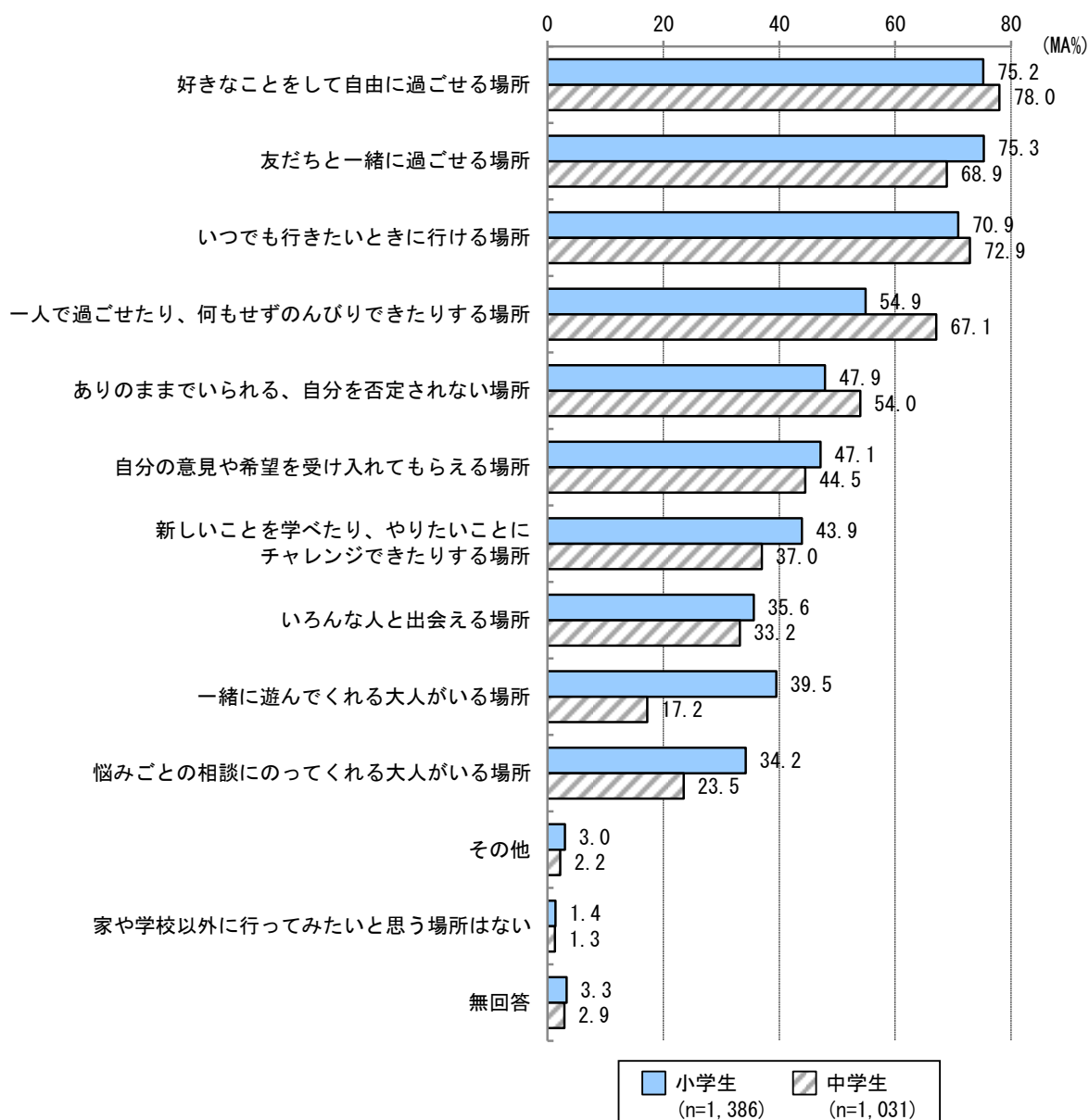
【性別・学年別】

	おじいさん・おばあさん・親せきの家や友だちの家	公園や自然の中で遊べる場所	ファストフードなどの店	シヨッピングモールやゲームなど	オンライン空間（SNS、オンラインゲームなど）	習い事（スポーツ少年団を含む）や塾などの場所	図書館や公民館などの施設	食事や軽食を無料か安く食べることができるところ
全 体 (n=1,398)	64.4	39.3	31.0	30.6	29.7	21.5	20.9	
男子_小学4年生 (n=143)	68.5	46.2	29.4	45.5	32.2	28.0	25.9	
女子_小学4年生 (n=145)	69.7	39.3	34.5	20.7	33.8	35.2	24.1	
男子_小学5年生 (n=142)	71.1	43.7	27.5	38.0	36.6	19.7	23.9	
女子_小学5年生 (n=127)	66.1	46.5	34.6	24.4	28.3	33.1	14.2	
男子_小学6年生 (n=123)	65.9	43.1	21.1	32.5	39.0	22.8	18.7	
女子_小学6年生 (n=115)	68.7	30.4	30.4	27.0	31.3	20.0	14.8	
男子_中学1年生 (n=119)	59.7	37.8	35.3	31.1	29.4	13.4	26.9	
女子_中学1年生 (n=104)	64.4	40.4	43.3	27.9	15.4	20.2	22.1	
男子_中学2年生 (n=73)	57.5	52.1	24.7	32.9	24.7	13.7	26.0	
女子_中学2年生 (n=88)	59.1	25.0	36.4	31.8	22.7	14.8	12.5	
男子_中学3年生 (n=101)	57.4	39.6	19.8	23.8	34.7	5.9	19.8	
女子_中学3年生 (n=85)	63.5	23.5	37.6	20.0	21.2	16.5	23.5	
	地域の人が開いている遊びの場所	オンラインを含む）の場所（電話や	無料で勉強を見てくれる場所	留守家庭児童会（学童）	放課後等デイサービスや障がい福祉サービス事業所	その他	無回答	
全 体 (n=1,398)	11.9	7.7	7.1	6.6	2.6	9.3	0.6	
男子_小学4年生 (n=143)	19.6	15.4	9.1	15.4	6.3	9.1	1.4	
女子_小学4年生 (n=145)	21.4	17.9	10.3	13.1	4.1	12.4	2.1	
男子_小学5年生 (n=142)	15.5	6.3	7.0	14.1	2.8	7.0	0.0	
女子_小学5年生 (n=127)	13.4	7.9	11.0	8.7	3.1	7.1	0.8	
男子_小学6年生 (n=123)	11.4	8.1	8.9	9.8	3.3	10.6	0.0	
女子_小学6年生 (n=115)	5.2	8.7	5.2	7.0	2.6	1.7	0.9	
男子_中学1年生 (n=119)	17.6	5.0	7.6	0.0	1.7	7.6	0.0	
女子_中学1年生 (n=104)	10.6	4.8	2.9	0.0	1.9	8.7	1.0	
男子_中学2年生 (n=73)	11.0	6.8	12.3	0.0	0.0	13.7	0.0	
女子_中学2年生 (n=88)	0.0	0.0	2.3	0.0	1.1	12.5	1.1	
男子_中学3年生 (n=101)	3.0	0.0	2.0	0.0	0.0	10.9	0.0	
女子_中学3年生 (n=85)	4.7	1.2	5.9	0.0	0.0	7.1	0.0	

問7-2 あなたにとっての居場所として、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。(あてはまるものすべて選択)

小学生は、「友だちと一緒に過ごせる場所」が75.3%と最も高く、次いで「好きなことをして自由に過ごせる場所」が75.2%、「いつでも行きたいときに行ける場所」が70.9%となっています。

中学生は、「好きなことをして自由に過ごせる場所」が78.0%と最も高く、次いで「いつでも行きたいときに行ける場所」が72.9%、「友だちと一緒に過ごせる場所」が68.9%となっています。



・その他内訳

小学生

内容	件数
遊びやゲーム、スポーツがのびのびできる場所	8 件
家族や友だちと一緒にいられる場所	5 件
静かな場所	4 件
静かに勉強や読書ができる場所	4 件
喧嘩などがない平和な場所	3 件
趣味を楽しめる場所	3 件
怒られない、とにかく楽しい場所	3 件
非現実的な場所	2 件
旅行や、普段は気軽に行けない場所	2 件
その他	5 件

中学生

内容	件数
静かな場所、気を遣わないでいられる場所	4 件
家族や友だちと一緒にいられる場所	3 件
自然を楽しめる場所	3 件
趣味を楽しめる場所	2 件
非現実的な場所	2 件
喧嘩などがない平和な場所	1 件
旅行や、普段は気軽に行けない場所	1 件
その他	4 件

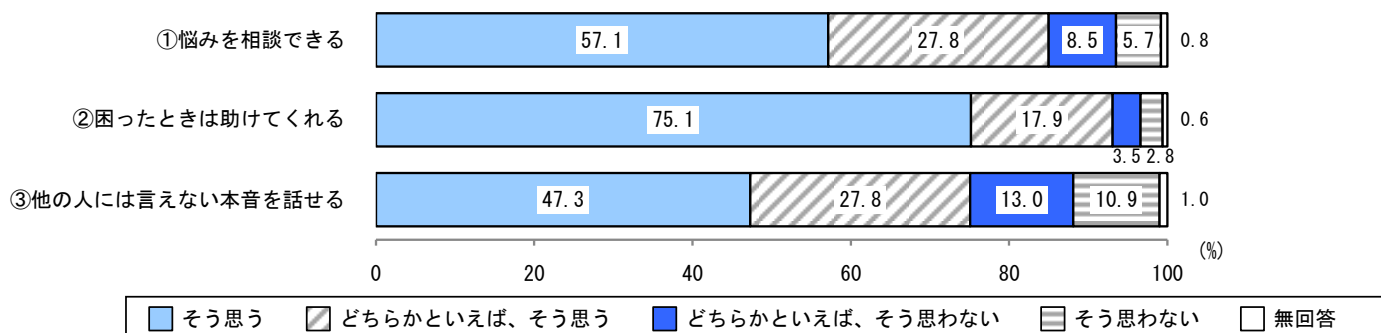
(3) まわりの人について

問8 家族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。(それぞれ1つだけ選択)

小学生、中学生ともに、②困ったときは助けてくれるの『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)は、それぞれ93.0%・92.0%と最も高く、一方で③他の人には言えない本音を話せるの『そう思う』は、それぞれ75.1%・71.3%と低くなっています。

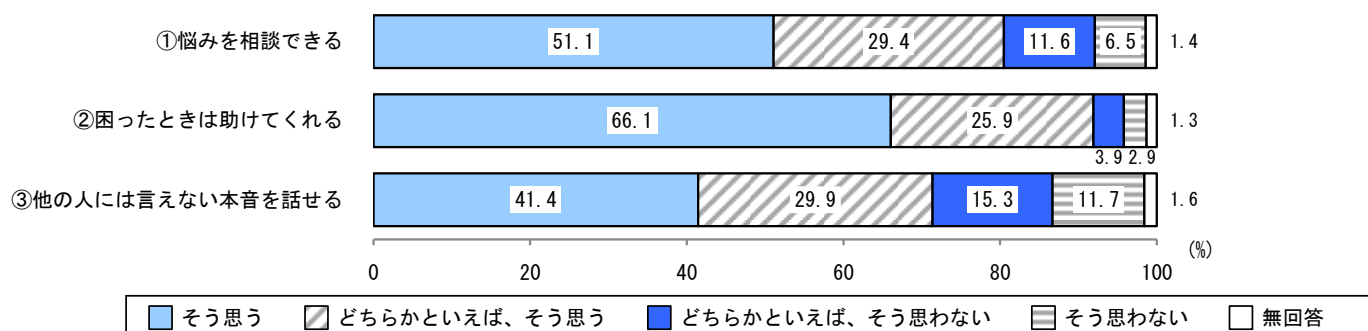
【小学生】

(n=1,386)



【中学生】

(n=1,031)

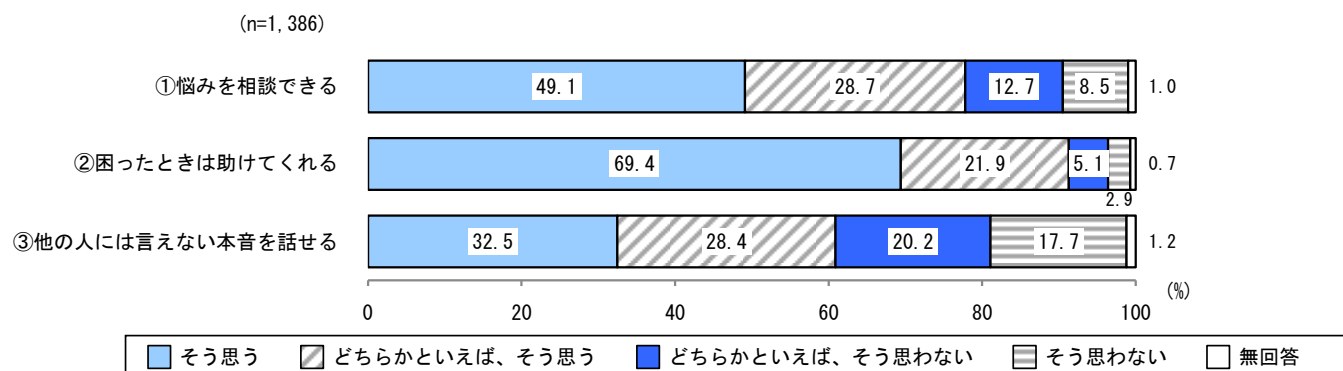


問9 学校の友だちと、あなたのかかわりは、どのようなものですか。
(それぞれ1つだけ選択)

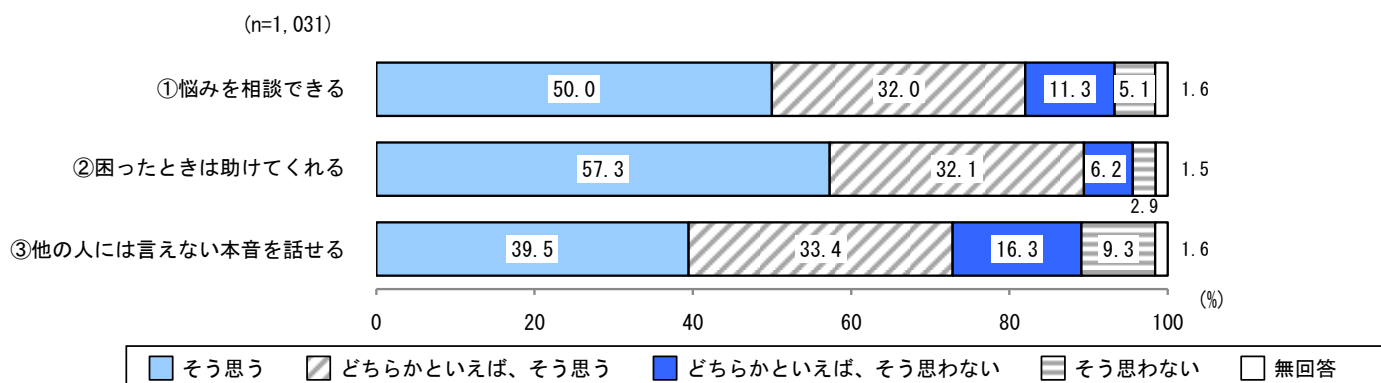
小学生、中学生ともに、②困ったときは助けてくれるの『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)は、それぞれ91.3%・89.4%と最も高く、一方で③他の人には言えない本音を話せるの『そう思う』は、それぞれ60.9%・72.9%と低くなっています。

また、③他の人には言えない本音を話せるの『そう思わない』(「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計)は、小学生の方が中学生よりも高く、友だちに本音を話しづらいと感じています。

【小学生】



【中学生】



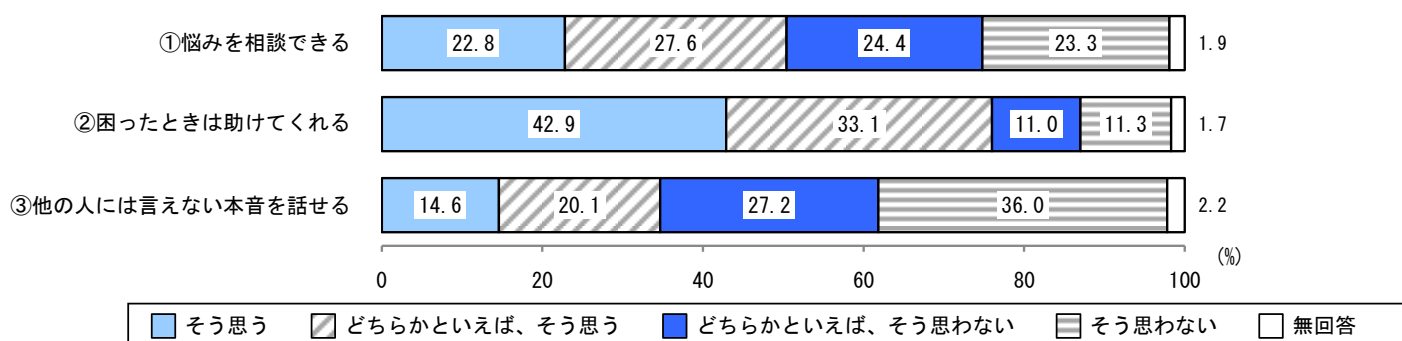
問10 習い事や塾などで知り合った人（友だちや先生）や近所の人とあなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ1つだけ選択）

小学生、中学生ともに、②困ったときは助けてくれるの『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）は、それぞれ76.0%・67.8%と最も高く、一方で③他の人には言えない本音を話せるの『そう思う』は、それぞれ34.7%・37.4%と低くなっています。

また、小学生、中学生ともに、①悩みを相談できると③他の人には言えない本音を話せるの『そう思わない』（「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計）は、それぞれおよそ4割～6割を占めており、習い事や塾などで知り合った人や近所の人には、相談することや本音を話しづらいと感じています。

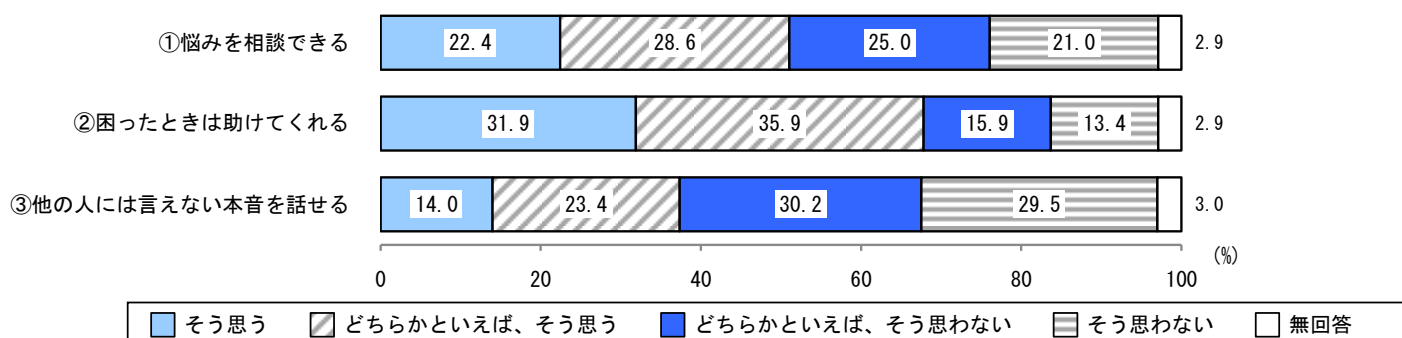
【小学生】

(n=1,386)



【中学生】

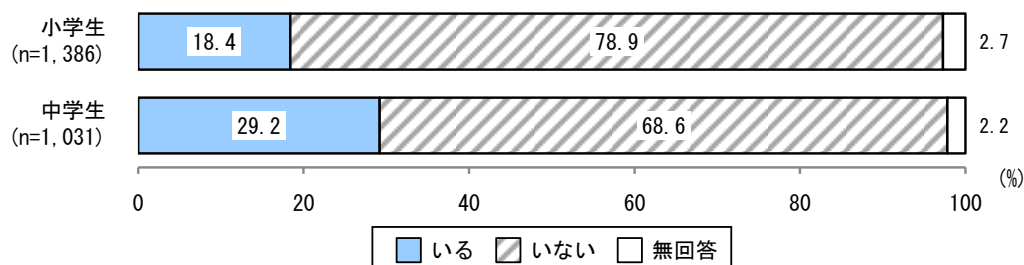
(n=1,031)



問11 インターネットで知り合った人はいますか。(1つだけ選択)

小学生は、「いない」が78.9%、「いる」が18.4%となっています。

中学生は、「いない」が68.6%、「いる」が29.2%となっています。



問11で「いる」を選択した方にお聞きします。

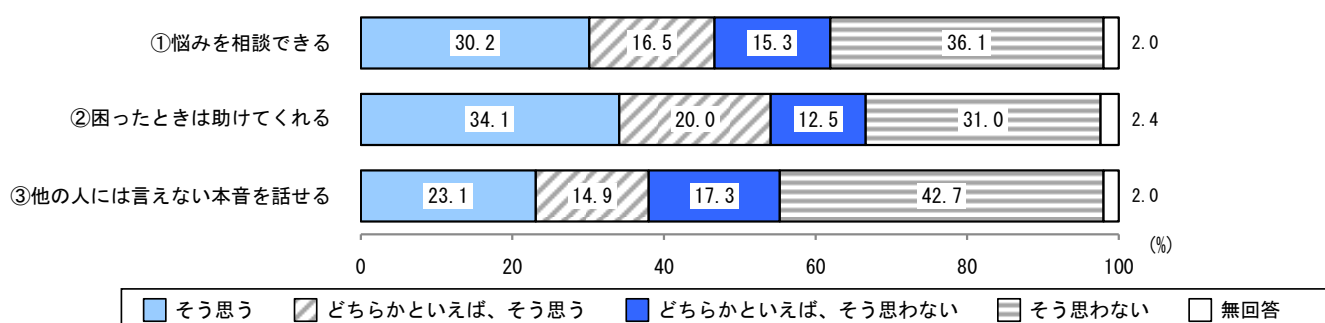
問11-1 インターネットで知り合った人とあなたのかかわりは、どのようなものですか。(それぞれ1つだけ選択)

小学生、中学生ともに、②困ったときは助けてくれるの『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)は、それぞれ54.1%・53.8%と最も高く、一方で③他の人には言えない本音を話せるの『そう思う』は、それぞれ38.0%・39.5%と低くなっています。

また、小学生、中学生ともに、①～③のすべての項目において『そう思わない』(「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計)は、それぞれおよそ4～6割を占めており、インターネットで知り合った人とのかかわりは深くない人が多くなっています。

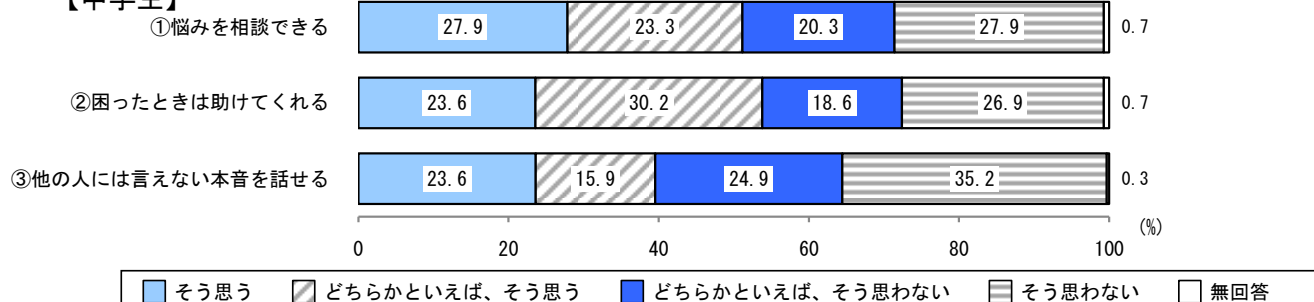
【小学生】

(n=255)



(n=301)

【中学生】



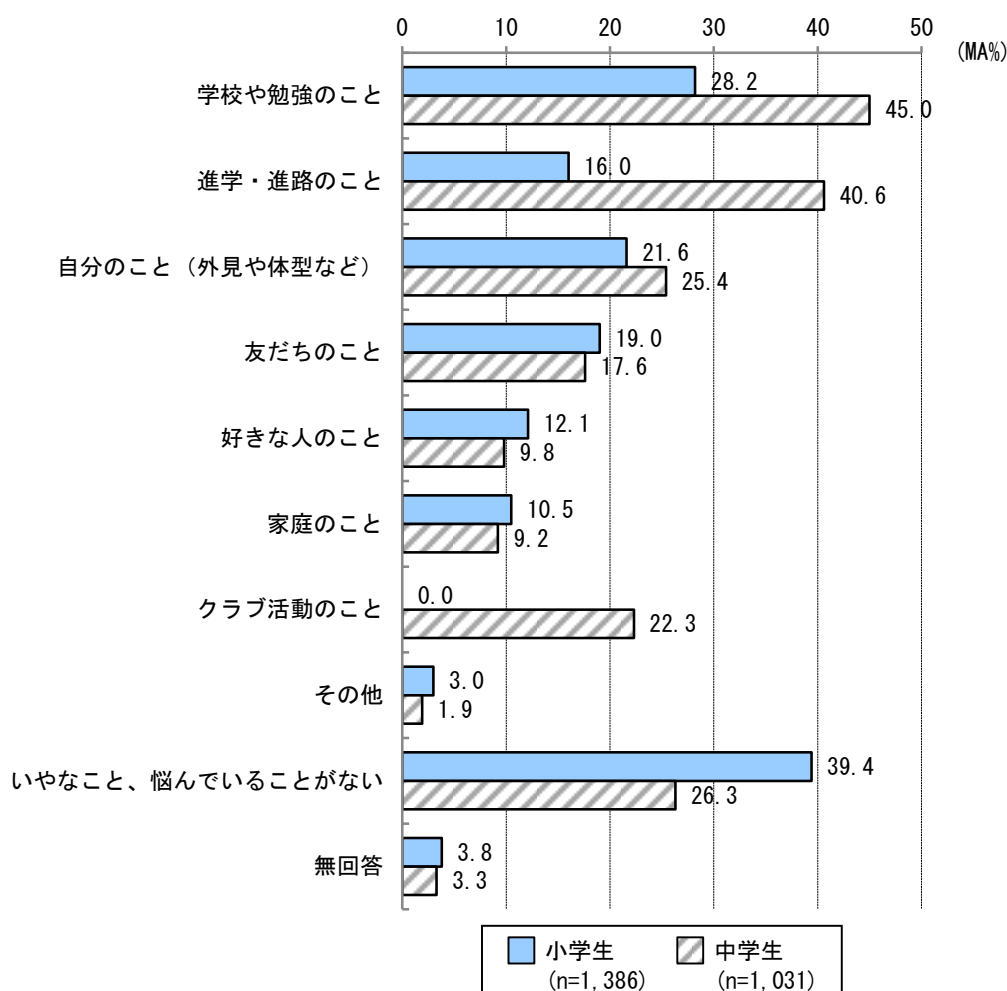
(4) 相談したいことや相談先について

問12 あなたは、今、いやなことや心配なこと、こまっていること、悩んでいることがありますか。(あてはまるものすべて選択)

※「クラブ活動のこと」は中学生のみ

小学生、中学生ともに、「学校や勉強のこと」が最も高く、それぞれ28.2%・45.0%、次いで小学生は「自分のこと（外見や体型など）」が21.6%、「友だちのこと」が19.0%、中学生は「進学・進路のこと」が40.6%、「自分のこと（外見や体型など）」が25.4%となっています。

また、小学生は「いやなこと、悩んでいることがない」がおおよそ4割と、中学生よりも悩んでいる人が少なく、中学生は小学生よりも、特に「進学・進路のこと」「学校や勉強のこと」で悩んでいる人が多くなっています。



・その他内訳

小学生

内容	件数
災害・犯罪などへの不安	6 件
自分の性格や特性・感情のこと	5 件
習いごとのこと	5 件
自分の体調のこと	4 件
きょうだいや親など家族のこと	4 件
遊びや趣味のこと	4 件
進学や将来のこと	3 件
人づきあいのこと	2 件
その他	8 件

中学生

内容	件数
学校のこと（いじめや人間関係、設備など）	4 件
進学や将来のこと	3 件
勉強のこと	3 件
習いごとのこと	2 件
人づきあいのこと	2 件
自分の性格や特性・感情のこと	1 件
遊びや趣味のこと	1 件
その他	4 件

性別・学年別にみると、複数の項目で学年にかかわらず女子の方が男子よりも高く、特に「自分のこと（外見や体型など）」は小学5年生・中学2年生で2倍以上、「友だちのこと」は中学3年生ではおよそ5倍以上高くなっています。「いやなこと、悩んでいることがない」についても、中学2年生・3年生の女子は2割未満と特に低く、いやなことや悩みを抱えている人が多い結果となっています。

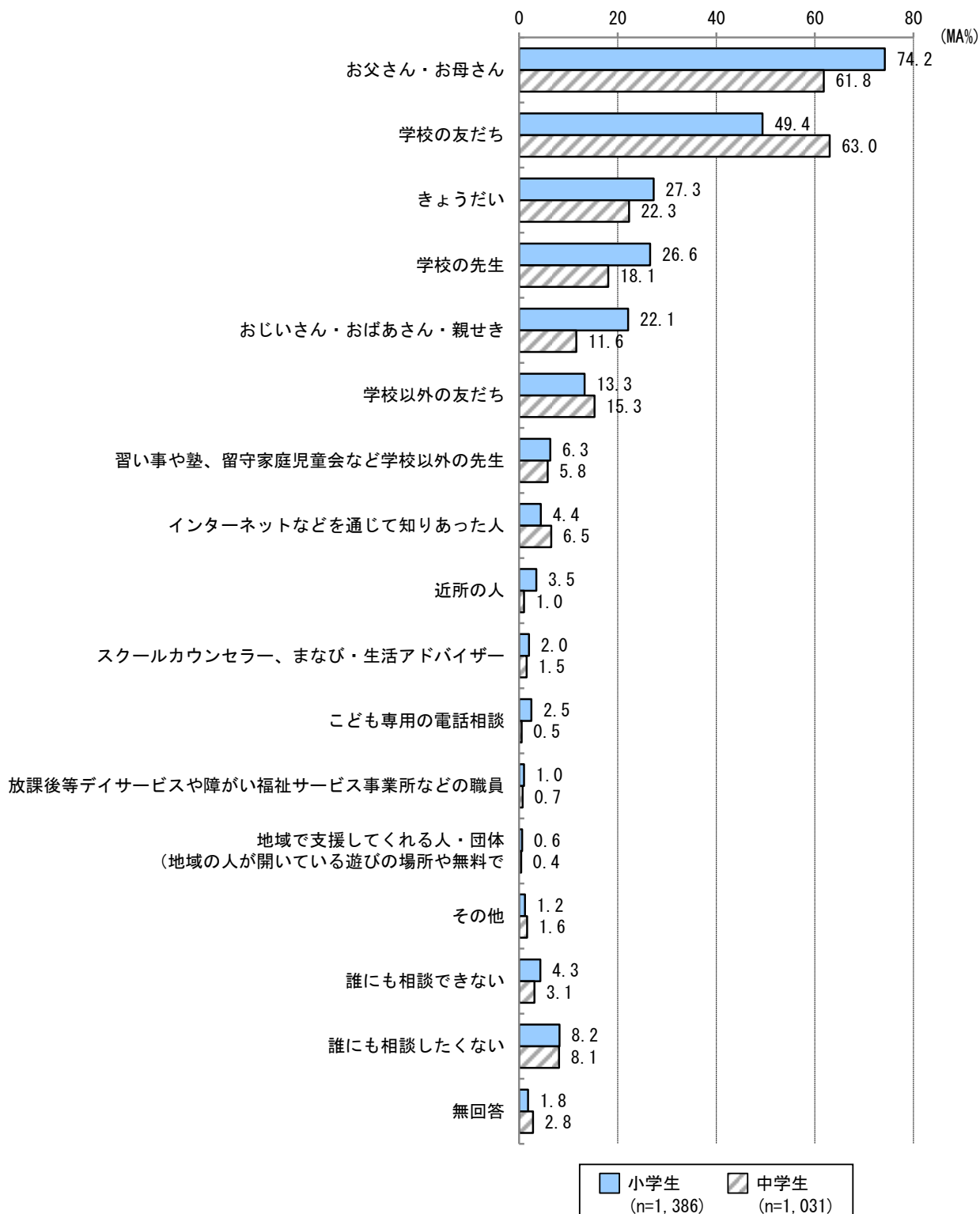
【性別・学年別】

	学校や勉強のこと	進学・進路のこと	自分のこと（外見や体型など）	友だちのこと	好きな人のこと	家庭のこと	クラブ活動のこと	その他	いやなこと、悩んでいることがない	無回答
全 体 (n=2,417)	35.4	26.5	23.2	18.4	11.1	9.9	9.5	2.6	33.8	3.6
男子_小学4年生 (n=233)	21.9	11.2	12.9	12.0	5.6	7.7	0.0	1.7	52.4	6.0
女子_小学4年生 (n=236)	20.8	10.2	19.9	20.3	8.5	11.0	0.0	3.4	43.2	3.4
男子_小学5年生 (n=244)	32.4	15.6	14.3	11.9	16.0	7.8	0.0	2.9	41.4	3.7
女子_小学5年生 (n=230)	37.8	20.0	34.8	31.7	18.3	11.3	0.0	4.3	24.8	1.7
男子_小学6年生 (n=206)	25.2	22.8	18.4	12.1	9.7	10.2	0.0	1.9	43.2	3.9
女子_小学6年生 (n=207)	31.4	15.9	30.0	25.1	14.0	13.5	0.0	1.9	31.9	2.9
男子_中学1年生 (n=199)	35.2	26.6	20.1	12.6	10.6	7.5	14.6	1.5	38.2	5.0
女子_中学1年生 (n=179)	43.6	23.5	30.2	24.0	10.1	12.3	21.8	2.2	34.6	2.8
男子_中学2年生 (n=136)	43.4	42.6	18.4	13.2	11.0	9.6	22.8	0.7	29.4	3.7
女子_中学2年生 (n=151)	55.0	47.7	37.7	31.1	13.9	10.6	33.1	4.0	14.6	0.0
男子_中学3年生 (n=174)	43.1	51.1	12.6	4.0	8.6	6.3	17.2	0.6	23.6	4.0
女子_中学3年生 (n=171)	52.0	58.5	31.0	21.1	4.7	9.4	28.1	1.8	17.0	1.8

問13 あなたは、いやなことや心配なこと、困っていること、悩んでいることがあったとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべて選択)

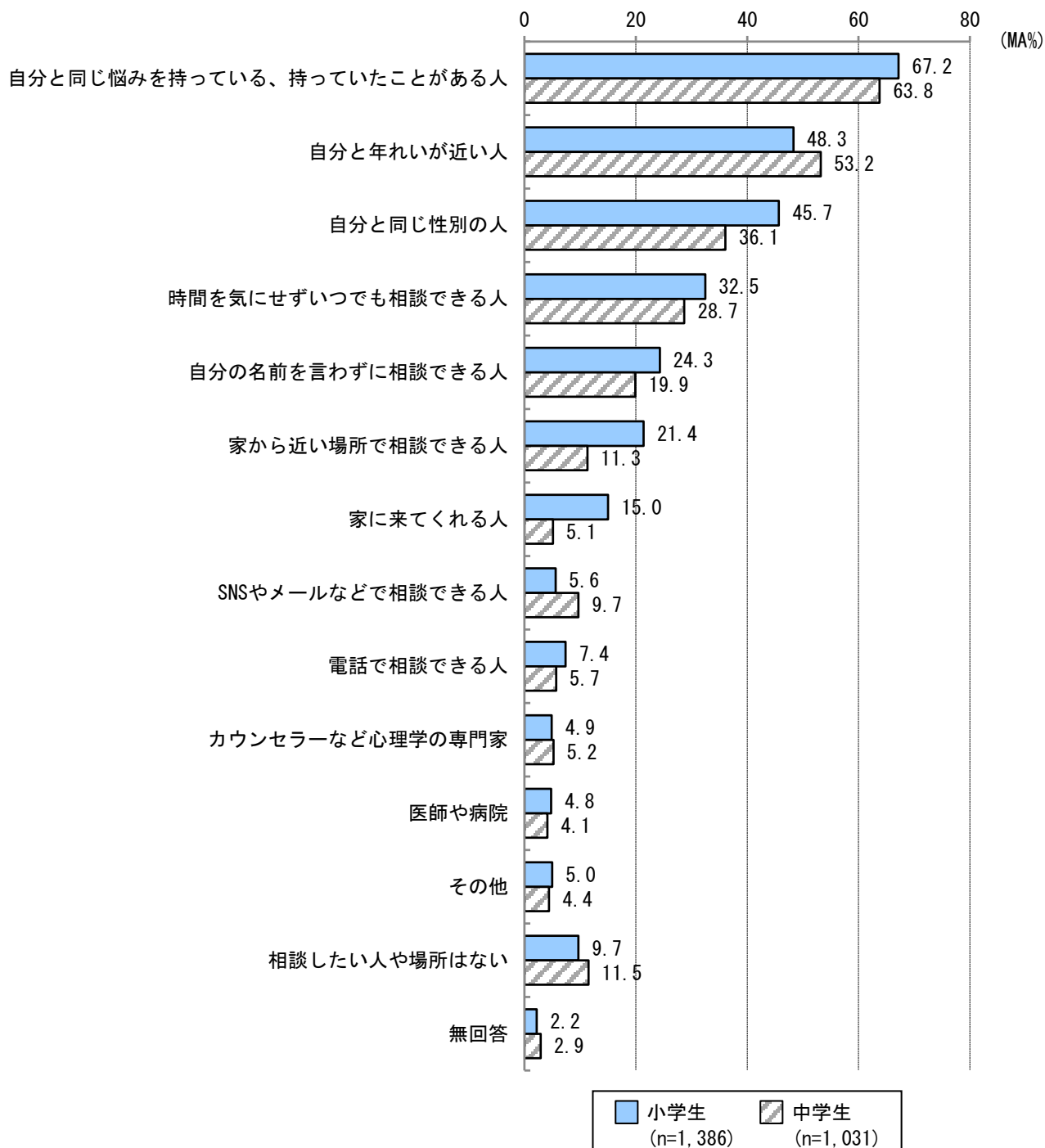
小学生は、「お父さん・お母さん」が74.2%と最も高く、次いで「学校の友だち」が49.4%、「きょうだい」が27.3%となっています。

中学生は、「学校の友だち」が63.0%と最も高く、次いで「お父さん・お母さん」が61.8%、「きょうだい」が22.3%となっています。



問14 どのような人なら相談したい、相談できると思いますか。
(あてはまるものすべて選択)

小学生、中学生ともに、「自分と同じ悩みを持っている、持っていたことがある人」が最も高く、それぞれ67.2%・63.8%、次いで「自分と年れいが近い人」が48.3%・53.2%、「自分と同じ性別の人」が45.7%・36.1%となっています。



・その他内訳

小学生

内容	件数
家族	21 件
親友など、信頼できる人	19 件
話しやすい人	7 件
口がかたい人	3 件
否定せず理解をしてくれる人	3 件
一緒に考えてくれたり、アドバイスをくれる人	2 件
自分のことをよくわかってくれている人	2 件
学校の先生	2 件
その他	4 件

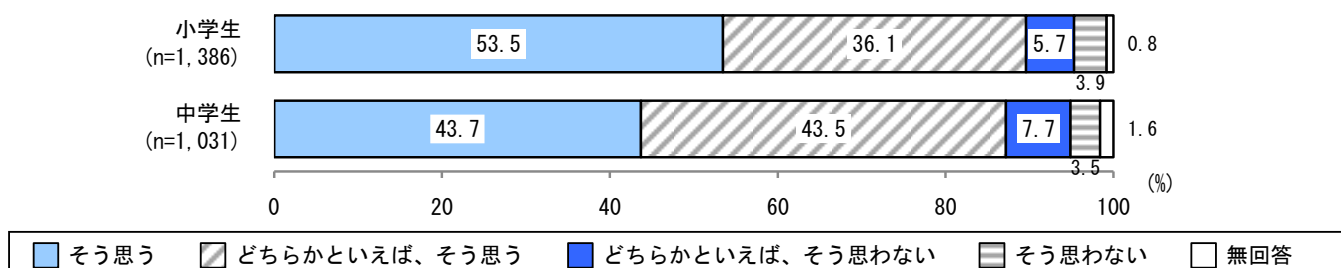
中学生

内容	件数
親友など、信頼できる人	20 件
否定せず理解をしてくれる人	7 件
口がかたい人	3 件
一緒に考えてくれたり、アドバイスをくれる人	2 件
家族	2 件
話しやすい人	2 件
自分のことをよくわかってくれている人	1 件
その他	6 件

(5) 将来について

問15 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(1つだけ選択)

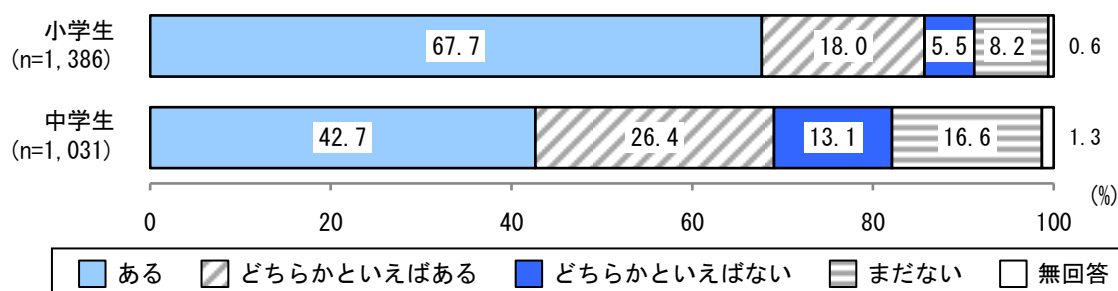
小学生、中学生ともに、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)は、それぞれ89.6%・87.2%と高くなっています。



問16 あなたは、自分の将来について夢や目標がありますか。(1つだけ選択)

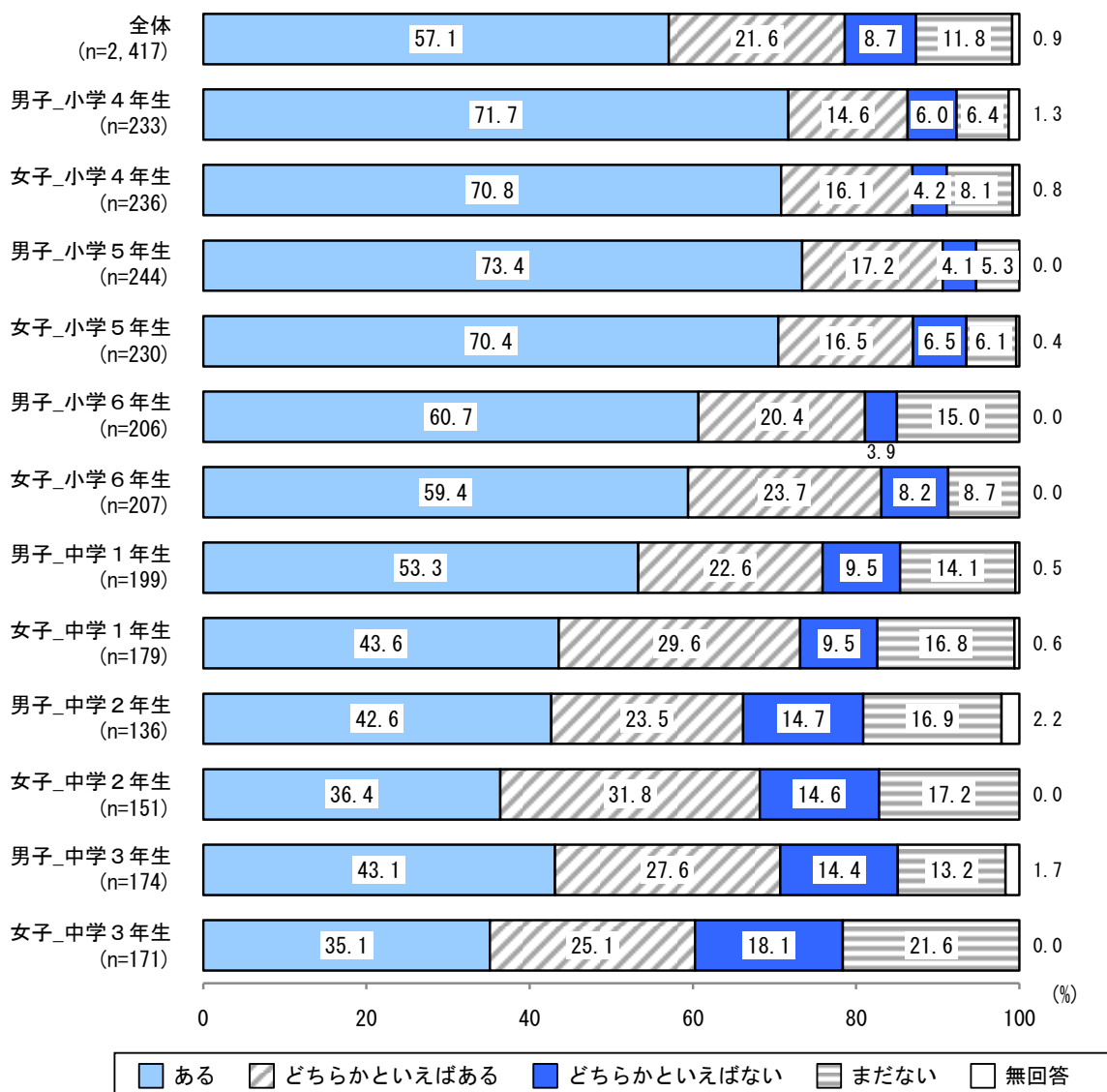
小学生、中学生ともに、『ある』(「ある」と「どちらかといえばある」の合計)は、それぞれ85.7%・69.1%と高くなっています。

また、小学生の方が中学生よりも「ある」が2割以上高く、将来の夢や目標を明確にもっている人が多くなっています。



性別・学年別にみると、「ある」は小学6年生までは同学年の男子と女子で3.0ポイント以下の差であるのに対し、中学1年生以降は6.2ポイント～10.0ポイントの差がみられ、いずれも男子の方が女子よりも高くなっています。また、小学4年生から中学3年生にかけて、男子・女子はそれぞれ28.6ポイント・35.7ポイント減少しています。

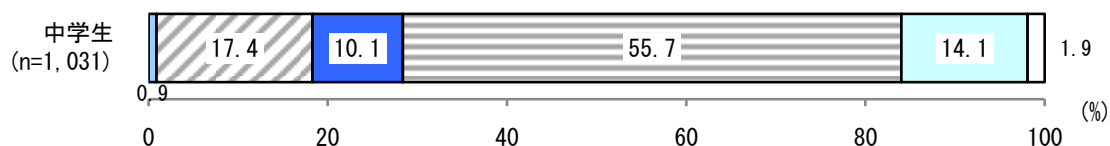
【性別・学年別】



問17 あなたは、どの学校まで進学したいと思いますか。（1つだけ選択）

※中学生のみ

「大学（短期大学、大学院を含む）」が55.7%と最も高く、次いで「高等学校・高等専門学校（中学校を卒業した後に行く学校）」が17.4%、「考えたことがない、わからない」が14.1%となっています。

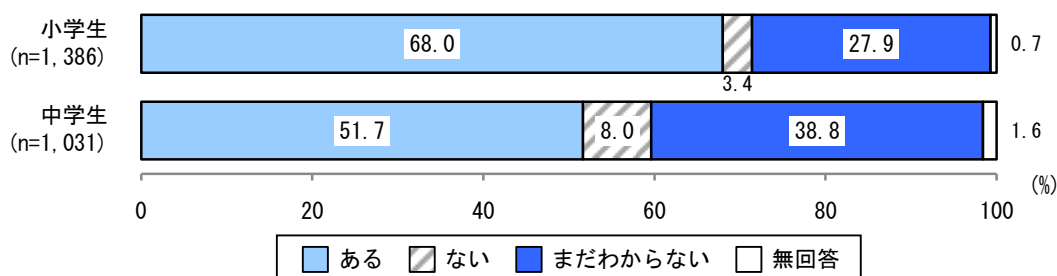


- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| ■ 高等学校には進学しない | ■ 高等学校・高等専門学校（中学校を卒業した後に行く学校） |
| ■ 専門学校（美容師や調理師などの仕事の仕方や技術を学ぶための学校など） | ■ 大学（短期大学、大学院を含む） |
| ■ 考えたことがない、わからない | ■ 無回答 |

問18 あなたは、将来、やりたい仕事がありますか。（1つだけ選択）

※小学生は問17

小学生、中学生ともに、「ある」が最も高く、それぞれ68.0%・51.7%、次いで「まだわからない」が27.9%・38.8%、「ない」が3.4%・8.0%となっています。

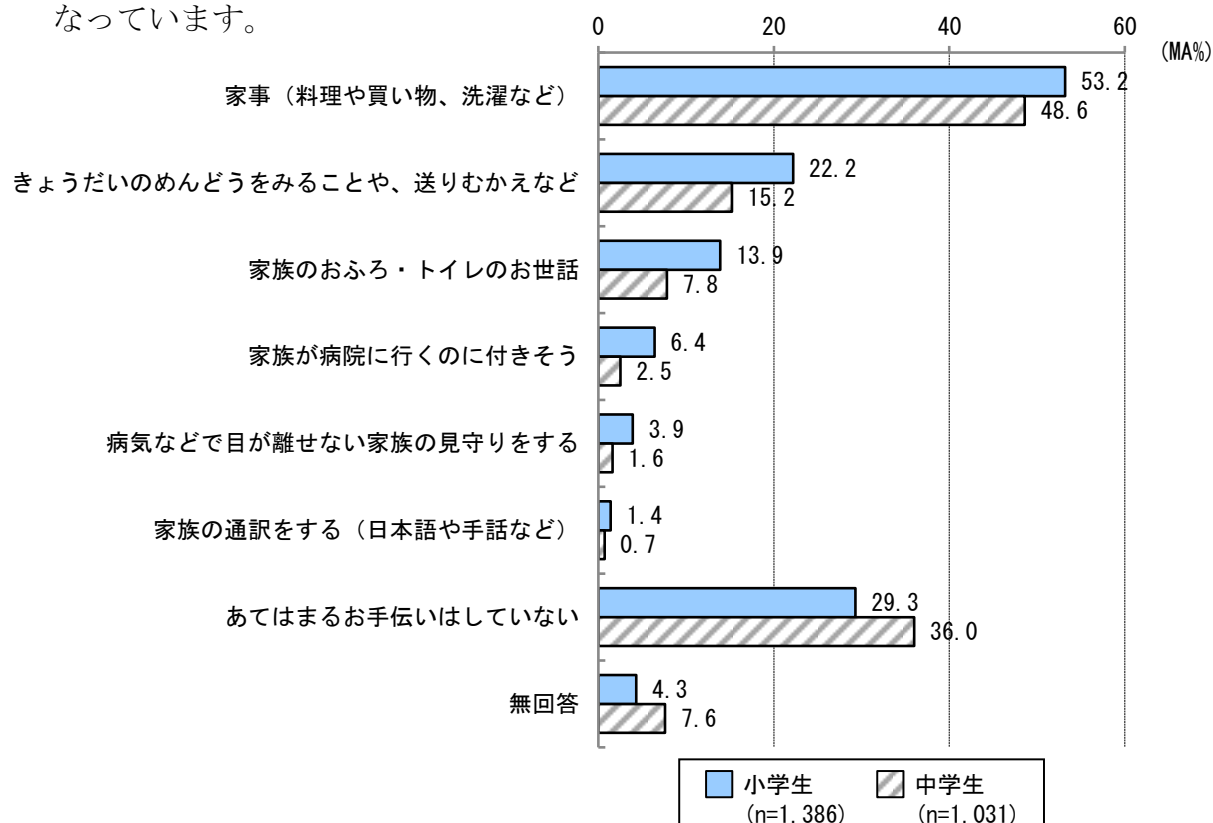


（６）家族のためにしていることについて

問19 次の選択肢の中であなたがしていることはありますか。
（あてはまるものすべて選択）

※小学生は問 18

小学生、中学生ともに、お世話をしている場合の内容は「家事（料理や買い物、洗濯など）」が最も高く、それぞれ53.2%・48.6%、次いで「きょうだいのめんどろをみることや、送りむかえなど」が22.2%・15.2%、「家族のおふろ・トイレのお世話」が13.9%・7.8%となっています。

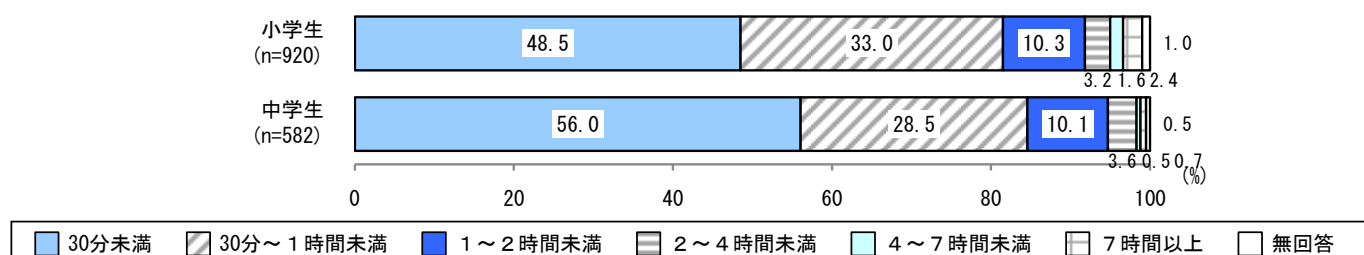


問19（小学生は問18）で選んだことについてお聞きします。

問19－１ １日あたり何時間していますか。（１つだけ選択）

※小学生は問 18－１

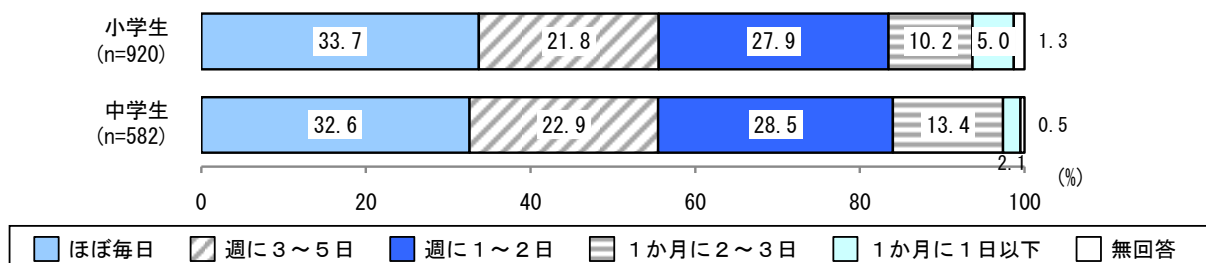
小学生、中学生ともに「30分未満」が最も高く、それぞれ48.5%・56.0%、次いで「30分～1時間未満」が33.0%・28.5%となっており、8割以上が1時間未満と回答しています。



問19－2 どれぐらいの頻度でしていますか。（１つだけ選択）

※小学生は問 18－2

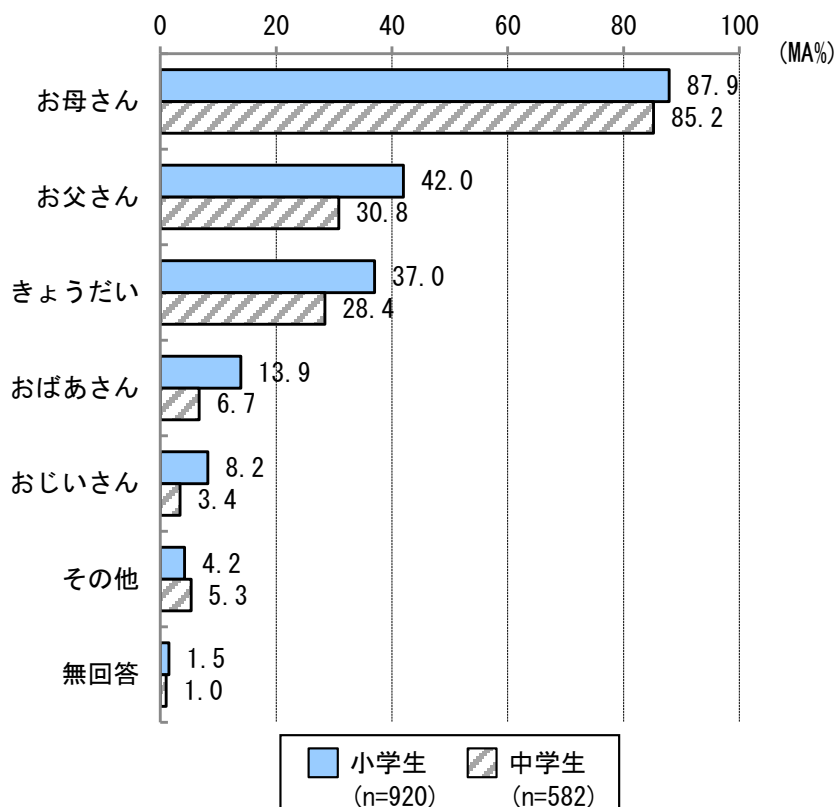
小学生、中学生ともに、「ほぼ毎日」が最も高く、それぞれ33.7%・32.6%、次いで「週に1～2日」が27.9%・28.5%、「週に3～5日」が21.8%・22.9%となっています。



問19－3 だれのお手伝いですか。（あてはまるものすべて選択）

※小学生は問 18－3

小学生、中学生ともに、「お母さん」が最も高く、それぞれ87.9%・85.2%、次いで「お父さん」が42.0%・30.8%、「きょうだい」が37.0%・28.4%となっています。

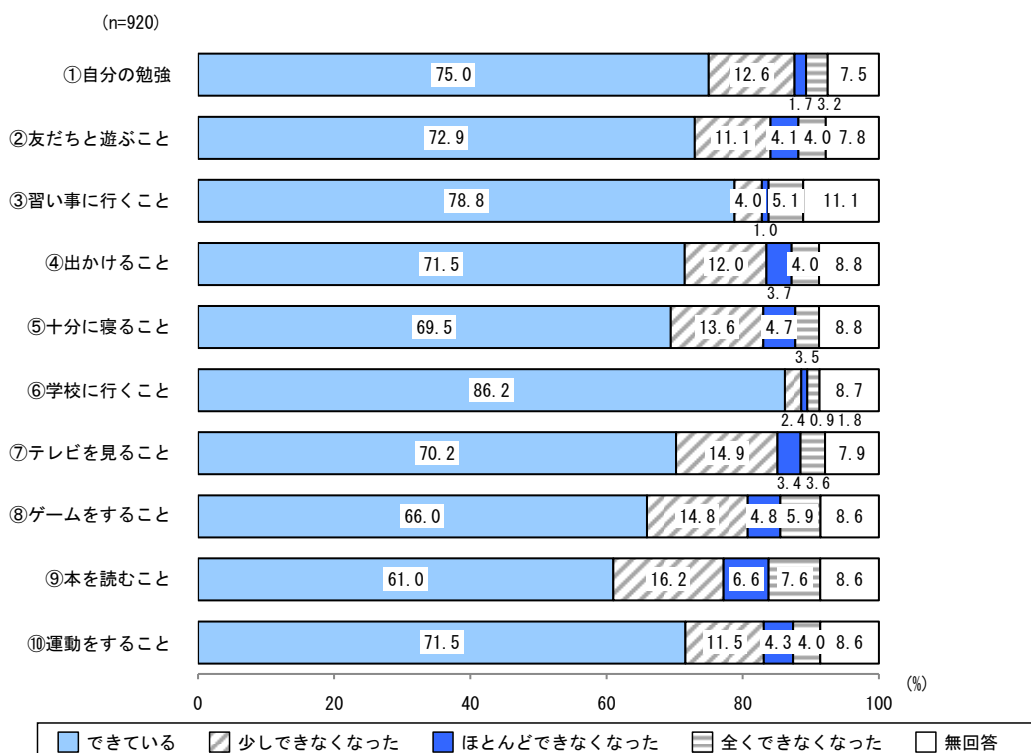


問19－4 次の①～⑩のうち、お手伝いをしていることでできなくなったことはありますか。（それぞれ1つだけ選択）

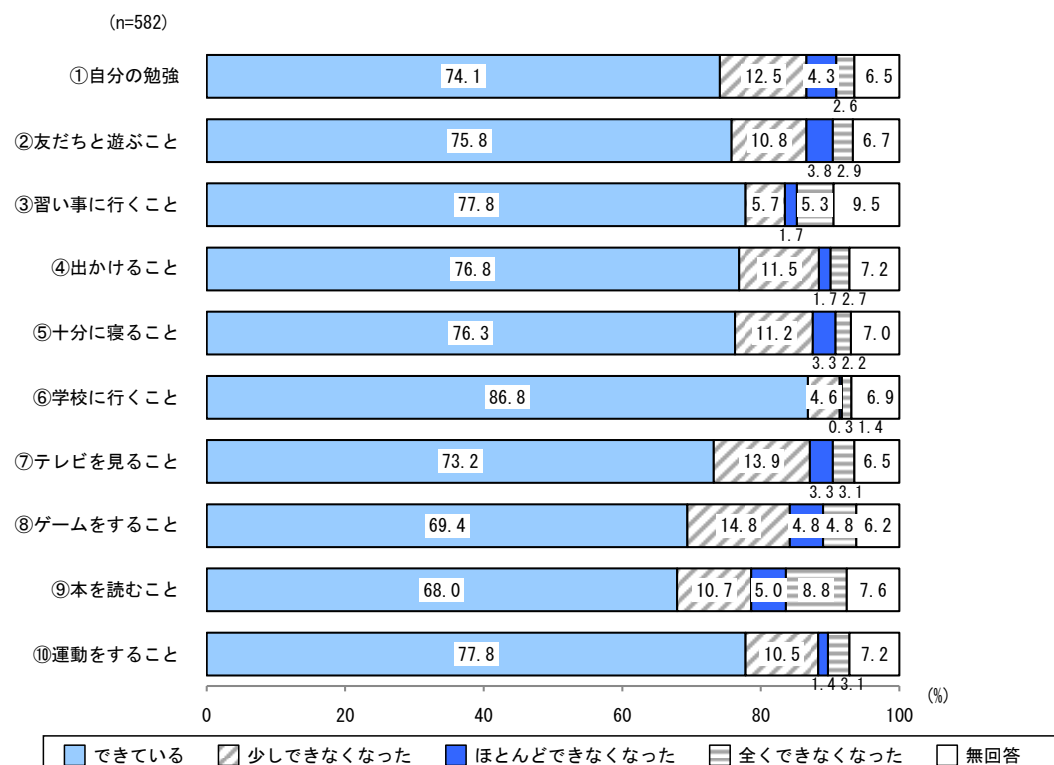
※小学生は問 18－4

小学生、中学生ともに、『できなくなった』（「少しできなくなった」、「ほとんどできなくなった」、「全くできなくなった」の合計）は、⑨本を読むことで最も高く、それぞれ30.4%・24.5%、次いで⑧ゲームをすることが25.5%・24.4%、⑦テレビを見ることが21.9%・20.3%となっています。

【小学生】



【中学生】

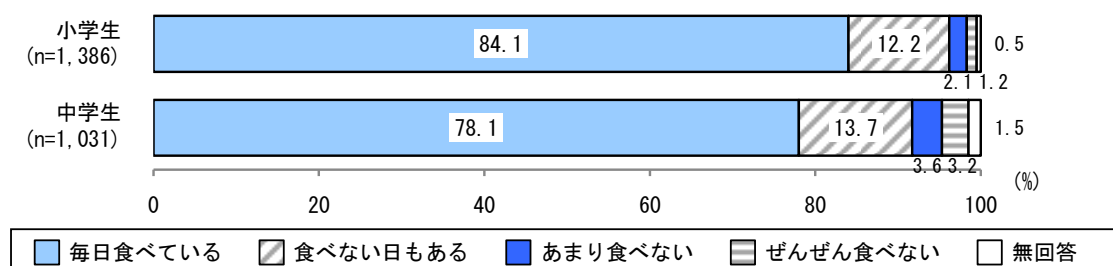


(7) 生活について

問20 あなたは、毎日朝ごはんを食べていますか。(1つだけ選択)

※小学生は問19

小学生、中学生ともに、「毎日食べている」が最も高く、それぞれ84.1%・78.1%、次いで「食べない日もある」が12.2%・13.7%、「あまり食べない」が2.1%・3.6%となっています。



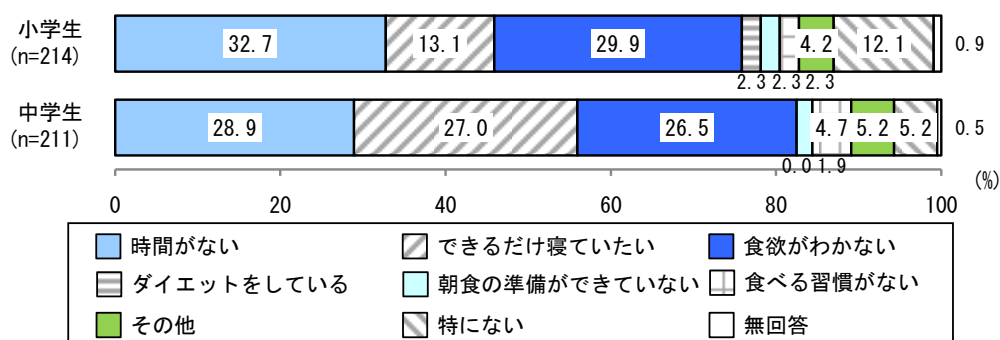
問20（小学生は問19）で「食べない日もある」～「ぜんぜん食べない」を選択した方にお聞きします。

問20-1 朝ごはんを食べない（食べられない）理由は何ですか。 (一番あてはまるものを1つ選択)

※小学生は問19-1

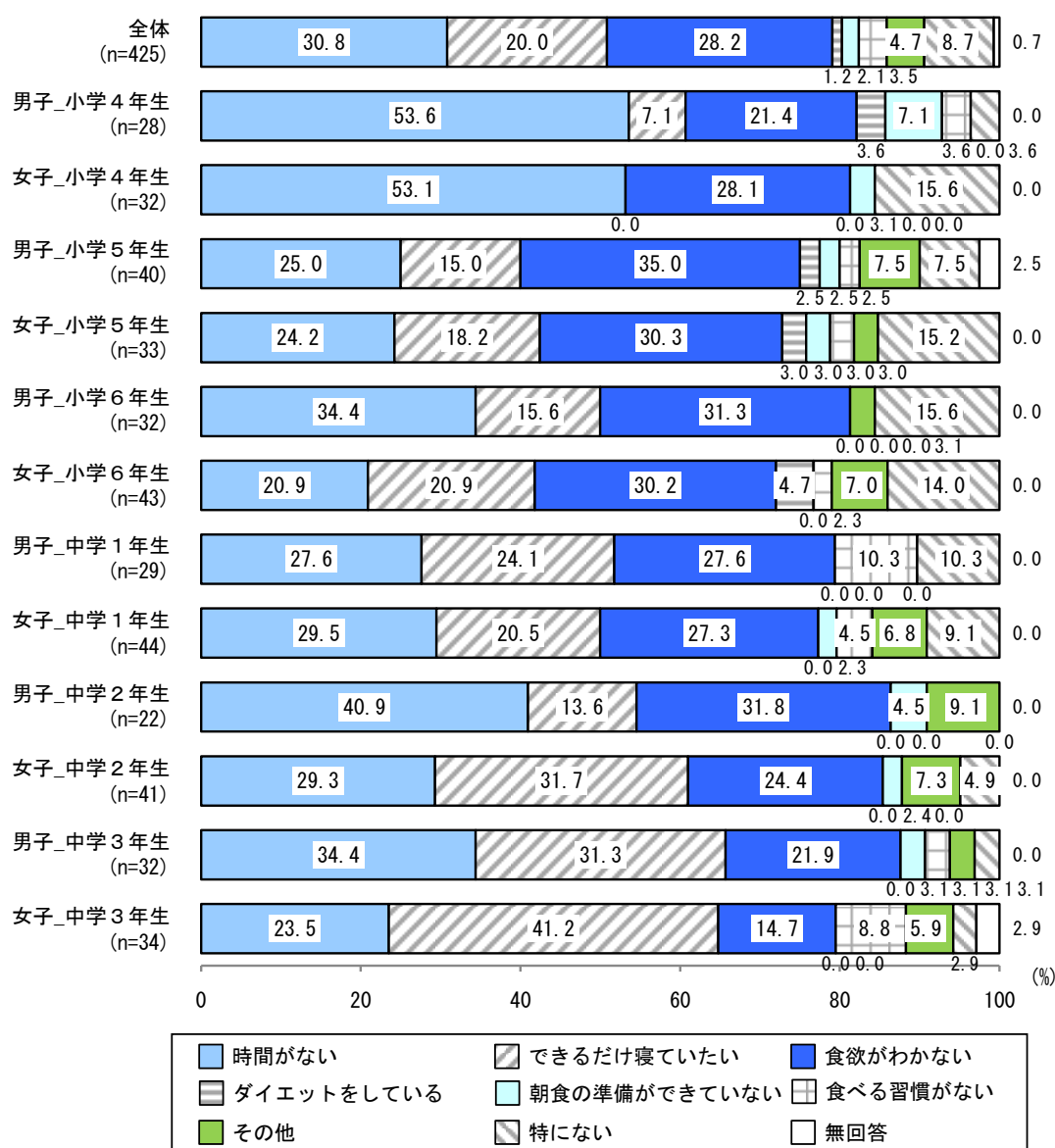
小学生、中学生ともに、「時間がない」が最も高く、それぞれ32.7%・28.9%、次いで小学生は「食欲がわかない」が29.9%、「できるだけ寝ていたい」が13.1%、中学生は「できるだけ寝ていたい」が27.0%、「食欲がわかない」が26.5%となっています。

また、中学生は小学生よりも「できるだけ寝ていたい」が2倍以上高くなっています。



性別・学年別にみると、小学4年生では性別にかかわらず、「時間がない」が半数以上を占めている一方、『男子_中学2年生』を除くすべての性別・学年ではおよそ2～3割と低くなっています。「できるだけ寝ていたい」は概ね学年が上がるにつれて高くなり、特に女子は小学4年生では0.0%と回答がみられない一方で中学3年生では41.2%と高い割合を占めています。

【性別・学年別】



問21 あなたには、自分が使うことができる①～⑨のものはありますか。ある場合は「ある」を選択してください。ない場合は、それがほしいものであれば「ほしい」、いらないと思うものであれば、「ほしくない」を選択してください。
(それぞれ1つだけ選択)

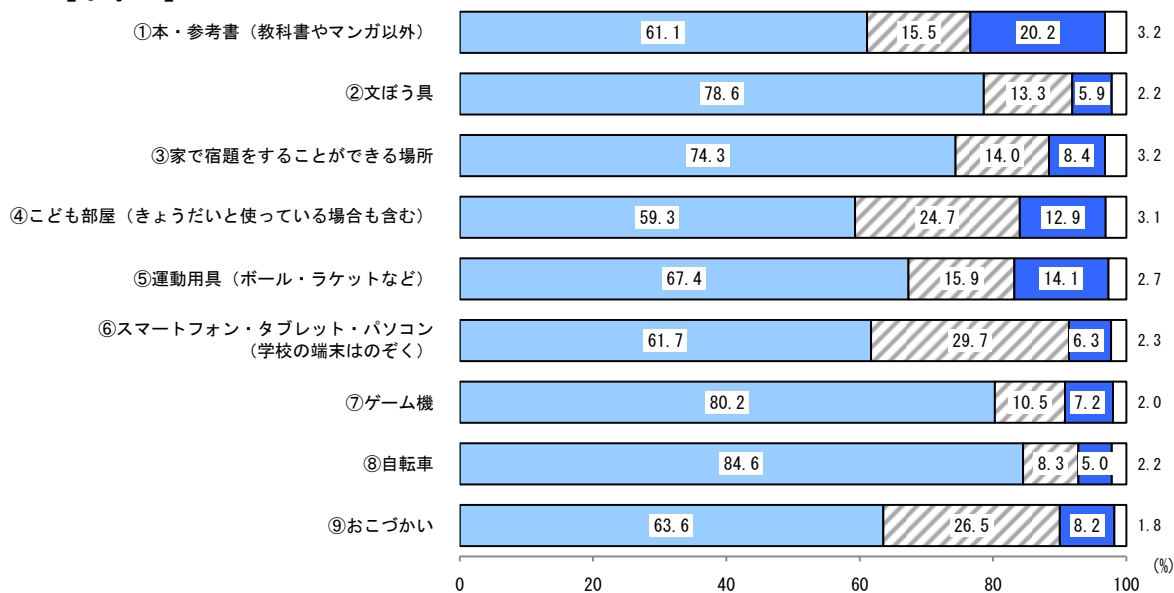
※小学生は問20

小学生は、⑧自転車で「ある」が84.6%、⑥スマートフォン・タブレット・パソコン（学校の端末はのぞく）で「ほしい」が29.7%、①本・参考書（教科書やマンガ以外）で「ほしくない」が20.2%とそれぞれ最も高くなっています。

中学生は、⑥スマートフォン・タブレット・パソコン（学校の端末はのぞく）で「ある」が86.6%、⑨おこづかいで「ほしい」が18.4%、①本・参考書（教科書やマンガ以外）で「ほしくない」が16.6%とそれぞれ最も高くなっています。

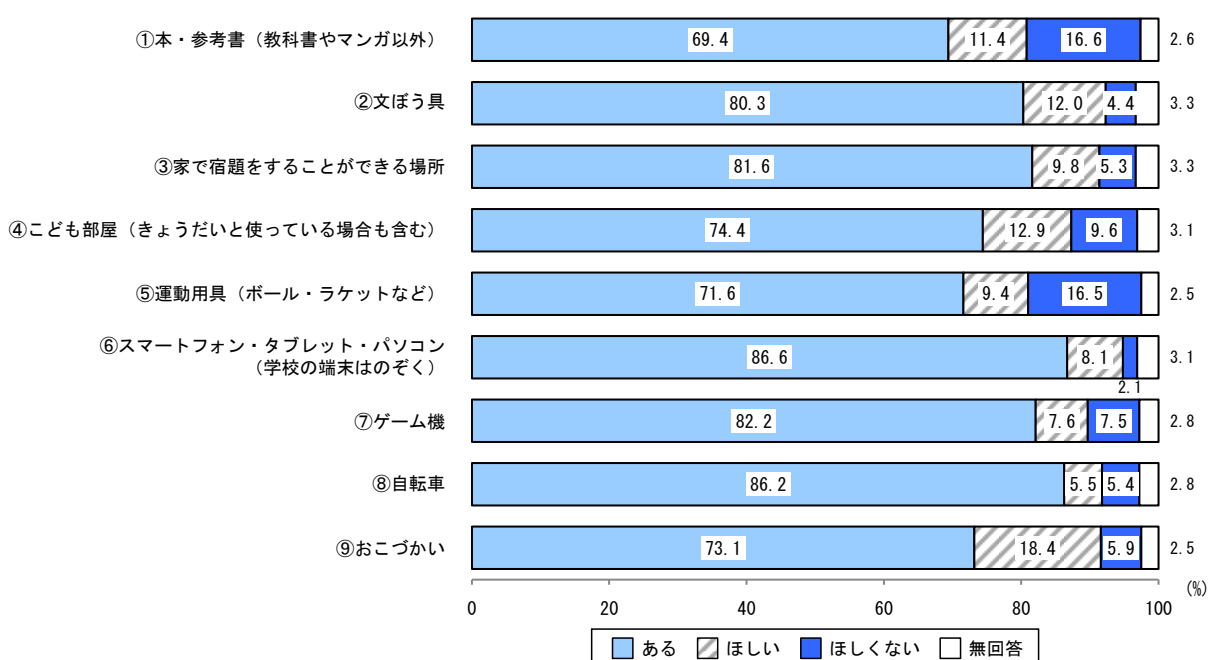
【小学生】

(n=1,386)



【中学生】

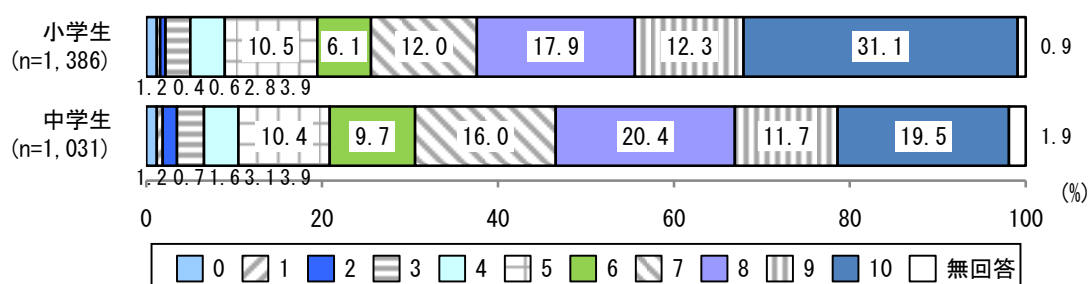
(n=1,031)



問22 あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（とても満足している）の数字で教えてください。
（1つだけ選択）

※小学生は問 21

小学生、中学生ともに、『満足している』（「6」～「10」の合計）は、それぞれ79.4%・77.3%と高くなっています。



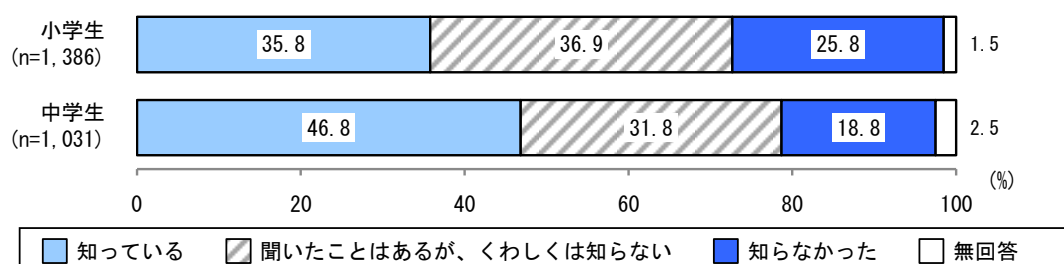
（８）こどもの意見表明権について

問23 こどもには、自由に自分の意見を表す権利があることを知っていますか。
（1つだけ選択）

※小学生は問 22

小学生は、「聞いたことはあるが、くわしくは知らない」が36.9%と最も高く、次いで「知っている」が35.8%、「知らなかった」が25.8%となっています。

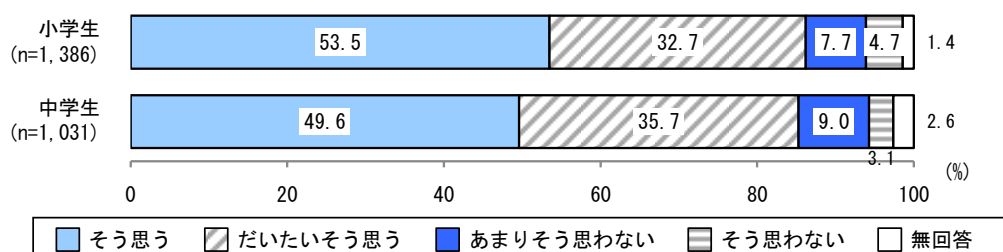
中学生は、「知っている」が46.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、くわしくは知らない」が31.8%、「知らなかった」が18.8%となっています。



問24 あなたは、家庭で、あなたの考えや思っていることを聞いてもらっていると思いますか。（1つだけ選択）

※小学生は問 23

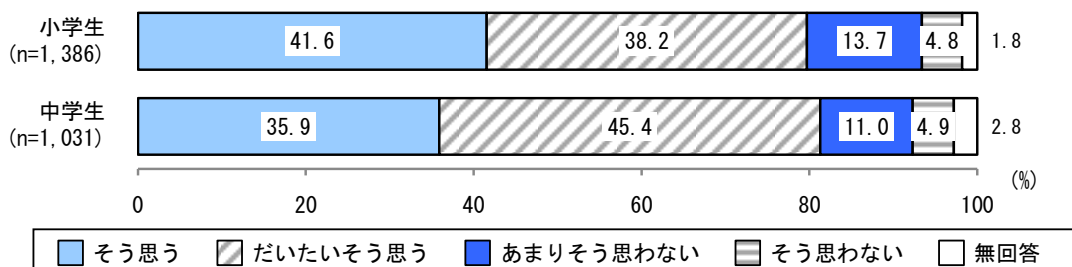
小学生、中学生ともに、『そう思う』（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が、それぞれ86.2%・85.3%と高くなっています。



問25 あなたは、学校で、あなたの考えや思っていることを聞いてもらっていると思いますか。（1つだけ選択）

※小学生は問 24

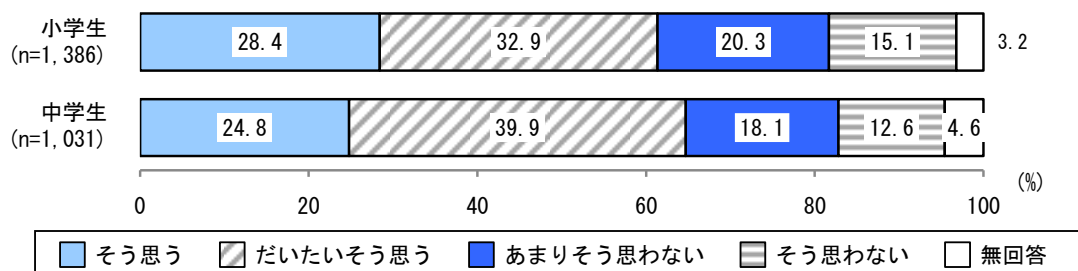
小学生、中学生ともに、『そう思う』（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が、それぞれ79.8%・81.3%と高くなっています。



問26 あなたは、地域（習い事や塾などの場所や、地域の人が開いている遊びや勉強、食事ができる場所など）で、あなたの考えや思っていることを聞いてもらっていると思いますか。（1つだけ選択）

※小学生は問 25

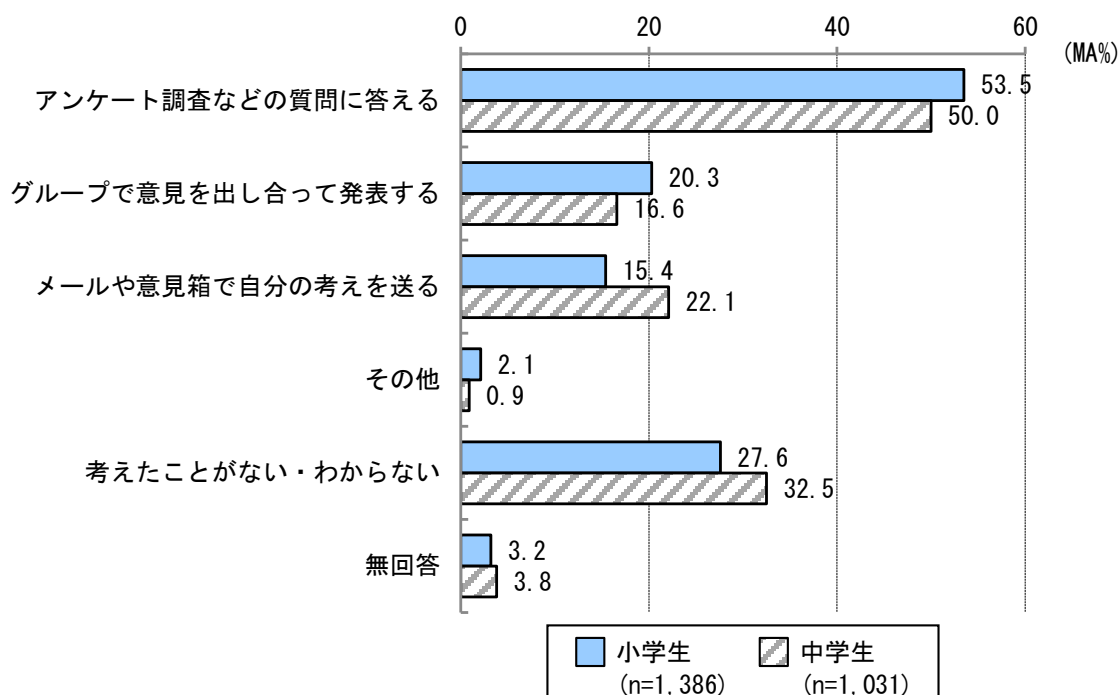
小学生、中学生ともに、『そう思う』（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が、それぞれ61.3%・64.7%と高くなっています。



問27 住んでいるまちや身のまわりの生活などをより良くするために、あなたが意見を言う場合、どのような方法がよいですか。（あてはまるものすべて選択）

※小学生は問 26

小学生、中学生ともに、「アンケート調査などの質問に答える」が最も高く、それぞれ53.5%・50.0%、「考えたことがない・わからない」を除くと、次いで小学生は「グループで意見を出し合って発表する」が20.3%、「メールや意見箱で自分の考えを送る」が15.4%、中学生は「メールや意見箱で自分の考えを送る」が22.1%、「グループで意見を出し合って発表する」が16.6%となっています。



2 若者

(1) 状況について

問1 あなたの性別を教えてください。(1つだけ選択)

	男	女	た い そ く・ な わ か ら ど ち な い ・ ど も え な い	無 回 答
全体 (n=367)	167	193	6	1

※実人数で記載

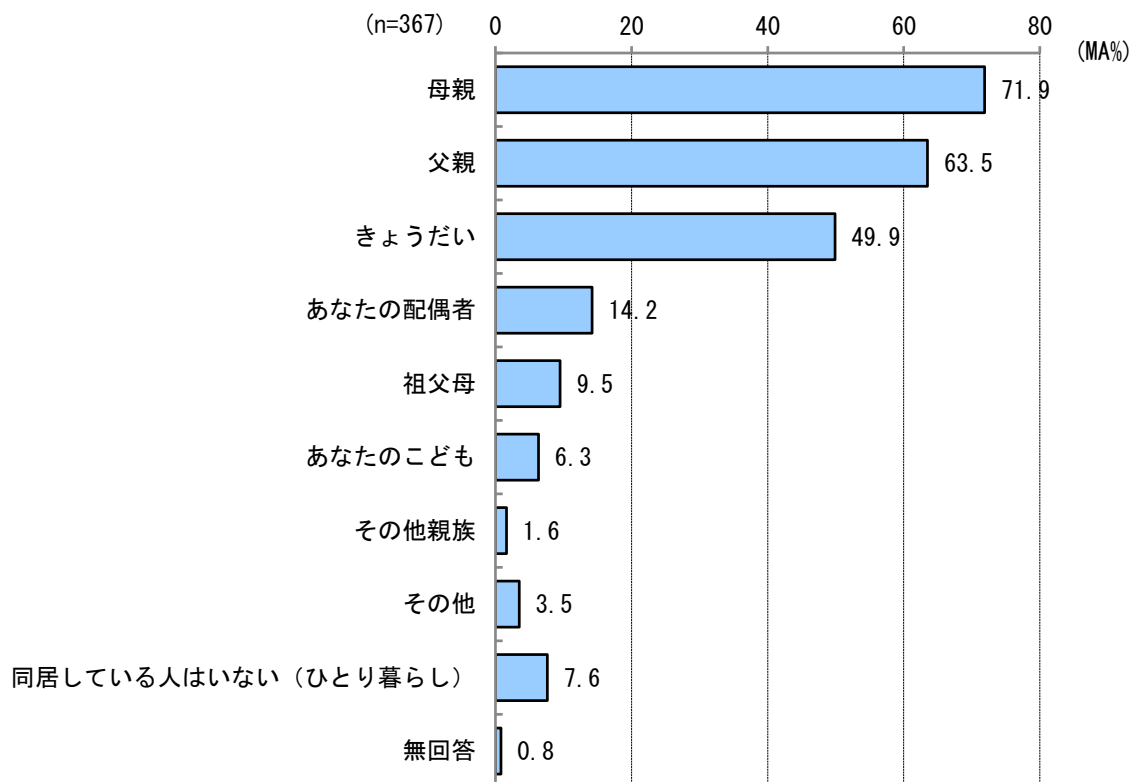
問2 あなたの年齢を教えてください。(1つだけ選択)【令和6年4月1日時点】

	1 5 5 1 8 歳	1 9 5 2 0 歳	2 1 5 2 4 歳	2 5 5 2 9 歳	無 回 答
全体 (n=367)	129	40	82	115	1

※実人数で記載

問3 あなたが今、一緒に住んでいる人をすべて選んでください。
(あてはまるものすべて選択)

「母親」が71.9%と最も高く、次いで「父親」が63.5%、「きょうだい」が49.9%となっています。



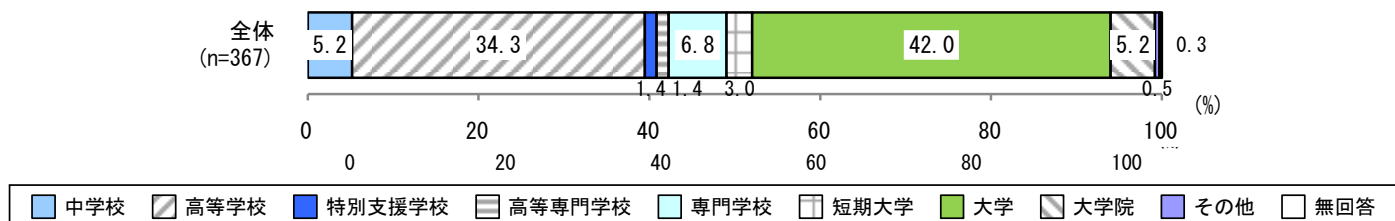
問4 あなたがお住いの地域をお答えください。(1つだけ選択)

	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	向日町	上植野町	その他	無回答
全体 (n=367)	61	171	26	23	20	62	2	2

※実人数で記載

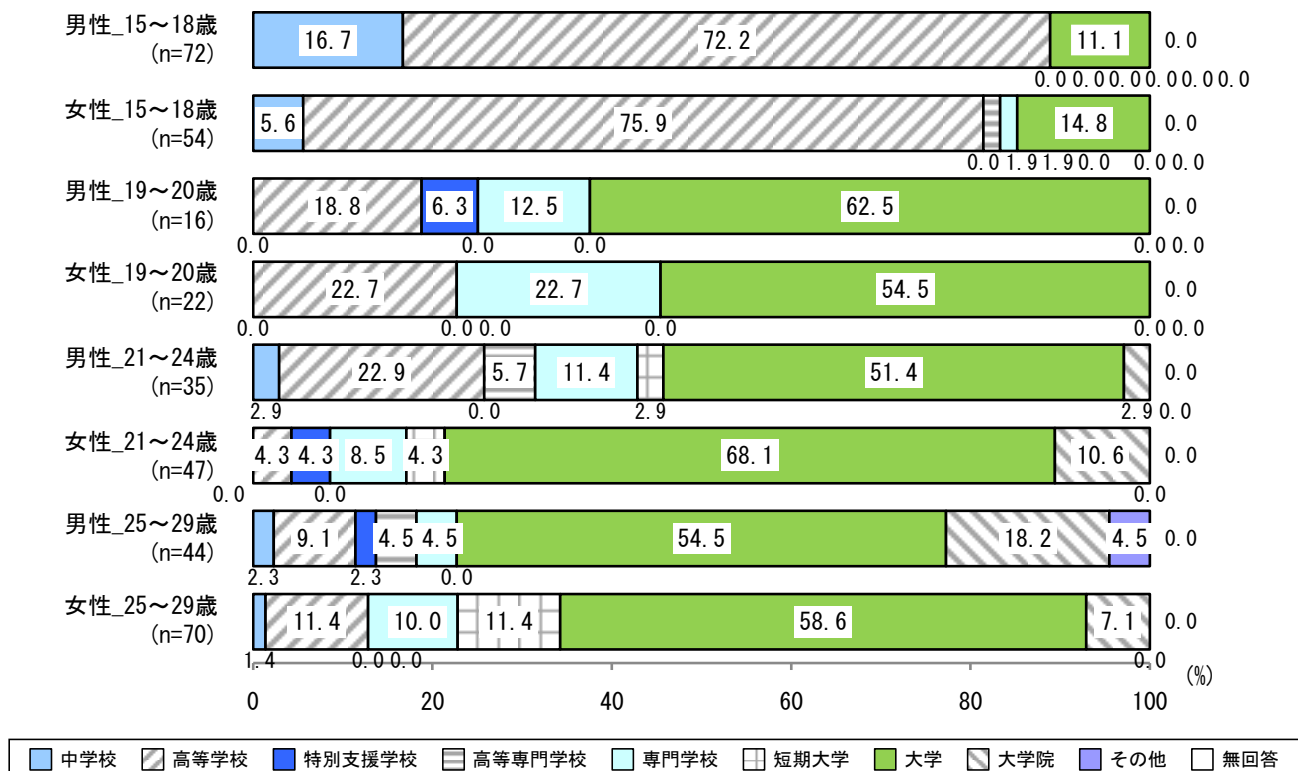
問5 あなたが最後に卒業した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校を教えてください。（1つだけ選択）

「大学」が42.0%と最も高く、次いで「高等学校」が34.3%、「専門学校」が6.8%となっています。



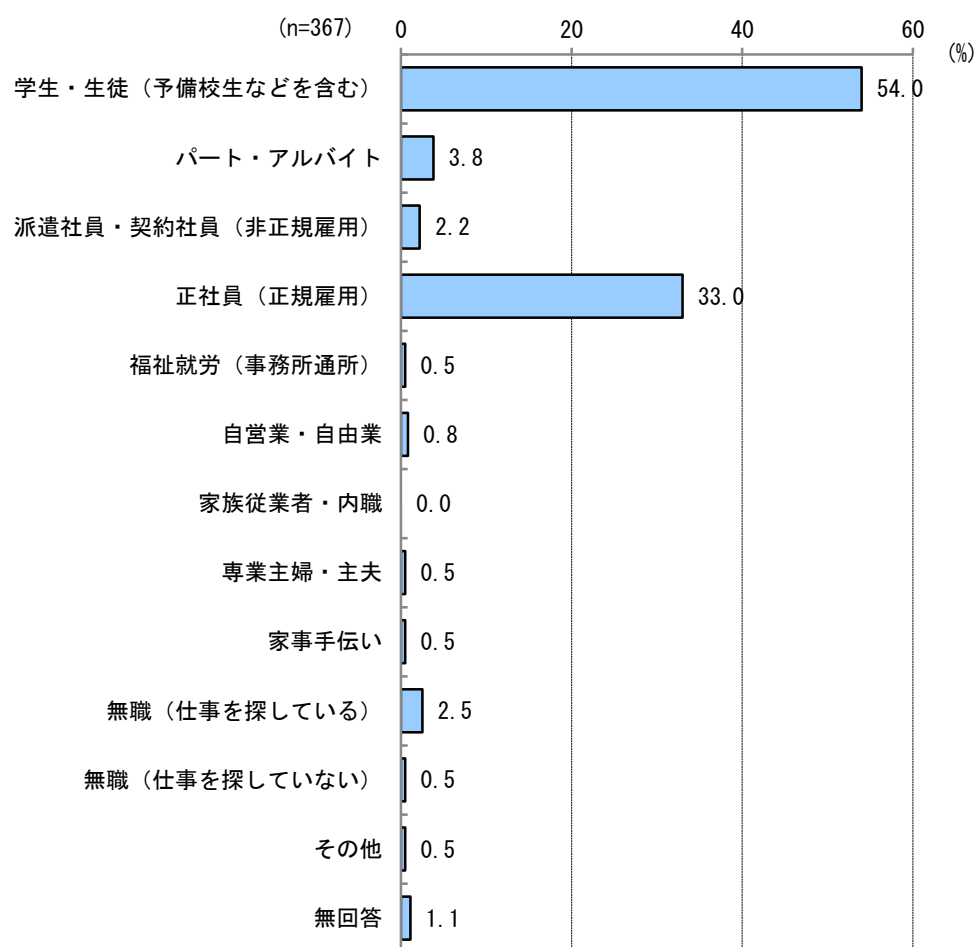
性別・年齢別にみると、19歳以上では性別に関わらず「大学」が半数以上を占めており、「中学校」は19～20歳を除くと男性の方が女性よりも割合が高くなっています。

【性別・年齢別】



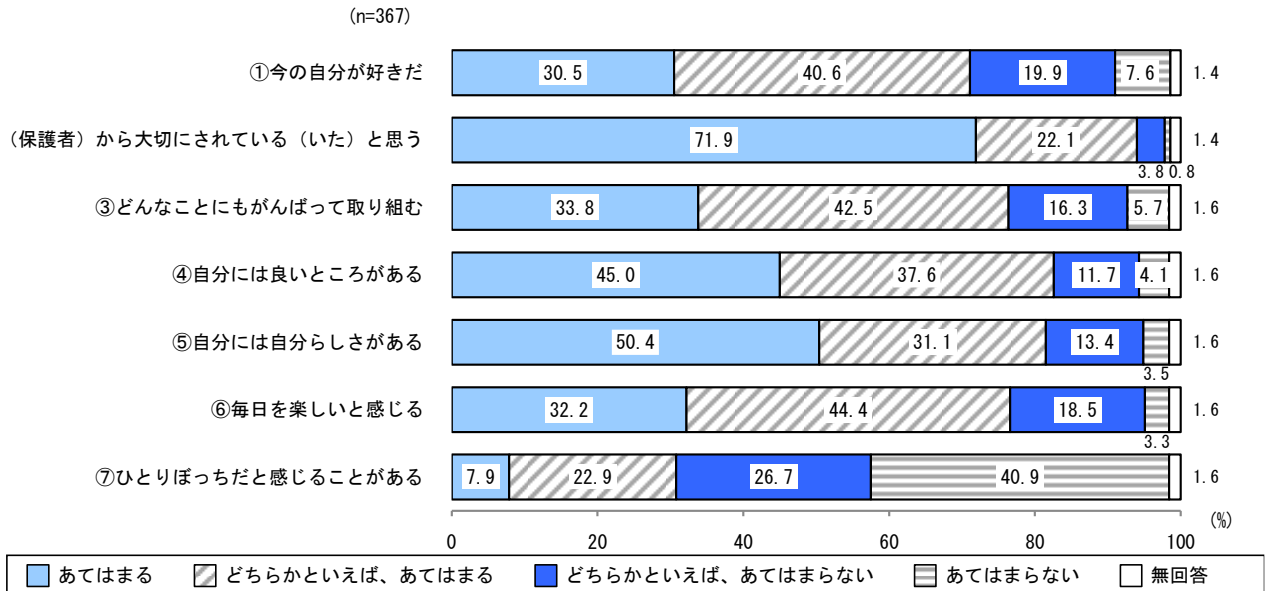
問6 あなたの現在の職業を教えてください。(1つだけ選択)

「学生・生徒(予備校生などを含む)」が54.0%と最も高く、次いで「正社員(正規雇用)」が33.0%、「パート・アルバイト」が3.8%となっています。



**問7 あなたは、自分のことについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。
(それぞれ1つだけ選択)**

②親（保護者）から大切にされている（いた）と思うの『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）は94.0%と最も高く、一方で⑦ひとりぼっちだと感じることもあるの『あてはまる』は30.8%と低くなっています。

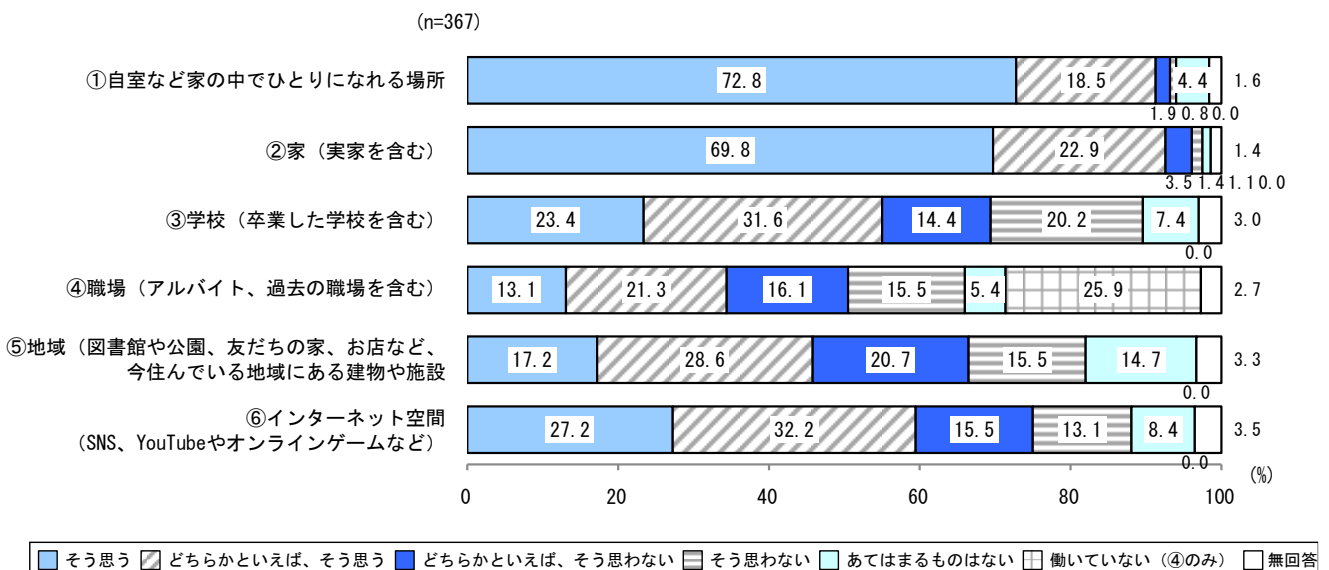


（2）居場所について

問8 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。（それぞれ1つだけ選択）

※「働いていない」は④職場（アルバイト、過去の職場を含む）のみ

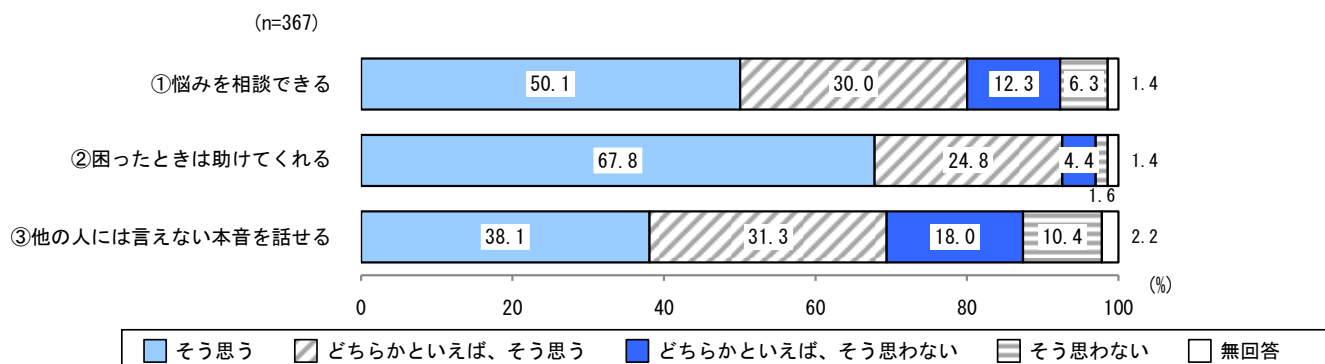
②家（実家を含む）の『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）は92.7%と最も高く、一方で④職場（アルバイト、過去の職場を含む）の『そう思う』は34.4%と低くなっています。



(3) まわりの人について

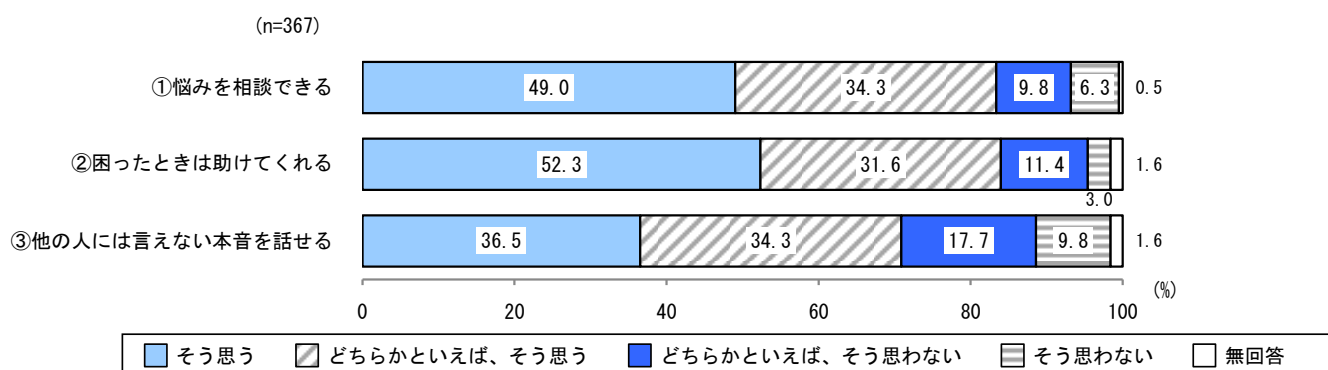
問9 家族・親せきとあなたの関わりは、どのようなものですか。
(それぞれ1つだけ選択)

②困ったときは助けてくれるの『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)は92.6%と最も高く、一方で③他の人には言えない本音を話せるの『そう思う』は、69.4%と低くなっています。



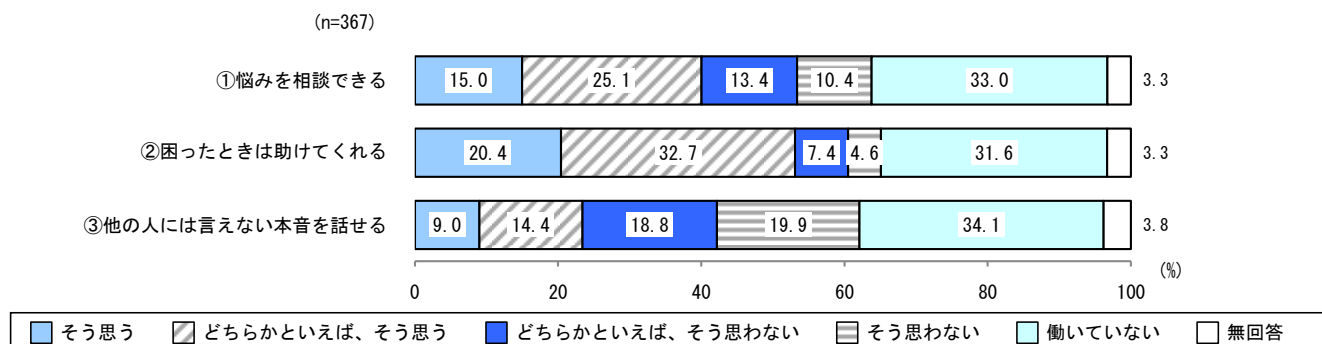
問10 学校で出会った友だちと、あなたの関わりは、どのようなものですか。
(それぞれ1つだけ選択)

②困ったときは助けてくれるの『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)は83.9%と最も高く、一方で③他の人には言えない本音を話せるの『そう思う』は、70.8%と低くなっています。



問11 職場の人（同僚や上司）と、あなたの関わりは、どのようなものですか。
（それぞれ1つだけ選択）

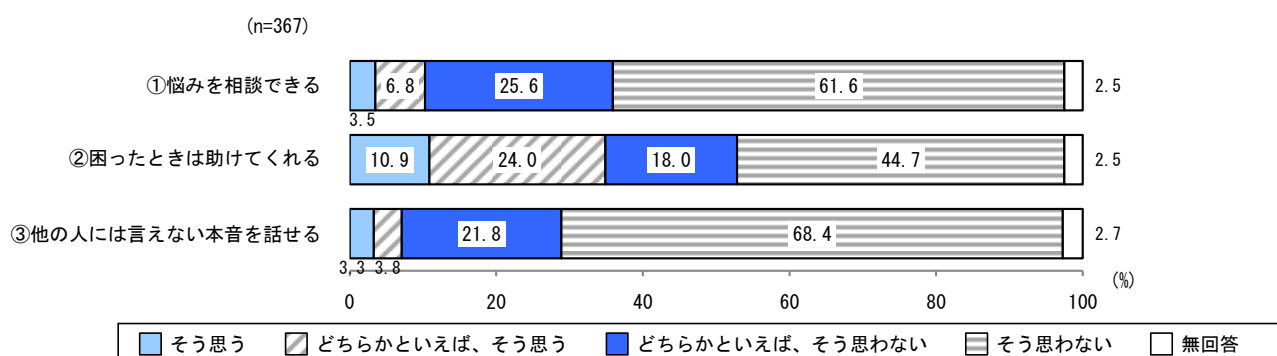
②困ったときは助けてくれるの『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）は53.1%と最も高く、一方で③他の人には言えない本音を話せるの『そう思う』は、23.4%と低くなっています。



問12 地域の人（近所の人など）とあなたの関わりは、どのようなものですか。
（それぞれ1つだけ選択）

②困ったときは助けてくれるの『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）は34.9%と最も高く、一方で③他の人には言えない本音を話せるの『そう思う』は、7.1%と低くなっています。

また、①～③のすべての項目において『そう思わない』（「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の合計）は、それぞれおよそ6割～9割を占めており、近所の人に相談することや、助けを求めることができないと感じています。

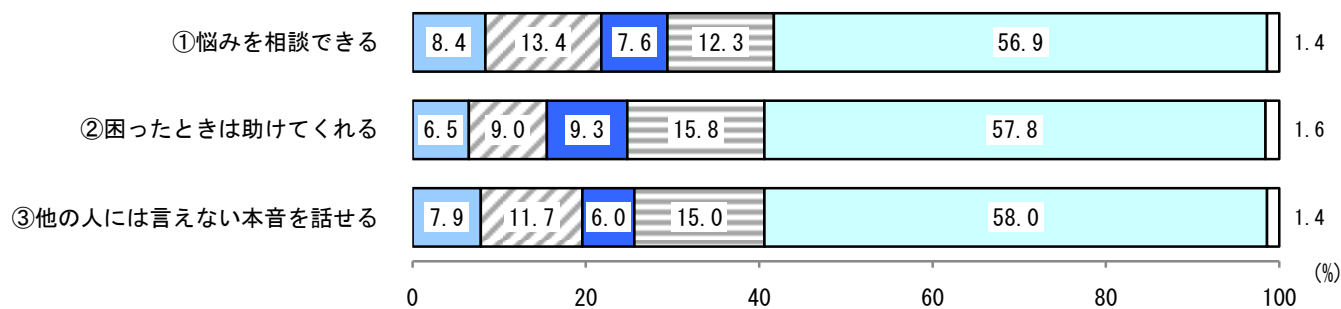


問13 インターネットで知り合った人とあなたの関わりは、どのようなものですか。
(それぞれ1つだけ選択)

①悩みを相談できるの『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)は21.8%と最も高く、一方で②困ったときは助けてくれるの『そう思う』は、15.5%と低くなっています。

また、「インターネットで知り合った人はいない」は5割以上と高くなっています。

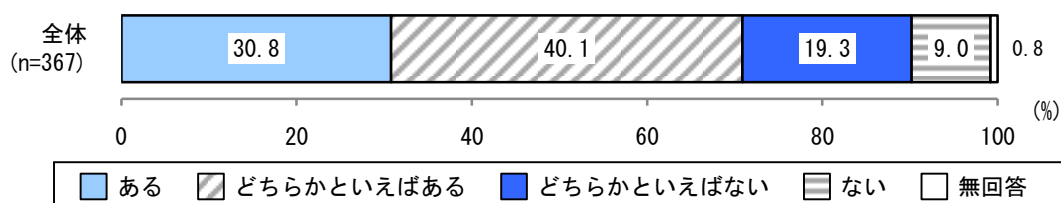
(n=367)



(4) 将来や結婚・子育てに対する考え方について

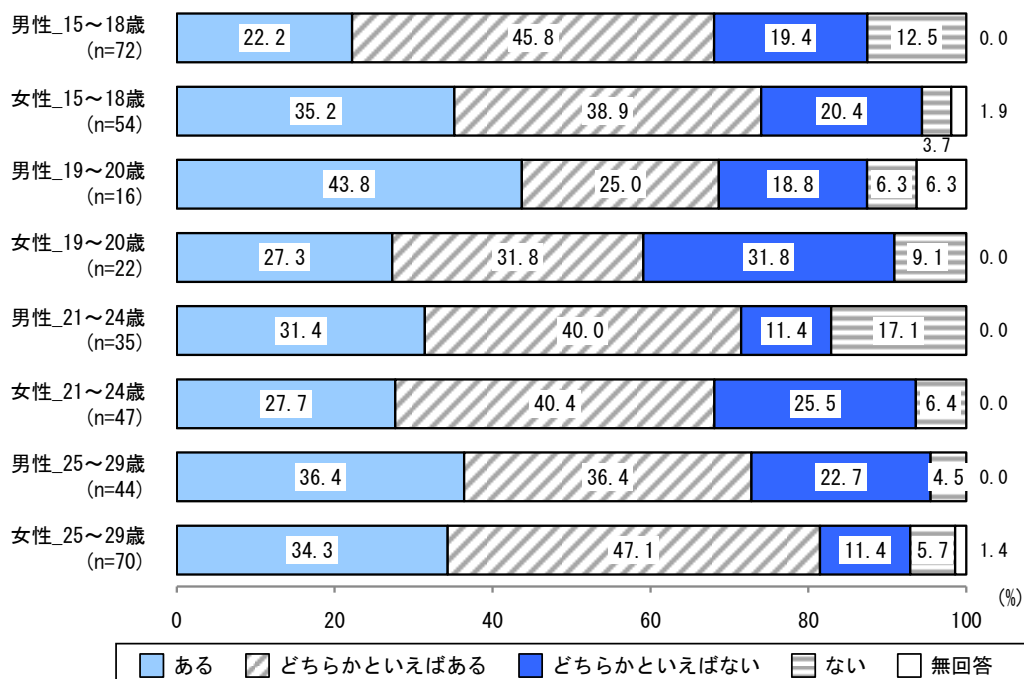
問14 あなたは、自分の将来について明るいイメージがありますか。(1つだけ選択)

『ある』(「ある」と「どちらかといえばある」の合計)は70.9%と高くなっています。



性別・年齢別にみると、男性では年齢に関わらず『ある』(「ある」と「どちらかといえばある」の合計)の割合はおよそ7割でほとんど変わらないのに対して、女性では年齢毎に差がみられ、25～29歳で81.4%と最も高くなっています。

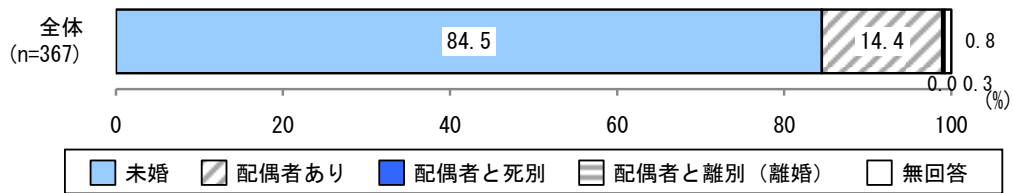
【性別・年齢別】



問15 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。（1つだけ選択）

※「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

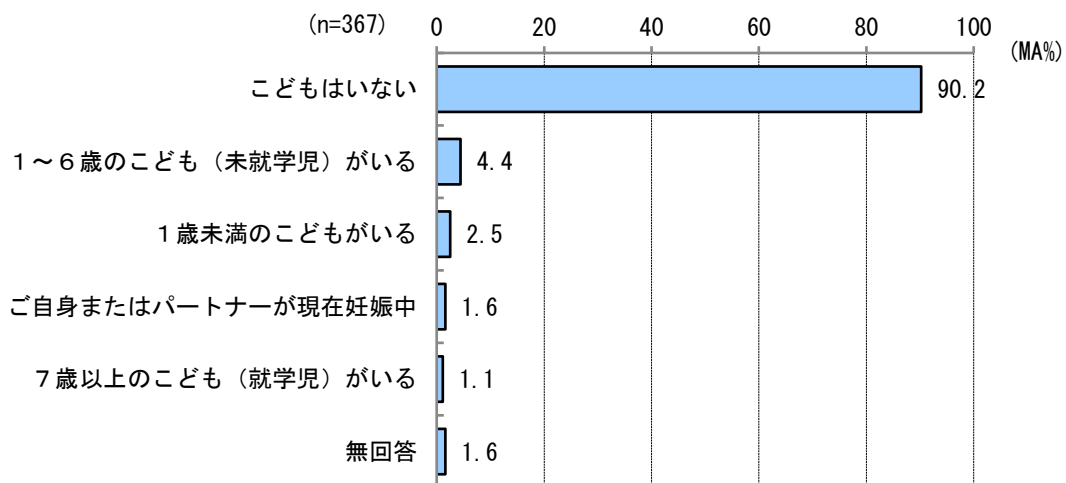
「未婚」が84.5%と最も高く、次いで「配偶者あり」が14.4%、「配偶者と離別（離婚）」が0.3%となっています。



問16 あなたはお子さんがいらっしゃいますか。（あてはまるものすべて選択）

※以前の配偶者とのお子さんなど、同居せず養育している場合も含みます。

「こどもはいない」が90.2%と最も高く、次いで「1～6歳のこども（未就学児）がいる」が4.4%、「1歳未満のこどもがいる」が2.5%となっています。



問16で「1歳未満のこどもがいる」～「7歳以上のこども（就学児）がいる」を選択した方にお聞きします。

問16－1 現在のお子さんの人数をお答えください。（1つだけ選択）

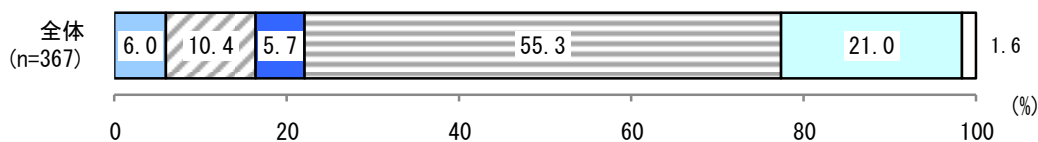
「1人」が66.7%、「2人」が25.0%となっています。



皆さんにお聞きします。

問17 あなたは将来、お子さんを持ちたいと思いますか。(1つだけ選択)

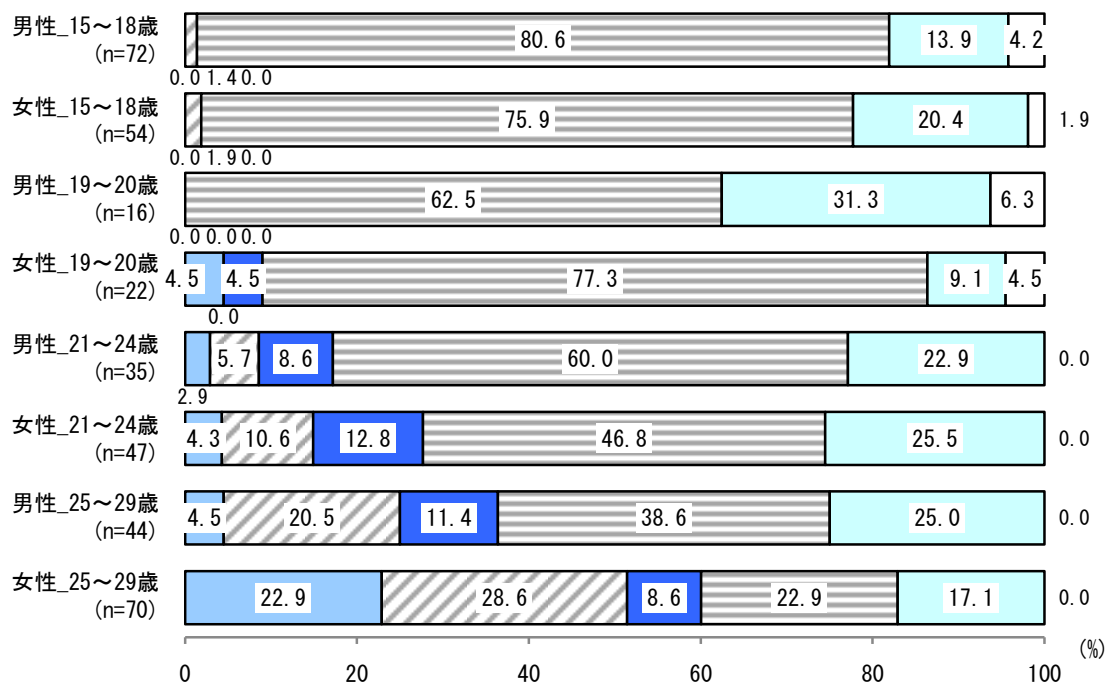
「いずれは持ちたい」が55.3%と最も高く、次いで「(これ以上) こどもを持つことは望んでいない」が21.0%、「2～3年以内に持ちたい」が10.4%となっています。



■ すぐにでも持ちたい ■ 2～3年以内に持ちたい ■ 5年以内に持ちたい ■ いずれは持ちたい ■ (これ以上) こどもを持つことは望んでいない ■ 無回答

性別・年齢別にみると、性別に関わらず「いずれは持ちたい」は年齢が上がるにつれて低くなっており、女性では19歳以上、男性では21歳以上から具体的にいつまでにこどもを持ちたいという回答の割合が高くなり、特に「すぐにでも持ちたい」は『女性_25～29歳』が22.9%と最も高くなっています。

【性別・年齢別】

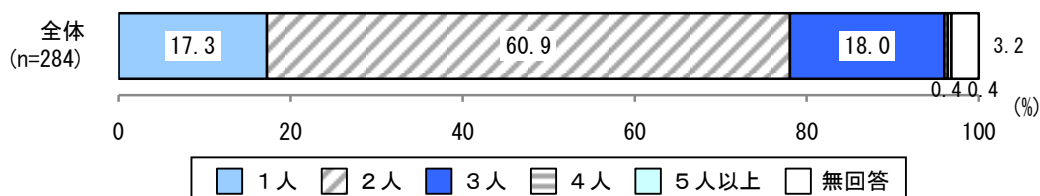


■ すぐにでも持ちたい ■ 2～3年以内に持ちたい ■ 5年以内に持ちたい ■ いずれは持ちたい ■ (これ以上) こどもを持つことは望んでいない ■ 無回答

問17で「すぐにでも持ちたい」～「いずれは持ちたい」を選択した方（こどもを持ちたい方）にお聞きします。

問17ー1 あなたは将来、お子さんを何人持ちたいですか。（1つだけ選択）

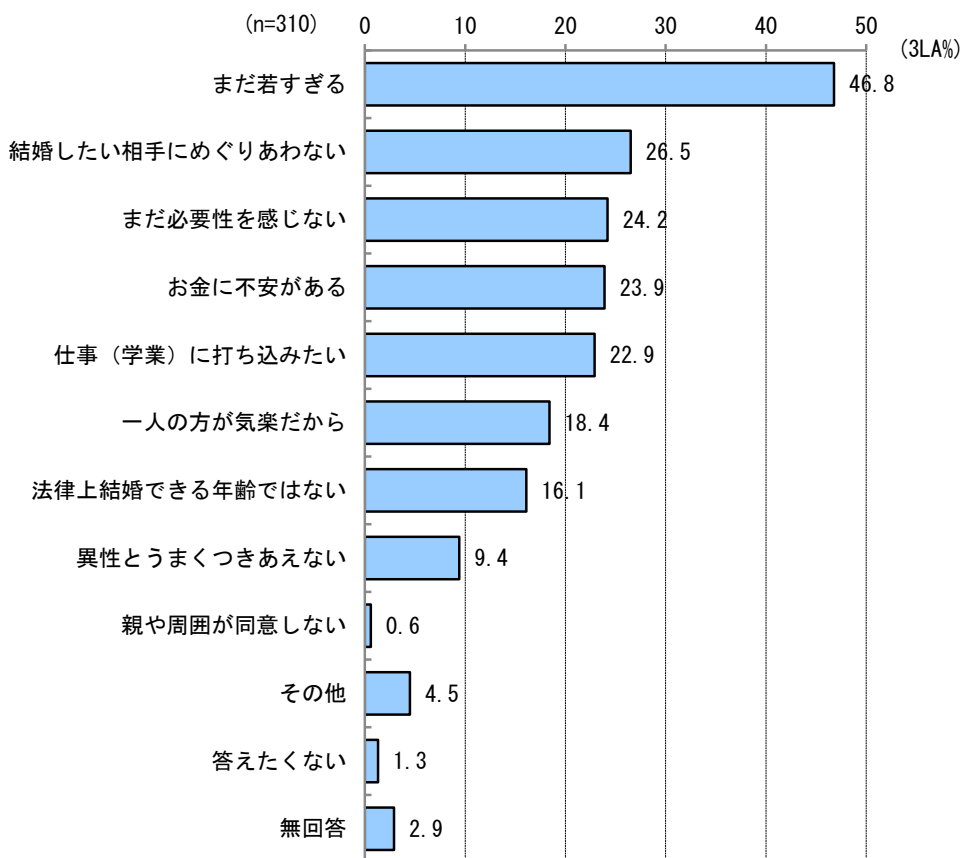
「2人」が60.9%と最も高く、次いで「3人」が18.0%、「1人」が17.3%となっています。



問15で「未婚」を選択した方にお聞きします。

問18ー1 あなたが今、結婚していない理由を3つまで教えてください。（3つまで選択）

「まだ若すぎる」が46.8%と最も高く、次いで「結婚したい相手にめぐりあわない」が26.5%、「まだ必要性を感じない」が24.2%となっています。



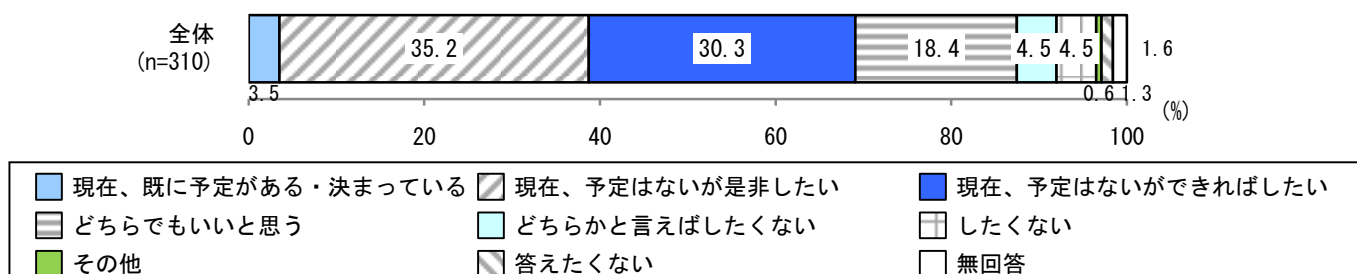
性別・年齢別にみると、性別に関わらず24歳までは「まだ若すぎる」が最も高くなっていますが、25歳以上では「結婚したい相手にめぐりあわない」「お金に不安がある」など現実的な理由が大半を占めており、「お金に不安がある」は18歳以下では1割未満と低くなっていますが、19歳以上ではおよそ2～4割と高くなっています。「一人の方が気楽だから」について男性は、年齢が上がるにつれて高くなっており、25～29歳では40.0%と15～18歳の5倍以上となっています。

【性別・年齢別】

	まだ若すぎる	結婚したい相手にめぐりあわない	まだ必要性を感じない	お金に不安がある	仕事（学業）に打ち込みたい	一人の方が気楽だから
全 体 (n=310)	46.8	26.5	24.2	23.9	22.9	18.4
男性_15～18歳 (n=71)	54.9	12.7	14.1	7.0	9.9	7.0
女性_15～18歳 (n=53)	77.4	22.6	15.1	5.7	26.4	9.4
男性_19～20歳 (n=16)	50.0	25.0	31.3	37.5	37.5	18.8
女性_19～20歳 (n=22)	77.3	27.3	27.3	22.7	36.4	9.1
男性_21～24歳 (n=32)	50.0	25.0	40.6	40.6	25.0	25.0
女性_21～24歳 (n=44)	36.4	25.0	36.4	36.4	36.4	25.0
男性_25～29歳 (n=30)	13.3	50.0	26.7	46.7	6.7	40.0
女性_25～29歳 (n=36)	5.6	41.7	16.7	30.6	25.0	25.0
	では法律上結婚できる年齢ではない	異性とうまくつきあえない	親や周囲が同意しない	その他	答えたくない	無回答
全 体 (n=310)	16.1	9.4	0.6	4.5	1.3	2.9
男性_15～18歳 (n=71)	38.0	8.5	1.4	2.8	0.0	5.6
女性_15～18歳 (n=53)	39.6	3.8	0.0	1.9	0.0	3.8
男性_19～20歳 (n=16)	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3
女性_19～20歳 (n=22)	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5
男性_21～24歳 (n=32)	0.0	18.8	0.0	3.1	3.1	0.0
女性_21～24歳 (n=44)	0.0	11.4	0.0	6.8	2.3	2.3
男性_25～29歳 (n=30)	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0
女性_25～29歳 (n=36)	0.0	11.1	2.8	16.7	2.8	0.0

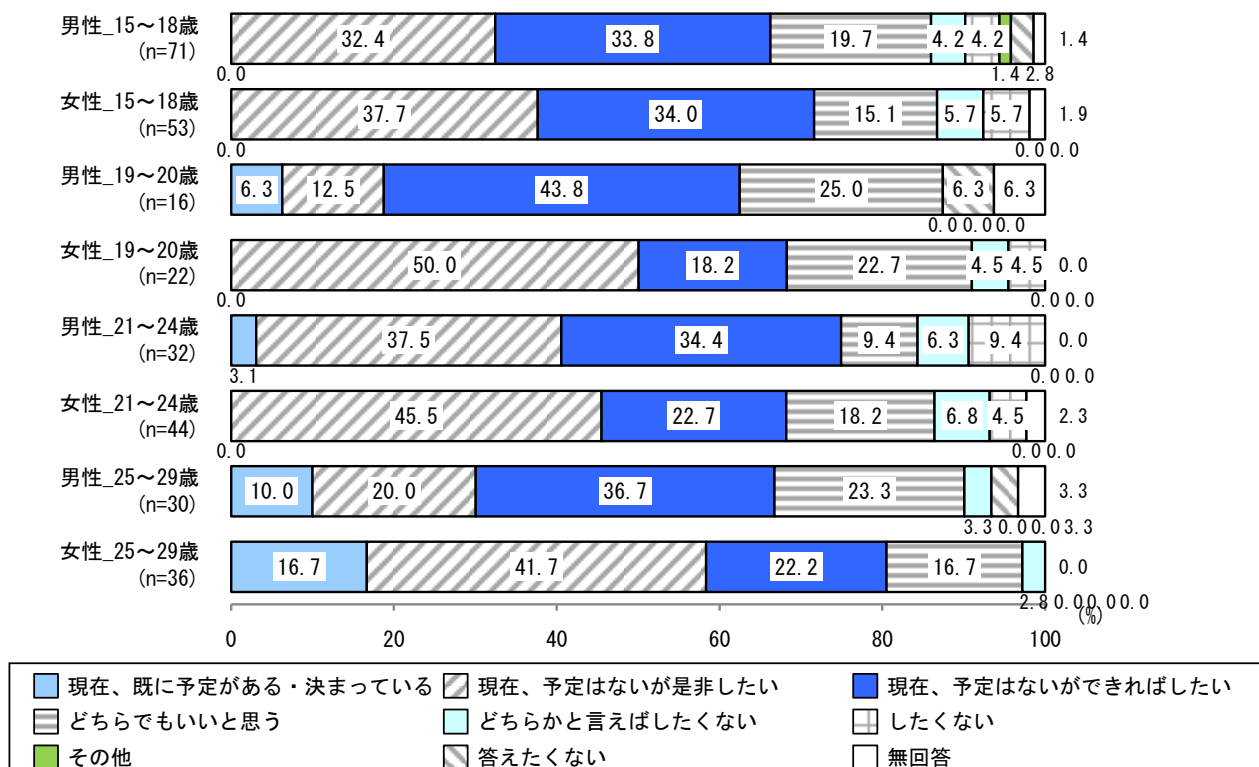
問18－2 あなたは今後、結婚したいと思いますか。（１つだけ選択）

「現在、予定はないが是非したい」が35.2%と最も高く、次いで「現在、予定はないができればしたい」が30.3%、「どちらでもいいと思う」が18.4%となっています。



性別・年齢別にみると、性別や年齢に関わらず結婚をしたいと考えている割合は高くなっていますが、男性は21～24歳を除いて「現在、予定はないができればしたい」の方が「現在、予定はないが是非したい」よりも高く、女性は「現在、予定はないが是非したい」の方が「現在、予定はないができればしたい」よりも高くなっており、女性の方が結婚に対して前向きに考えている結果となっています。

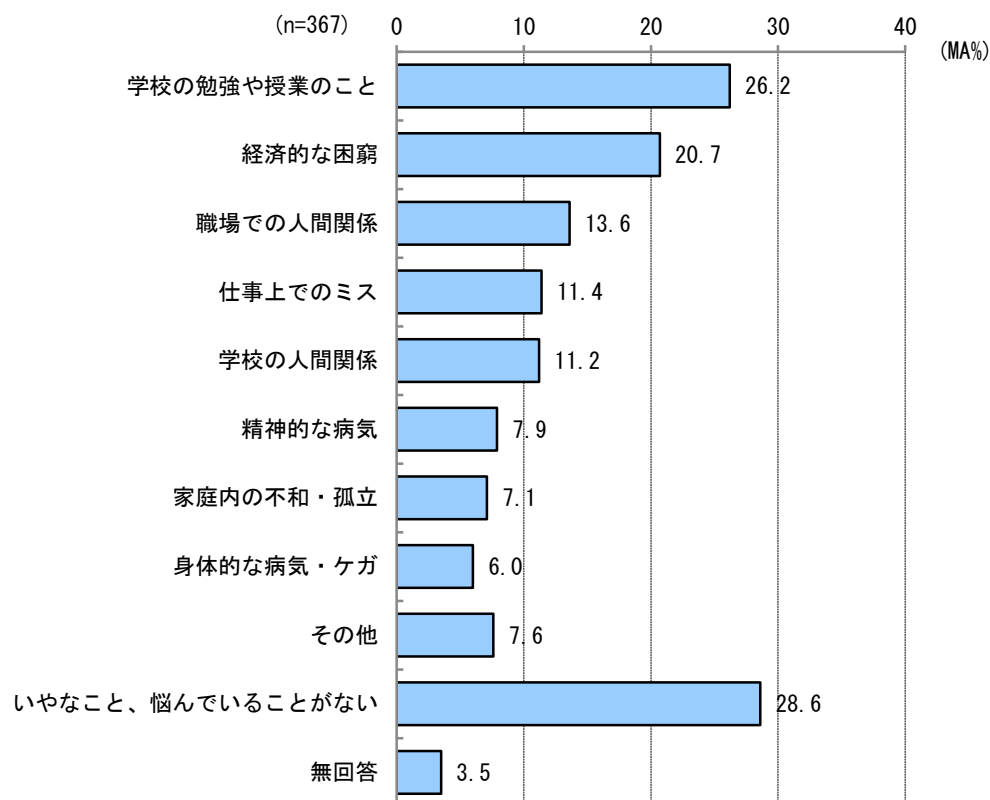
【性別・年齢別】



(5) 相談したいことや相談先について

問19 あなたは、今、いやなことや心配なこと、困っていること、悩んでいることがありますか。(あてはまるものすべて選択)

「学校の勉強や授業のこと」が26.2%と最も高く、次いで「経済的な困窮」が20.7%、「職場での人間関係」が13.6%となっています。



・その他内訳

内容	件数
転職や就職活動のこと	9 件
進学や将来のこと	7 件
人づきあいのこと	2 件
奨学金の返済	1 件
親子関係	1 件
勉強が大変	1 件
その他	2 件

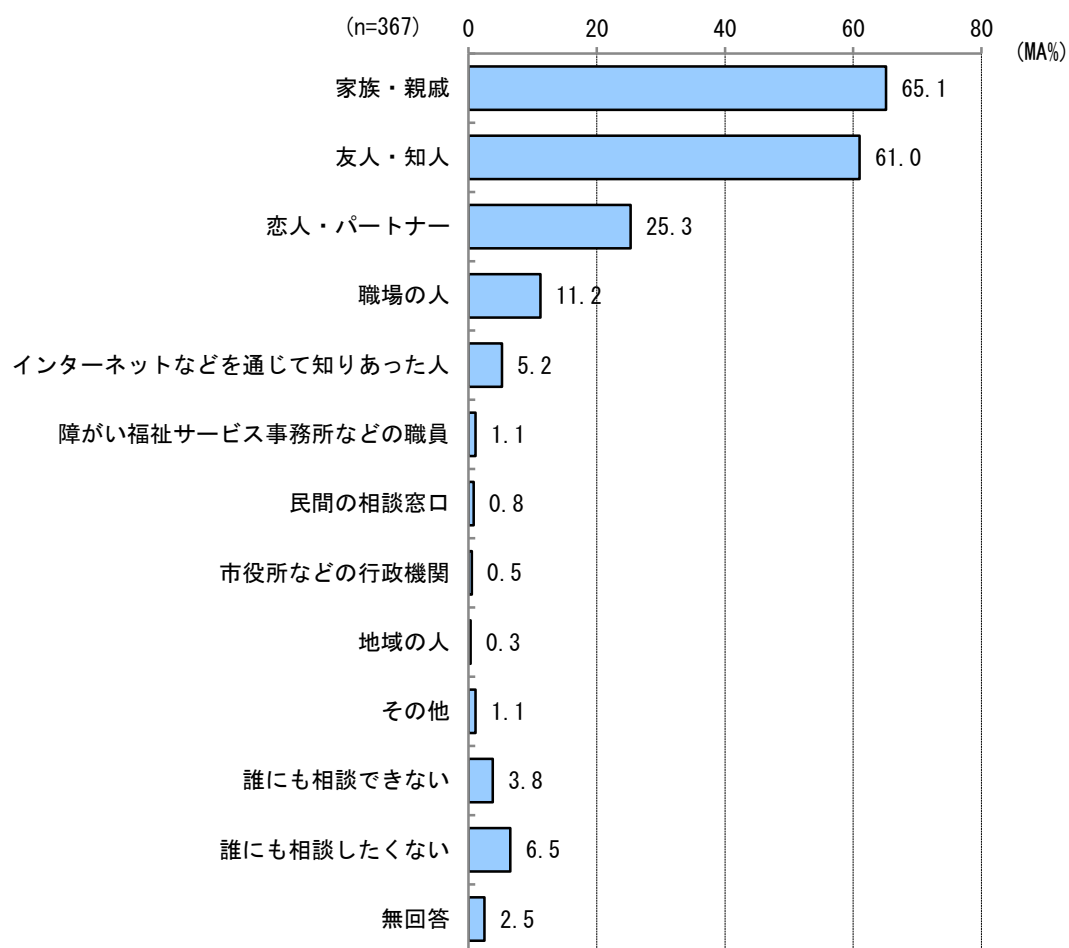
性別・年齢別にみると、「学校の勉強や授業のこと」は19～20歳を除くと年齢に関わらず男性の方が女性よりも高くなっており、「経済的な困窮」は性別に関わらず概ね年齢が上がるにつれて高くなっています。

【性別・年齢別】

	と学校の勉強や授業のこと	経済的な困窮	職場での人間関係	仕事上でのミス	学校の人間関係	精神的な病気
全 体 (n=367)	26.2	20.7	13.6	11.4	11.2	7.9
男性 15～18歳 (n=72)	52.8	9.7	5.6	4.2	22.2	4.2
女性 15～18歳 (n=54)	46.3	11.1	5.6	5.6	22.2	1.9
男性 19～20歳 (n=16)	31.3	25.0	0.0	6.3	0.0	6.3
女性 19～20歳 (n=22)	36.4	22.7	13.6	9.1	22.7	9.1
男性 21～24歳 (n=35)	25.7	31.4	8.6	5.7	2.9	11.4
女性 21～24歳 (n=47)	8.5	17.0	19.1	21.3	6.4	8.5
男性 25～29歳 (n=44)	4.5	27.3	15.9	25.0	2.3	9.1
女性 25～29歳 (n=70)	2.9	32.9	30.0	14.3	0.0	11.4
	家庭内の不和・孤立	身体的な病気・ケガ	その他	いろいろなこと、悩んでいる	無回答	
全 体 (n=367)	7.1	6.0	7.6	28.6	3.5	
男性 15～18歳 (n=72)	5.6	5.6	4.2	23.6	2.8	
女性 15～18歳 (n=54)	3.7	3.7	5.6	25.9	1.9	
男性 19～20歳 (n=16)	12.5	6.3	12.5	18.8	6.3	
女性 19～20歳 (n=22)	13.6	4.5	18.2	22.7	4.5	
男性 21～24歳 (n=35)	8.6	11.4	8.6	28.6	0.0	
女性 21～24歳 (n=47)	6.4	6.4	10.6	36.2	8.5	
男性 25～29歳 (n=44)	2.3	6.8	6.8	40.9	4.5	
女性 25～29歳 (n=70)	10.0	5.7	5.7	28.6	1.4	

問20 あなたは、いやなことや心配なこと、困っていること、悩んでいることがあったとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべて選択)

「家族・親戚」が65.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が61.0%、「恋人・パートナー」が25.3%となっています。



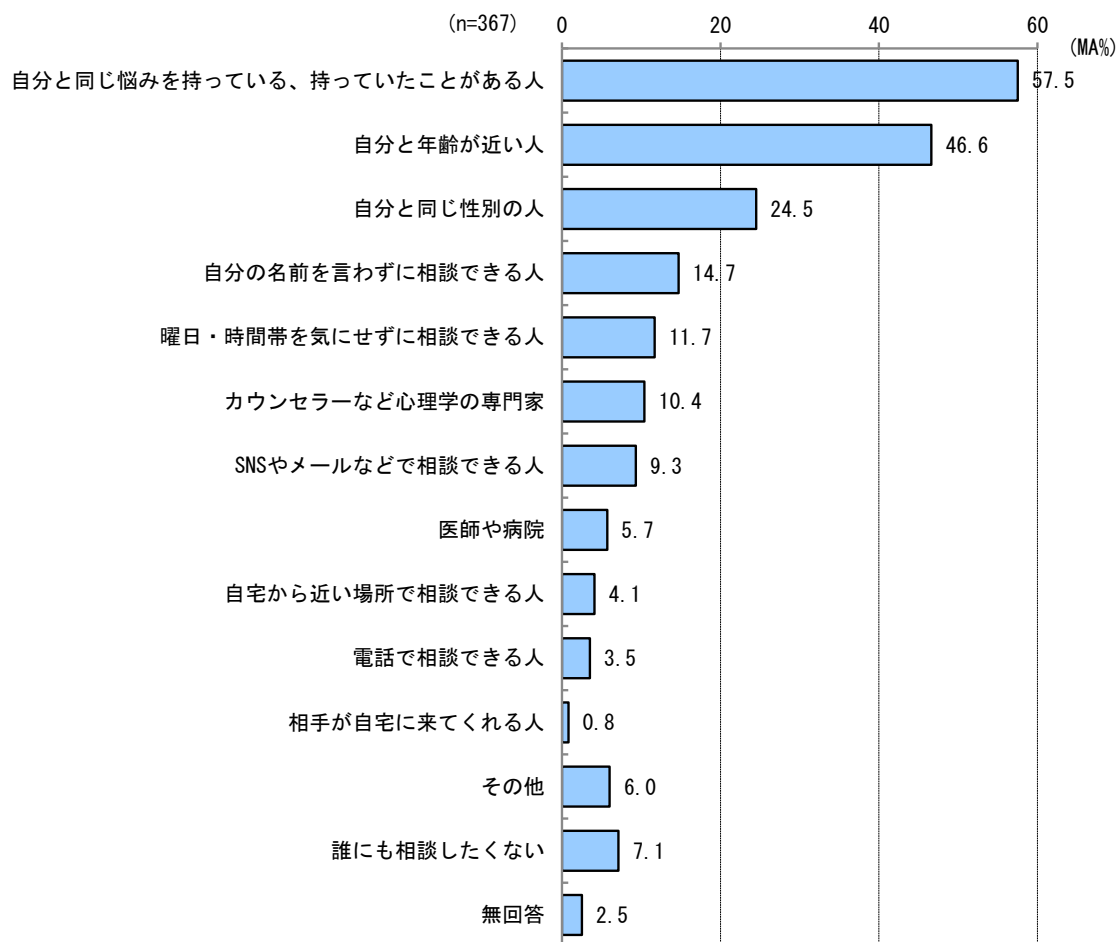
性別・年齢別にみると、年齢に関わらず「家族・親戚」は女性の方が男性よりも高くなっています。「恋人・パートナー」は性別に関わらず21歳以上の方が20歳以下よりも割合が高く、男性は2倍以上、女性は3倍以上高くなっています。

【性別・年齢別】

	家族・親戚	友人・知人	恋人・パートナー	職場の人	インターネットなどを通じて知りあった人	障がい福祉サービス業務などの職員	民間の相談窓口
全 体 (n=367)	65.1	61.0	25.3	11.2	5.2	1.1	0.8
男性 15～18歳 (n=72)	59.7	68.1	9.7	0.0	4.2	0.0	0.0
女性 15～18歳 (n=54)	75.9	74.1	13.0	1.9	1.9	0.0	0.0
男性 19～20歳 (n=16)	37.5	56.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3
女性 19～20歳 (n=22)	63.6	68.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
男性 21～24歳 (n=35)	51.4	51.4	25.7	25.7	5.7	0.0	0.0
女性 21～24歳 (n=47)	72.3	70.2	44.7	8.5	4.3	2.1	0.0
男性 25～29歳 (n=44)	65.9	54.5	29.5	25.0	4.5	0.0	0.0
女性 25～29歳 (n=70)	74.3	48.6	45.7	18.6	8.6	2.9	2.9
	市役所などの行政機関	地域の人	その他	誰にも相談できない	誰にも相談したくない	無回答	
全 体 (n=367)	0.5	0.3	1.1	3.8	6.5	2.5	
男性 15～18歳 (n=72)	0.0	0.0	0.0	2.8	9.7	2.8	
女性 15～18歳 (n=54)	0.0	1.9	0.0	0.0	7.4	3.7	
男性 19～20歳 (n=16)	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	12.5	
女性 19～20歳 (n=22)	0.0	0.0	4.5	9.1	4.5	0.0	
男性 21～24歳 (n=35)	0.0	0.0	0.0	8.6	14.3	2.9	
女性 21～24歳 (n=47)	2.1	0.0	2.1	4.3	2.1	0.0	
男性 25～29歳 (n=44)	2.3	0.0	0.0	9.1	4.5	2.3	
女性 25～29歳 (n=70)	0.0	0.0	0.0	1.4	2.9	0.0	

問21 どのような人なら相談したい、相談できると思いますか。
(あてはまるものすべて選択)

「自分と同じ悩みを持っている、持っていたことがある人」が57.5%と最も高く、次いで「自分と年齢が近い人」が46.6%、「自分と同じ性別の人」が24.5%となっています。



・その他内訳

内容	件数
親友など、信頼できる人	10 件
自分のことをよくわかってくれている人	3 件
自分と同じ境遇だった過去を持つ人	1 件
優しい女性の先生、フレンドリーな人	1 件
口がかたい人	1 件
尊敬できる人	1 件
価値観の合う人	1 件

性別・年齢別にみると、年齢に関わらず「自分と同じ性別の人」は女性の方が男性よりも高く、「カウンセラーなど心理学の専門家」は男性の方が女性よりも高くなっています。

【性別・年齢別】

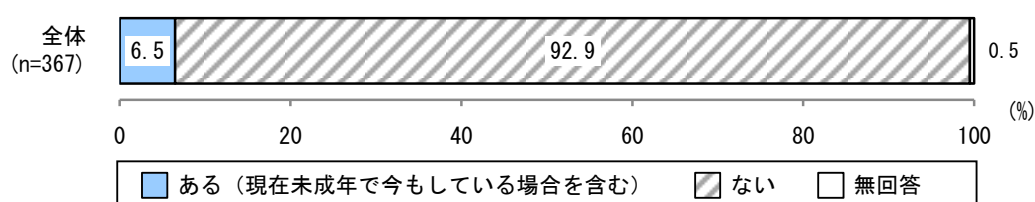
	自分と同じ性別の人	自分と年齢が近い人	自分と同じ性別の人	相談できる人	自分の名前を言わずに相談できる人	曜日・時間帯を気にせずに相談できる人	カウンセラーなど心理学の専門家	SNSやメールなどで相談できる人
全 体 (n=367)	57.5	46.6	24.5	14.7	11.7	10.4	9.3	
男性_15～18歳 (n=72)	48.6	66.7	30.6	13.9	11.1	5.6	11.1	
女性_15～18歳 (n=54)	66.7	51.9	42.6	14.8	18.5	3.7	7.4	
男性_19～20歳 (n=16)	62.5	43.8	6.3	6.3	0.0	12.5	0.0	
女性_19～20歳 (n=22)	54.5	31.8	18.2	18.2	9.1	4.5	9.1	
男性_21～24歳 (n=35)	57.1	51.4	11.4	17.1	5.7	11.4	5.7	
女性_21～24歳 (n=47)	61.7	36.2	29.8	12.8	17.0	8.5	14.9	
男性_25～29歳 (n=44)	45.5	38.6	11.4	11.4	11.4	18.2	9.1	
女性_25～29歳 (n=70)	64.3	40.0	22.9	17.1	11.4	14.3	8.6	
	医師や病院	自宅から近い場所で相談できる人	電話で相談できる人	相手が自宅に来てくれる人	その他	誰にも相談したくない	無回答	
全 体 (n=367)	5.7	4.1	3.5	0.8	6.0	7.1	2.5	
男性_15～18歳 (n=72)	6.9	5.6	5.6	2.8	6.9	4.2	2.8	
女性_15～18歳 (n=54)	3.7	1.9	0.0	0.0	1.9	3.7	3.7	
男性_19～20歳 (n=16)	6.3	6.3	0.0	0.0	18.8	6.3	6.3	
女性_19～20歳 (n=22)	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	13.6	0.0	
男性_21～24歳 (n=35)	5.7	0.0	5.7	2.9	8.6	14.3	0.0	
女性_21～24歳 (n=47)	0.0	2.1	2.1	0.0	6.4	6.4	6.4	
男性_25～29歳 (n=44)	9.1	6.8	0.0	0.0	9.1	9.1	2.3	
女性_25～29歳 (n=70)	10.0	7.1	8.6	0.0	1.4	5.7	0.0	

（６）家族のためにしていることについて

問22 あなたは、成人（18歳）になる前に、家族の中で高齢や病気、身体が不自由、幼いなどの理由で支援やケアが必要な人のお世話をしたことがありますか。
（１つだけ選択）

※ここでいう「お世話」とは、本来大人がするような家事や家族のお世話などを、大人に代わってあなたがすることをいいます。ちょっとしたお手伝いやペットの世話はあてはまりません。

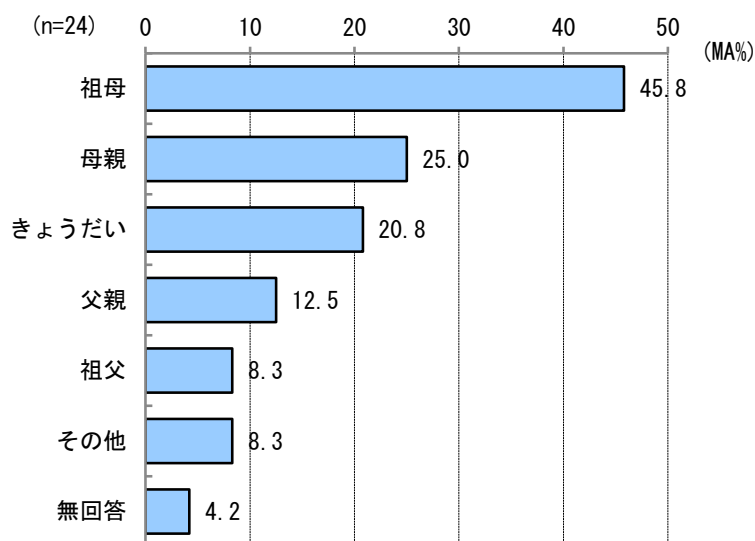
「ない」が92.9%、「ある（現在未成年で今もしている場合を含む）」が6.5%となっています。



問22で「ある」を選択した方にお聞きします。

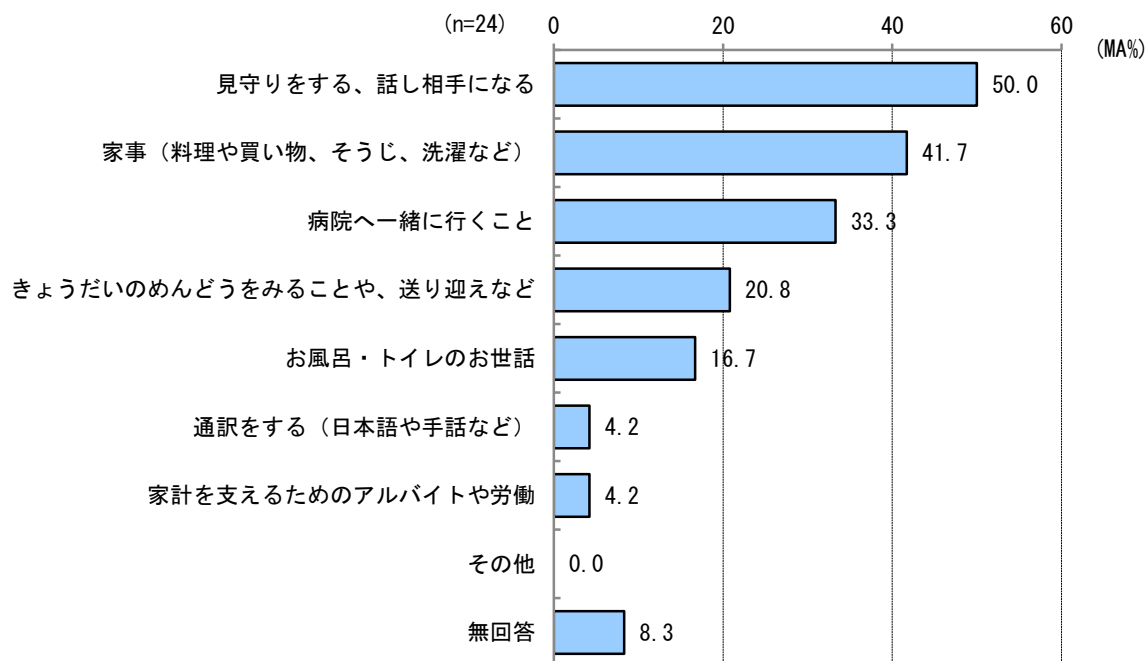
問22－１ 誰のお世話をしていましたか（していますか）。
（あてはまるものすべて選択）

「祖母」が45.8%と最も高く、次いで「母親」が25.0%、「きょうだい」が20.8%となっています。



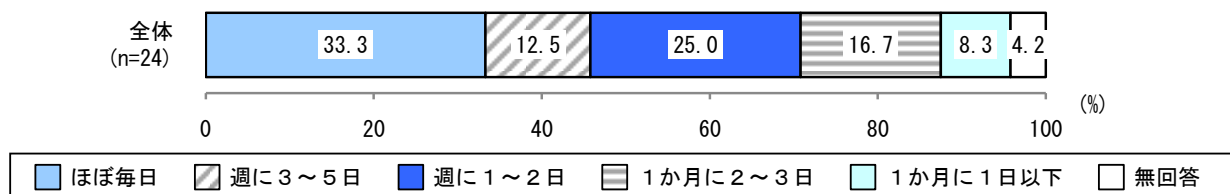
問22-2 あなたがしていた（している）お世話の内容を教えてください。
（あてはまるものすべて選択）

「見守りをする、話し相手になる」が50.0%と最も高く、次いで「家事（料理や買い物、そうじ、洗濯など）」が41.7%、「病院へ一緒にいくこと」が33.3%となっています。



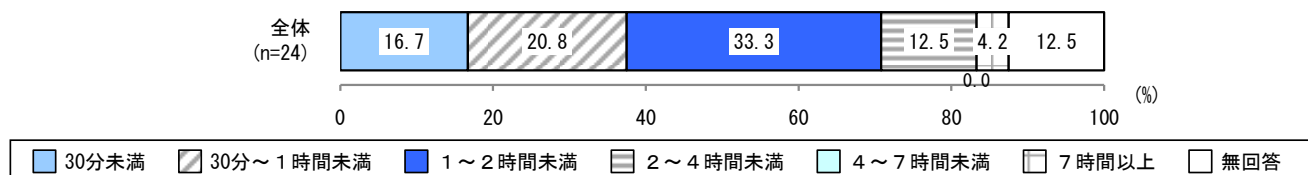
問22-3 どれぐらいの頻度でお手伝いしていました（しています）か。
（1つだけ選択）

「ほぼ毎日」が33.3%と最も高く、次いで「週に1～2回」が25.0%、「1か月に2～3日」が16.7%となっています。



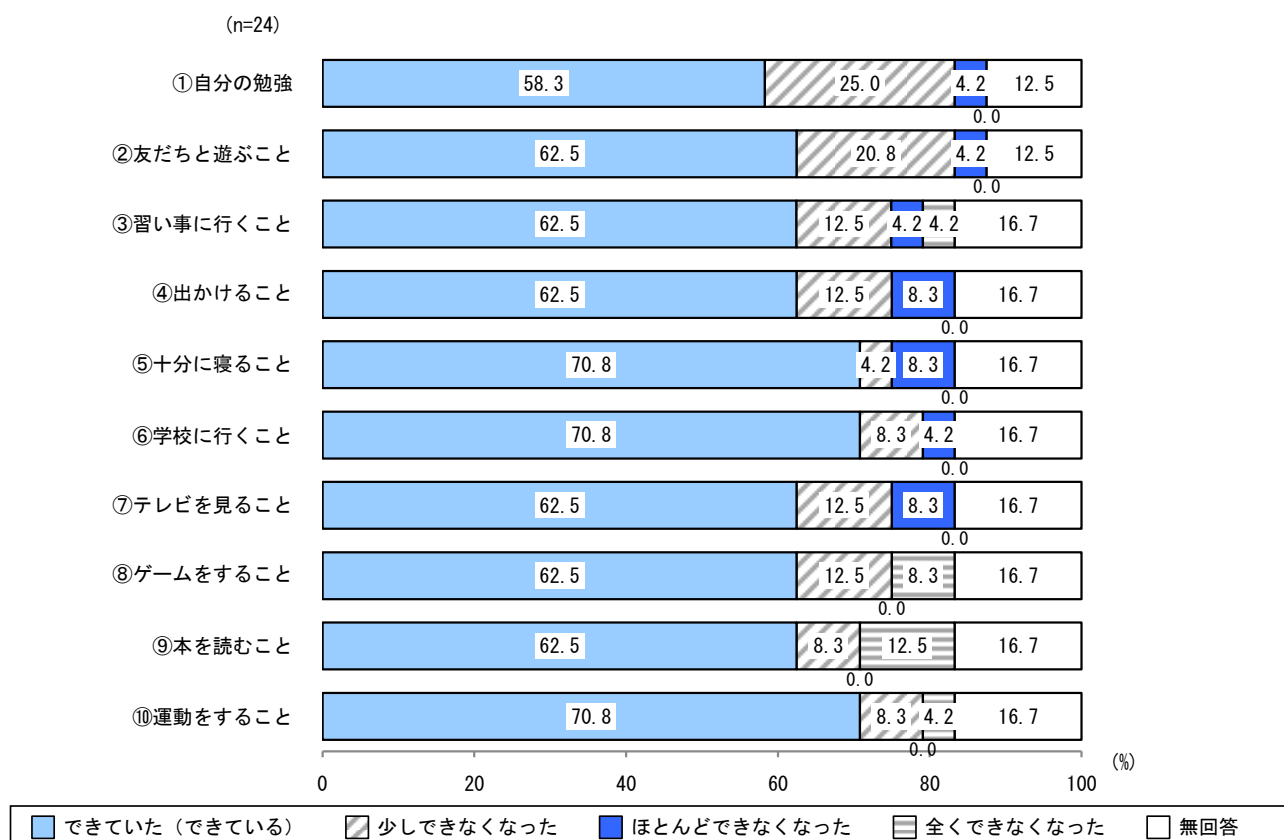
問22-4 お手伝いしていた（している）時間は1日あたり何時間ですか。
（1つだけ選択）

「1～2時間未満」が33.3%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」が20.8%、「30分未満」が16.7%となっています。



問22-5 次の①～⑩のうち、お手伝いをしていた（している）ことでできなくなったことはありますか。（それぞれ1つだけ選択）

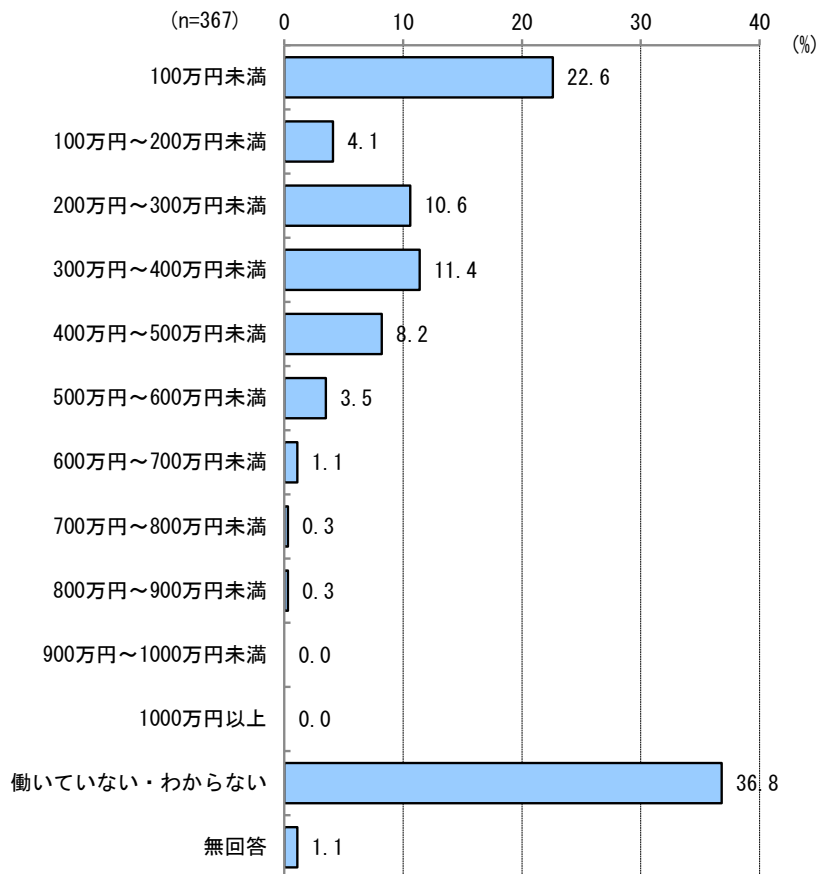
『できなくなった』（「少しできなくなった」、「ほとんどできなくなった」、「全くできなくなった」の合計）は、①自分の勉強が29.2%と最も高く、次いで②友達と遊ぶことが25.0%、③習い事に行くことが20.9%となっています。



(7) 生活について

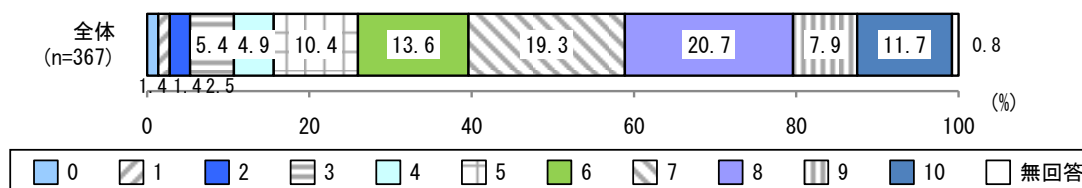
問23 あなたの年収をお答えください。(1つだけ選択)

「100万円未満」が22.6%と最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が11.4%、「200万円～300万円未満」が10.6%となっています。



問24 あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。(1つだけ選択)

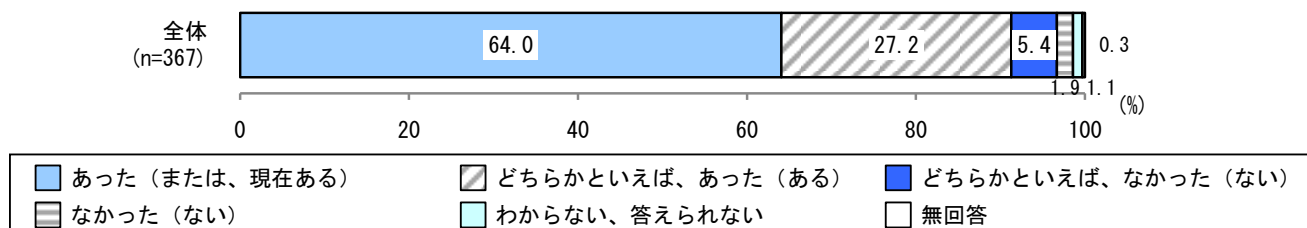
『満足している』(「6」～「10」の合計)は、73.2%と高くなっています。



(8) 落ち込んだ経験について

問25 あなたは今までに、物事がうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。または、現在、ありますか。最もあてはまるものを選んでください。
(1つだけ選択)

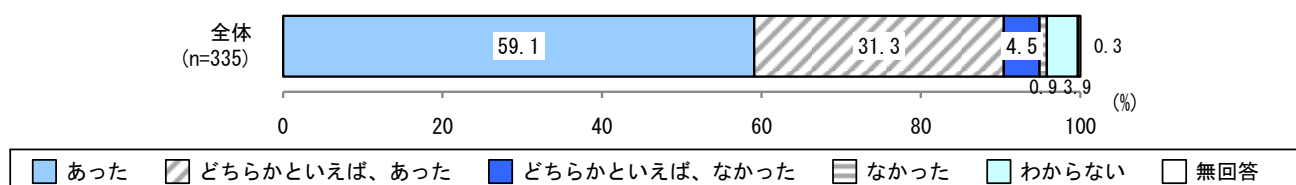
『あった』(「あった(または、現在ある)」と「どちらかといえば、あった(ある)」の合計)は、91.2%と高くなっています。



問25で「あった(または、現在ある)」または「どちらかといえば、あった(ある)」を選択した方にお聞きします。

問25-1 あなたは今までに、物事がうまくいかず落ち込んだ状態から元にもどった経験があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。
(1つだけ選択)

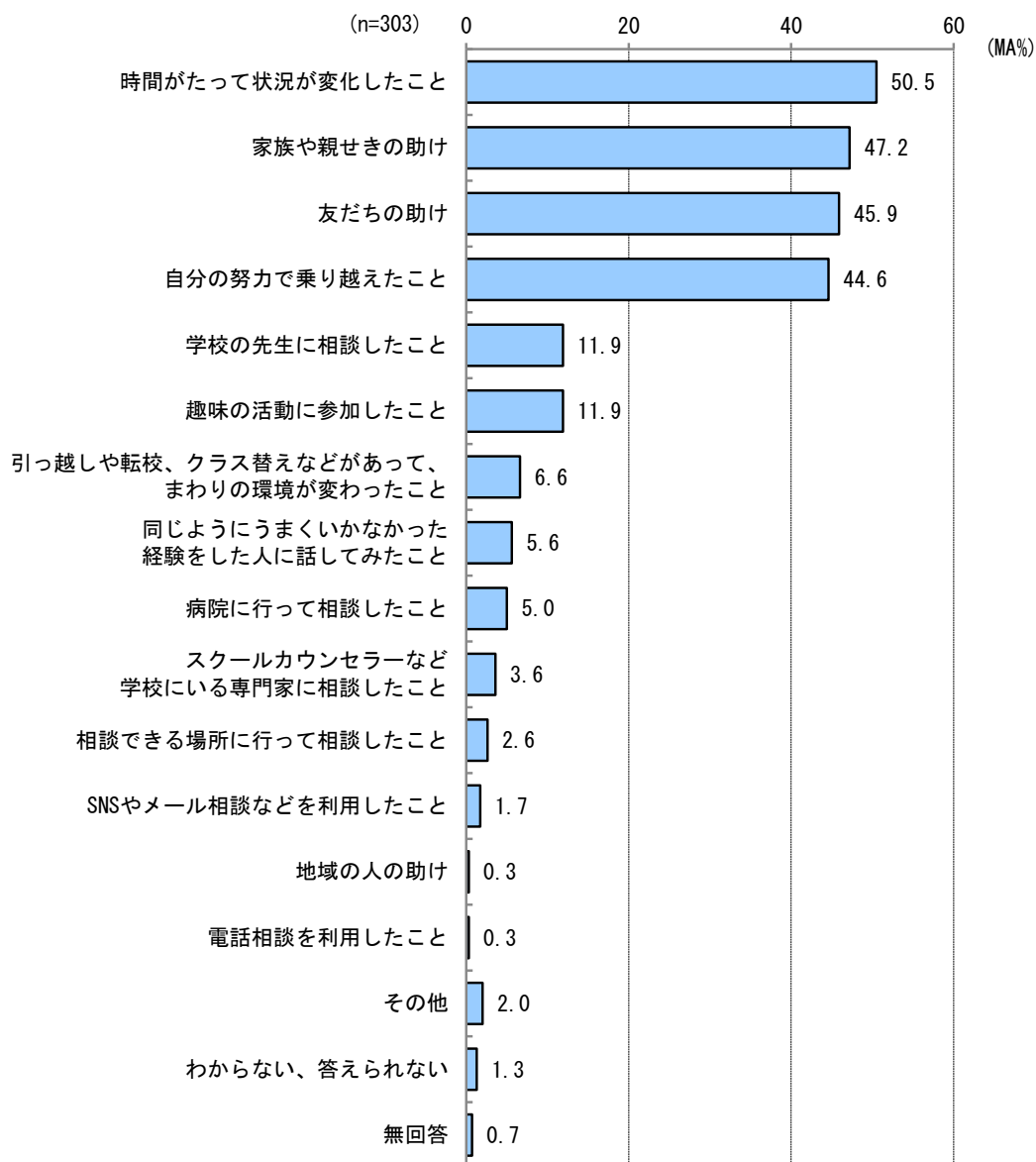
『あった』(「あった」と「どちらかといえば、あった」の合計)は、90.4%と高くなっています。



問25－1で「あった」または「どちらかといえば、あった」を選択した方にお聞きます。

問25－2 落ち込んだ状態から元にもどったのは、どのようなことがきっかけだったと思いますか。（あてはまるものすべて選択）

「時間がたって状況が変化したこと」が50.5%と最も高く、次いで「家族や親せきの助け」が47.2%、「友だちの助け」が45.9%となっています。



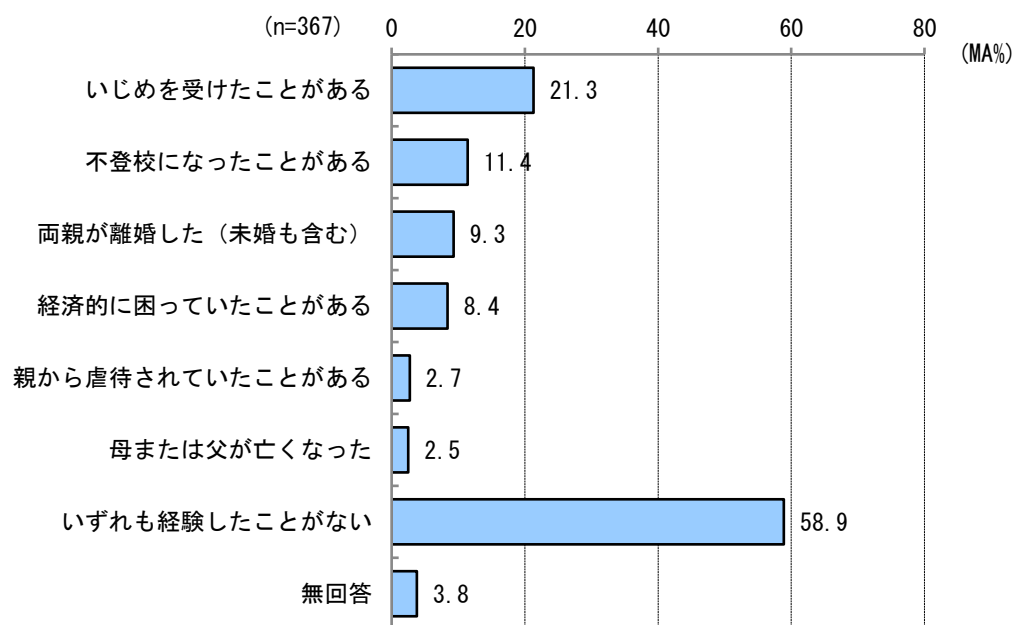
性別・年齢別にみると、性別に関わらず「時間がたって状況が変化したこと」は24歳までは年齢が上がるにつれて高くなっており、「家族や親せきの助け」は年齢に関わらず女性の方が男性よりも高く、女性はおよそ5～6割、男性はおよそ3～4割となっています。

【性別・年齢別】

	時間がたって状況が変化したこと	家族や親せきの助け	友だちの助け	自分の努力で乗り越えたこと	学校の先生に相談したこと	趣味の活動に参加したこと	引越したり、転校、クラス替えなどがあつて、まわりの環境が変わったこと	同じようにうまくいかなくて、話をしてみたら、経験をした人	病院に行つて相談したこと
全 体 (n=303)	50.5	47.2	45.9	44.6	11.9	11.9	6.6	5.6	5.0
男性 15～18歳 (n=60)	38.3	33.3	46.7	53.3	15.0	6.7	3.3	3.3	1.7
女性 15～18歳 (n=44)	50.0	52.3	50.0	38.6	13.6	6.8	9.1	2.3	4.5
男性 19～20歳 (n=12)	58.3	33.3	50.0	41.7	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3
女性 19～20歳 (n=21)	52.4	61.9	52.4	23.8	14.3	0.0	0.0	4.8	9.5
男性 21～24歳 (n=31)	61.3	41.9	48.4	48.4	9.7	12.9	6.5	6.5	0.0
女性 21～24歳 (n=36)	52.8	50.0	38.9	61.1	5.6	25.0	5.6	5.6	0.0
男性 25～29歳 (n=36)	58.3	38.9	36.1	47.2	5.6	22.2	5.6	2.8	2.8
女性 25～29歳 (n=60)	48.3	63.3	50.0	35.0	11.7	11.7	11.7	11.7	13.3
	になス 相どク 談学ー した校 ことル にカ いウ ンセ ラ 家ー	て相 相談 でき る場 所 に 行 つ	どS をN 利S 用や しメ たール こと相 談な	地 域 の 人 の 助 け	と電 話 相 談 を 利 用 し た こ	そ の 他	な い か ら な い 、 答 え ら れ	無 回 答	
全 体 (n=303)	3.6	2.6	1.7	0.3	0.3	2.0	1.3	0.7	
男性 15～18歳 (n=60)	3.3	1.7	0.0	0.0	0.0	3.3	1.7	0.0	
女性 15～18歳 (n=44)	2.3	0.0	6.8	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	
男性 19～20歳 (n=12)	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	
女性 19～20歳 (n=21)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	
男性 21～24歳 (n=31)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	
女性 21～24歳 (n=36)	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	
男性 25～29歳 (n=36)	5.6	8.3	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	
女性 25～29歳 (n=60)	3.3	3.3	3.3	0.0	1.7	1.7	0.0	1.7	

問26 あなたは、成人（18歳）になる前に、以下のような経験をしたことがありますか。（あてはまるものすべて選択）

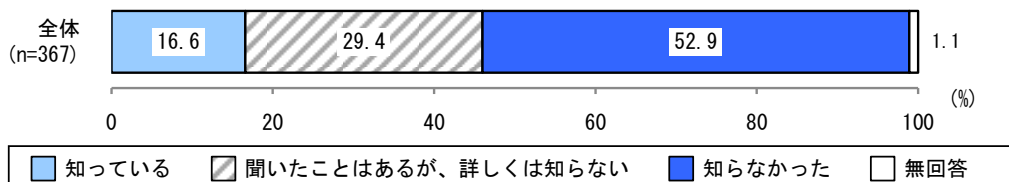
「いじめを受けたことがある」が21.3%と最も高く、次いで「不登校になったことがある」が11.4%、「両親が離婚した（未婚も含む）」が9.3%となっています。



(9) こどもの意見表明権について

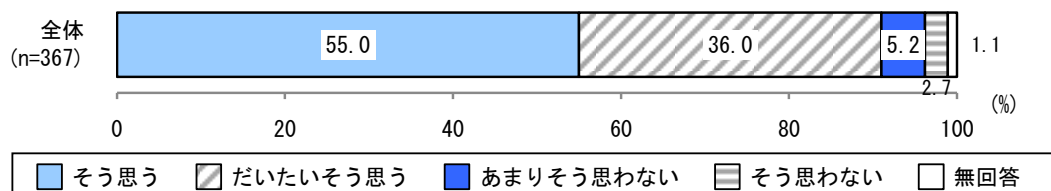
問27 こどもが意見を表明する権利について知っていますか。(1つだけ選択)

「知らなかった」が52.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が29.4%、「知っている」が16.6%となっています。



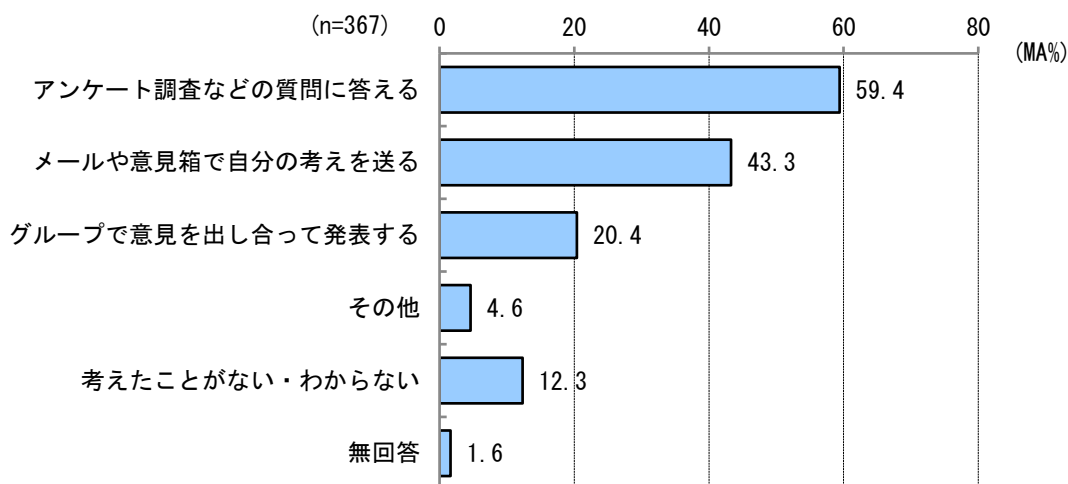
問28 あなたは、家庭で、あなたの考えや思っていることを聞いてもらっていると思いますか。(1つだけ選択)

『そう思う』(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)は91.0%と高くなっています。



問29 住んでいるまちや身のまわりの生活などをより良くするために、こどもが意見を言う場合、どのような方法がよいですか。（あてはまるものすべて選択）

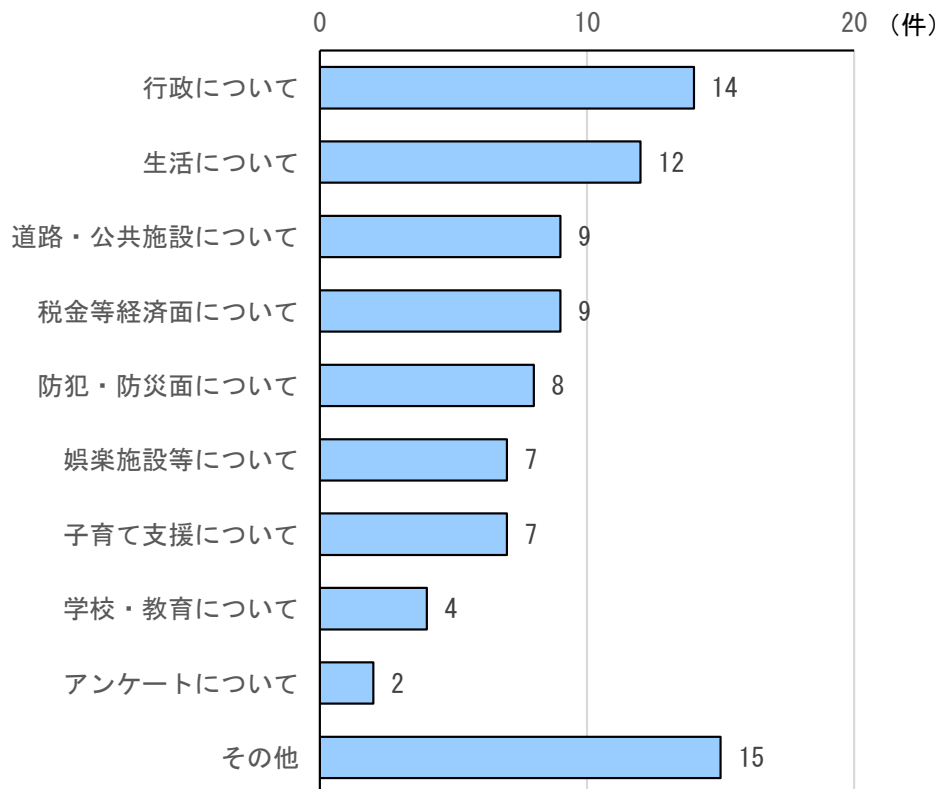
「アンケート調査などの質問に答える」が59.4%、次いで「メールや意見箱で自分の考えを送る」が43.3%、「グループで意見を出し合って発表する」が20.4%となっています。



・その他内訳

内容	件数
こどもの意見を直接聞く場を設ける	6 件
匿名でSNS等を活用する	5 件
学校の総合的な学習の時間などでグループワークをする	1 件
親子での会話や地域の人との会話	1 件
意見を送るだけの手軽なフォーム	1 件
大人が入れ知恵や、場を操作しようとしない	1 件
町が努力するべき	1 件
こどもたちが意見を言いやすい方法	1 件

(10) 自由回答



・行政について

内容
物価が上がっているのに賃金の上がり具合が低い、子育てや結婚に対する金銭的ハードル、社会的ハードルが高い。共働きでこどもを育てるための社会的な意識や仕組みがまだまだ足りない。
子ども・若者の意見が社会に反映されにくい。10代20代に優しいまちづくりが持続可能なまちづくりに繋がると思う。
高校生に対し、定期補助をしてほしい。また、高校や大学の授業料も一部支援してもらいたい。
ヤングケアラーについて当事者を守ってくれたり、支援してくれたりする制度があったらいいと思う。若い人が活躍するために、経済的な援助があったらいいと思う。
放課後等デイサービスを20代後半ぐらいまで利用できたらよいと思う。小学生以下のこども向けの遊びが多いが、もっと中学生高校生大学生や20代の若者向けの向日市の体験するコーナーや教室や遊びの体験があったらいいのと思う。
いつも市民の生活をより良くするために対応してくださり、ありがとうございます。

・生活について

内容
毎日が楽しい。
日々苦勞しながら生きているが、両親はいつまでも【こども】としてみてくれ、そのありがたさを感じる。
自ら死にたいというほどではないが、つらく苦しい事の方が多く、流れで、惰性で日々を過ごしているという感覚が近い。
両親ともに亡くなって1番頼れる人が居なくなってこの先が不安でたまらない。
片親の怪我などで収入があまり良くない家庭に対して、少しでもいいので生活補助金などがあると、ありがたいです。
母子家庭で私学の高校に通っている妹もいるのでお金が足りない。

・道路・公共施設について

内容
勉強に専念できるスペースがあまりない。向日市立図書館も自習用の席が少なく、思うように勉強ができない日が多い。これからの向日市育ちのこどもたちのためにも1人で集中出来る自習スペースや、個人席を増設する等環境を整えてほしい。
こども達が自由に遊ぶことができる場所が少ない。安全面や地域の実情もあるため致し方ないと思うが、地域にひとつはボールを使える公園を作ってあげて欲しい。こどもらが案を出し合って新しい公園を作ることが出来ればよいと思う。
全体的に歩道が狭いため、人とすれ違う際に車道に出て歩かなければならないときもあるので危険だと思う。

・税金等経済面について

内容
少子化が深刻化しているので、子育てをする世代やこれから家庭を作っていく人たちにもっとお金を使ってほしい
税金が多過ぎる。自分が頑張って稼いだお金の中から年金や住民税などたくさんの税金が引かれるのは辛い。私たち国民からお金を取るなら公務員とか国会の議員とかの給料を減らしてほしいと思う。
物価高い、税金高い、給料安い、こどもを作る余裕は一切ない。

・ 防犯・防災面について

内容
西向日駅近辺の治安が悪く、夜道を歩く時に恐怖を感じる。木のある道がとても暗いので、もっと街灯を増やすなどの対策をしていただきたいし、駅前が廃れているのも寂しく感じる。また、お年寄りが多い地域なので年配の方と話す機会が多いが、古い価値観を押し付けられたり窮屈な思いをすることが多々ある。
京都市から向日市へ引越しをしたが、子育て層が多く、住みやすい。しかし京都市に比べると、住宅地の街灯が少ない、電灯が暗いイメージが強く、防犯上危ないと感じる。京都市のように街灯を明るく、また設置を増やしていただけないか。
物集の道を良い加減広くしてほしい。歩道すらまともにならないのに、歩道のガードレールに車が突っ込んですごく曲がっている。安心して通れない。

・ 娯楽施設等について

内容
向日市バスの停留所に偏りがある、JRまで行ってくれと嬉しい。 洛西口駅と東向日駅は「何がある？」と聞かれて答えられるのに、西向日はパツとしたものが思い浮かばず、少し悲しい。 大極殿公園に御手洗場所があったら、お花見する人が増えると思う。 向日神社の端っこ(天文館の裏の角)からの景色がとても綺麗。 コンビニが勢揃いしている事とウォーキング程度で向日市を1周できる事が結構自慢だと思っている。 市役所の皆さんいつもありがとう。
向日市は面白みのない町だから、もっとみんなが交流できる場所などを多く作って欲しい。特に駅の周りは何もないからお店もいっぱい作って欲しい。その一方で自然が多いことは向日市の強みであり、いい部分だと思うから自然は守っていきたいと思う。
体を動かして遊べる所が少なくなっている気がします。

・子育て支援について

内容
将来的にこどもは2人以上欲しいが、生まれてくるこどもに障がい等があったら育てられるのかという漠然とした不安がある。
向日市の子育て支援を手厚くして欲しいです。こどもができれば、大阪の方が子育て支援が良いので引っ越すことを考えています。
近い将来、結婚し出産したいと考えているが、今の賃金、物価高ではとてもというほど安泰な将来は思い描けない。自分の充実した私生活があつてこそ、将来も考えられる。子育て世帯への給付金、施策はもちろんだが、生活費に削られる給与ではなく、独身にも年一回の給付金をいただき、私生活の充実、貯蓄にあて、将来への希望を与えていただきたい。どの世代の誰もが安定して生活できる手厚い支援を考えてもらいたいです。こどもは豊かな大人がいてこそ育つものです。大人の安定した暮らしや心が、こどもたちを育て、人をつくっていく、賃金アップ、給付金、子育て支援もう少し現実的に考えてほしい。
近くにスーパーや薬局が少なく、1歳のこども連れの徒歩のみが移動手段だと不便と思うことのほが多い。特に子育て政策があるわけでもないし、保育園も足りていないような感じなので将来的に住み続けようと思う場所ではないのが本音。こどもを増やしたいと考えているが住む場所も考えないといけないと考える。

・学校教育について

内容
社会で上手に生きて行くための制度や、お金のこと、仕事とは何なのかを社会に出てから知って行くのではなく、学生時代から学校の授業で教えておいて欲しかったと思う。今後自分のこどもができた時には、授業に組み込まれておいて欲しいと思う。 選挙も若者が行きやすいように、学校でもっと詳しく選挙について知りたかった。「行きなさい、行った方がいい」しか言われずどういうものか分からなかったため、行きづらかった。模擬選挙をしている学校もあるが、必須にして欲しい。また、情報の処理やセキュリティ上、難しいかもしれないがもう少し投票しやすい環境になれば。ネットで簡単に投票できるようになれば若者の参加も増えるのかなと思う。
幼稚園・小学校の時三角座りをするように言われる時がありましたが、お尻や腰が痛くなりますし、骨(尾てい骨)の形状によって特につらい人もいるようなので、もし今も三角座りの指示があるならばそれをなくすということをご検討いただければありがたい。
中学生頃から人命救助の仕方を保健体育などで義務的に教えて欲しい。私は以前、人命救助をしたことがあり、たまたま自動車教習所で習っていたので行動できたが、もし習っていなかったら何もできなかったなと思うと無知なのは恐ろしいことだと思う。中学生になると行動範囲も広くなり、大人がいない空間で遊ぶことも多くなり、その中で友達が倒れて最悪の事態になってしまったら、何もできなかった自分を責めてしまうと思う。そうなってほしくないので人命救助を教えるようにして欲しい。

内容
高校が毎日忙しく、中学、小学校の友達と会う機会も減りました。でも、お互いに時間を作って会って話したり、遊んだり、高校三年生の今でもよくします。向日市の学校の指導がとても良かったからだ、と、高校生になってから感じる。

・アンケートについて

内容
アンケート結果は公開される予定でしょうか。どのような結果になるか少し気になる。公開できそうな質問項目などだけでも結果がわかるといいなと思う。

・その他

内容
家のまわりで子どもを見かけることが、自分が歳を重ねるごとに減っているように感じられる。
実家を離れて家庭を持つと、どうしても地域やご近所の交流・付き合いは気薄になるなど感じる。そういう現代の当たり前の文化が変わり、声をかけあえるような交流が持てるといいのかなと思う。
買い物に行っても高いなって購入を考えることが多い。その結果悩んだら買わない。

